

第3期旭市総合戦略策定のための  
市民アンケート調査  
調査結果報告書

令和5年10月

旭市



# 目 次

I. 調査概要	1
1. 調査の目的	1
2. 実施概要	1
3. 調査結果の見方について	1
II. 調査結果	2
1. 回答者自身のことについて	2
2. 旭市の暮らしやすさ、将来の暮らしについて	4
(1) 旭市への愛着	4
(2) 旭市の将来イメージ	6
(3) 住みやすさ	8
(4) 定住意向	10
(5) 住み続けたい理由	12
(6) 転出したい理由	14
(7) 将来の暮らしについて	16
3. 旭市の取組みについて	18
(1) 満足度・重要度	18
(2) 満足度・重要度の相関分析	26
(3) 属性別	27
(4) 優先施策	29
4. 生涯活躍のまち・みらいあさひについて	31
(1) みらいあさひの認知度	31
(2) みらいあさひの訪問目的	33
(3) おひさまテラスの訪問回数	35
(4) おひさまテラスの訪問目的	36
(5) おひさまテラスの満足度	38
(6) みらいあさひのまちづくりに期待すること	40
5. 個別の施策について	42
(1) 雇用促進	42
(2) 地域の子育て支援	44
(3) ヤングケアラーの認知度	46
(4) ヤングケアラーと思われる子	48
(5) ヤングケアラーに必要な支援	50
(6) 学校教育	52
(7) 環境	54
(8) 市民参加	56

(9) 区（自治会）	58
(10) 高齢者の福祉対策・生きがい対策	60
(11) 防災対策	62
(12) 防犯対策	64
6. 人口増加・定住促進について	66
(1) 人口増加・定住促進対策	66
7. 結婚（晩婚化・未婚化）	68
(1) 婚姻の有無	68
(2) 晩婚化・未婚化が進む理由	69
(3) 晩婚化・未婚化の抑制策	71
8. 健康・運動について	73
(1) 食事の際に気を付けていること	73
(2) 定期的な運動	75
(3) 運動を継続するために重要なこと	77
(4) 行っているスポーツ	79
(5) 関心のある芸術文化	80
(6) 旭市CCDプロジェクト	81
9. デジタル活用について	83
(1) 世帯で利用している情報通信機器	83
(2) インターネットの利用状況	85
(3) あなたが利用している情報通信機器	87
(4) インターネットの利用目的	89
(5) 今後利用したいデジタル活用	91
(6) インターネットを利用した行政手続き	92
(7) 行政情報	94
10. 自由意見	96
(1) 基本目標別件数	96
(2) 主な意見（要旨）・キーワード	97
<b>【参考資料】 アンケート調査票</b>	<b>101</b>

## I. 調査概要

### 1. 調査の目的

本調査は、第3期旭市総合戦略の策定にあたり、市民の皆さんの意見等を収集し、策定に向けた基礎資料とすることを目的として実施しました。

### 2. 実施概要

本調査の対象及び配布、回収状況は、以下のとおりとなっています。

#### 《 調 査 概 要 》

- 調 査 対 象：市内にお住まいの平成17（2005）年4月1日以前に生まれた方
- 抽 出 方 法：調査対象より3,000名を無作為抽出
- 調 査 内 容：1. 回答者自身のことについて  
2. 旭市の暮らしやすさ、将来の暮らしについて  
3. 旭市の取組について  
4. 生涯活躍のまち・みらいあさひについて  
5. 個別の施策について  
6. 人口増加・定住促進について  
7. 結婚（晩婚化・未婚化）について  
8. 健康・運動について  
9. デジタル活用について
- 調 査 期 間：令和5年（2023年）8月4日～8月21日
- 調 査 方 法：郵送配布、郵送・WEB回収
- 配 布 ・ 回 収：配布数 3,000 票  
回収数 918 票  
回収率 30.6%

### 3. 調査結果の見方について

調査結果の数値は、原則として回答率を構成比（%）として表記しており、小数点第2位を四捨五入し小数点以下第1位までを表記しています。このため、単数回答の合計が100.0%とならない場合（99.9%、100.1%）があります。また、1人の回答者が2つ以上の回答をしてもよい質問〈複数回答〉では、一般的に回答率は100.0%を上回ります。

- ・ 本文やグラフ、数表上の選択肢表記は、場合によっては語句を簡略化しています。
- ・ 本文中の「n」はその設問の有効回答数を示します。
- ・ 属性別分析結果において、構成比算出の母数（属性毎の回答者数）が少数になる場合、各比率は統計的な誤差の大きい可能性があるため、比率の取り扱いに注意する必要があります。

## II. 調査結果

### 1. 回答者自身のことについて

回答者の属性（問1）は図表1の通りとなっています。

図表 1 基本属性

		件数	構成比(%)
性別	男性	444	48.4
	女性	440	47.9
	答えたくない(無回答)	7	0.8
	無回答	27	2.9
年代	10歳代	33	3.6
	20歳代	74	8.1
	30歳代	150	16.3
	40歳代	216	23.5
	50歳代	152	16.6
	60歳代	116	12.6
	70歳代	147	16.0
	80歳以上	26	2.8
	無回答	4	0.4
居住地域	旭地域	545	59.4
	海上地域	156	17.0
	飯岡地域	106	11.5
	干潟地域	94	10.2
	無回答	17	1.9
職業	農業・漁業	59	6.4
	製造業・建設業	132	14.4
	商業・サービス業等	120	13.1
	公務員・団体職員	120	13.1
	医療・福祉	98	10.7
	アルバイト・パート	96	10.5
	専業主婦(主夫)	59	6.4
	学生	39	4.2
	無職(定年退職者含む)	135	14.7
	その他	47	5.1
	無回答	13	1.4
雇用形態	正社員・正職員	368	69.6
	自営業・個人事業主	110	20.8
	契約社員・非常勤職員	29	5.5
	派遣社員	5	0.9
	その他	11	2.1
	無回答	6	1.1
通勤・通学先	旭市内	417	45.4
	銚子市	54	5.9
	匝瑳市	61	6.6
	香取市	25	2.7
	成田市	19	2.1
	その他の県内	71	7.7
	県外	33	3.6
	通勤・通学していない	143	15.6
	無回答	95	10.3
世帯人員数	1人	127	13.8
	2人	203	22.1
	3人	195	21.2
	4人	195	21.2
	5人以上	193	21
	無回答	5	0.5
居住年数	5年未満	116	12.6
	5年以上10年未満	87	9.5
	10年以上20年未満	200	21.8
	20年以上30年未満	119	13
	30年以上	388	42.3
	無回答	8	0.9

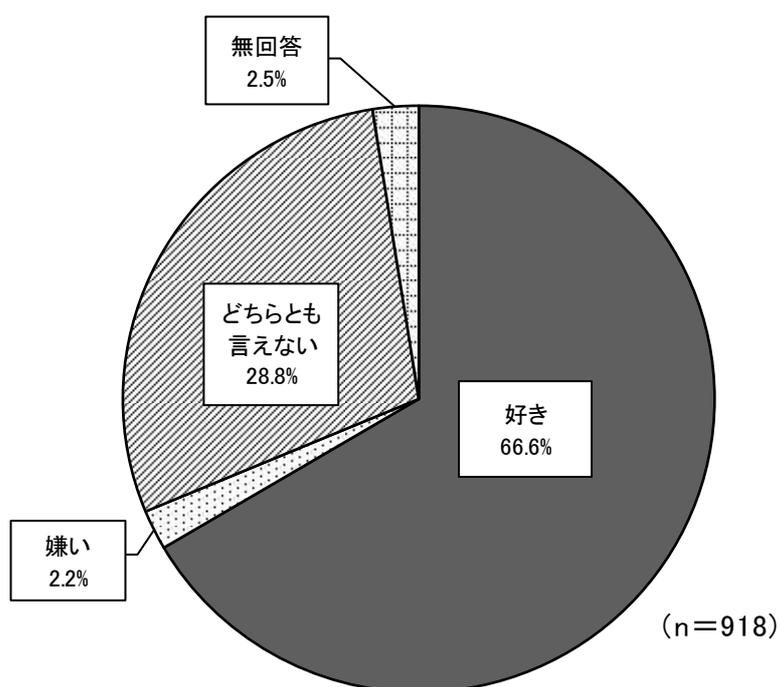
## 2. 旭市の暮らしやすさ、将来の暮らしについて

### (1) 旭市への愛着

【問 2】 旭市が好きですか。(○は1つ)

旭市への愛着は、「好き」が66.6%となっており、「嫌い」は2.2%に留まっています。属性別では、20歳代の「好き(77.0%)」が高くなっています。一方、「嫌い」では「30歳代(6.0%)」、「居住年数20年以上30年未満(4.2%)」、「海上地域(3.8%)」などがやや高くなっています。

図表 2 旭市が好きですか



図表 3 旭市が好きですか（クロス集計）

（単位：％）

		件数	好き	嫌い	どちらとも言えない
全体		918	66.6	2.2	28.8
性別	男性	444	69.8	2.3	26.1
	女性	440	64.8	2.0	30.9
年代	10歳代	33	69.7	3.0	27.3
	20歳代	74	77.0	1.4	20.3
	30歳代	150	64.7	6.0	27.3
	40歳代	216	69.0	0.9	29.6
	50歳代	152	70.4	2.6	25.7
	60歳代	116	59.5	1.7	34.5
	70歳代	147	61.9	0.7	32.7
	80歳以上	26	65.4	0.0	30.8
居住地域	旭地域	545	69.5	2.2	26.1
	海上地域	156	62.2	3.8	32.7
	飯岡地域	106	58.5	0.9	36.8
	干潟地域	94	62.8	1.1	31.9
居住年数	5年未満	116	66.4	2.6	29.3
	5年以上10年未満	87	70.1	2.3	27.6
	10年以上20年未満	200	70.0	2.0	26.5
	20年以上30年未満	119	58.8	4.2	33.6
	30年以上	388	66.8	1.5	28.6

（注）網掛けは、「全体」の水準を10ポイント以上上回った項目

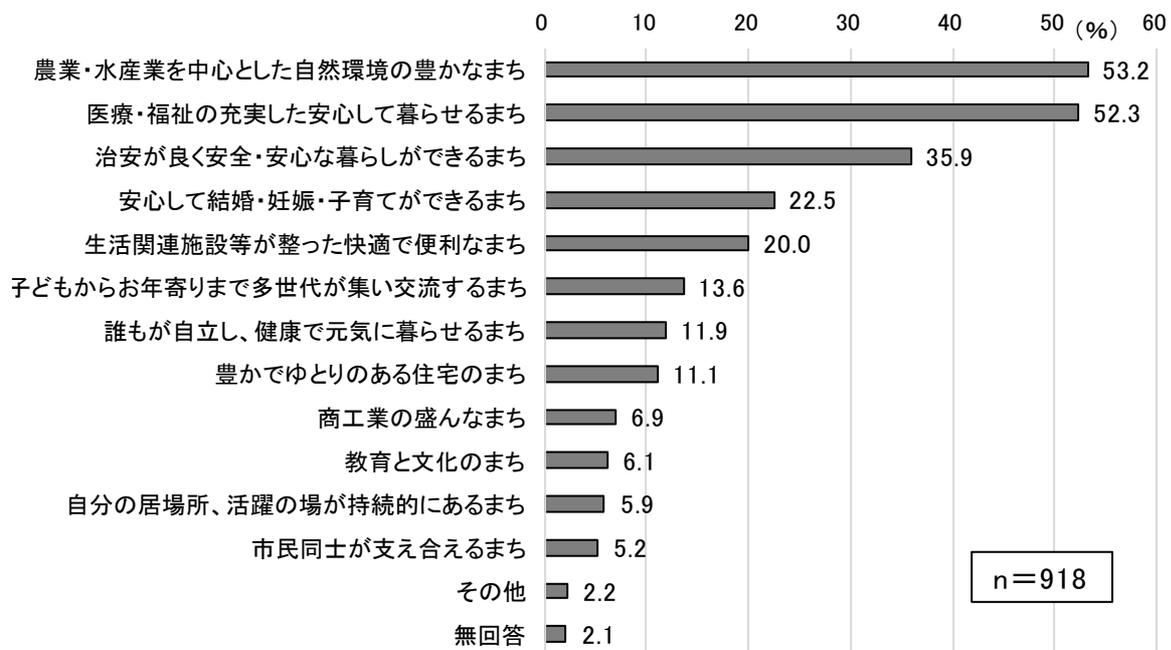
## (2) 旭市の将来イメージ

【問3】旭市の将来イメージとしてどれがふさわしいと思いますか。(〇は3つまで)

旭市の将来イメージは、「農業・水産業を中心とした自然環境の豊かなまち」が53.2%で最も高く、次いで「医療・福祉の充実した安心して暮らせるまち(52.3%)」、「治安が良く安全・安心な暮らしができるまち(35.9%)」の順となっています。

属性別にみると、「医療・福祉の充実した安心して暮らせる」における「70歳代(63.9%)」、「60歳代(62.9%)」、「治安が良く安全・安心な暮らしができるまち」における「10歳代(48.5%)」、「安心して結婚・妊娠・子育てができるまち」における「30歳代(36.7%)」などが高くなっています。

図表 4 旭市の将来イメージ



図表 5 旭市の将来イメージ（クロス集計）

（単位：％）

		件数	農業・水産業を中心とした自然環境の豊かなまち	医療・福祉の充実した安心して暮らせるまち	治安が良く安全・安心な暮らしができるまち	安心して結婚・妊娠・子育てができるまち	生活関連施設等が整った快適で便利なまち	多世代が集い交流するまち	子どもからお年寄りまで誰もが自立し、健康で元気に暮らせるまち	豊かでゆとりのある住宅のまち	商工業の盛んなまち	教育と文化のまち	自分の居場所、活躍の場が持続的にあるまち	市民同士が支え合えるまち
全体		918	53.2	52.3	35.9	22.5	20.0	13.6	11.9	11.1	6.9	6.1	5.9	5.2
性別	男性	444	59.7	52.7	35.8	21.4	20.0	12.6	10.1	12.2	9.7	6.8	6.1	5.0
	女性	440	48.0	53.2	36.6	25.0	20.2	15.2	12.7	10.0	3.9	5.7	5.5	5.5
年代	10歳代	33	48.5	36.4	48.5	15.2	24.2	21.2	6.1	21.2	0.0	9.1	6.1	3.0
	20歳代	74	56.8	37.8	23.0	29.7	20.3	18.9	2.7	9.5	9.5	4.1	6.8	6.8
	30歳代	150	44.7	42.7	30.0	36.7	24.0	9.3	6.7	15.3	7.3	8.0	4.0	2.0
	40歳代	216	62.5	52.8	32.9	28.7	18.5	13.0	5.1	10.6	7.9	6.5	6.9	4.2
	50歳代	152	59.9	52.6	40.1	15.1	19.1	11.2	15.1	10.5	6.6	3.3	6.6	3.3
	60歳代	116	46.6	62.9	44.0	17.2	23.3	13.8	12.1	7.8	9.5	5.2	4.3	6.9
	70歳代	147	45.6	63.9	38.8	10.9	16.3	18.4	26.5	8.2	4.8	8.2	6.8	8.8
	80歳以上	26	53.8	57.7	42.3	15.4	19.2	7.7	26.9	11.5	0.0	0.0	3.8	15.4
居住地域	旭地域	545	52.8	51.4	37.2	23.9	21.8	13.0	11.6	10.5	6.6	5.3	5.3	3.9
	海上地域	156	48.7	51.3	32.7	25.6	19.9	10.9	9.0	12.2	9.0	6.4	6.4	7.7
	飯岡地域	106	58.5	54.7	35.8	16.0	13.2	17.9	15.1	11.3	7.5	6.6	6.6	7.5
	干潟地域	94	52.1	56.4	36.2	19.1	17.0	16.0	16.0	10.6	5.3	9.6	8.5	7.4
居住年数	5年未満	116	50.9	41.4	31.9	29.3	20.7	16.4	8.6	9.5	11.2	4.3	6.9	6.0
	5年以上10年未満	87	51.7	52.9	40.2	28.7	21.8	17.2	13.8	8.0	4.6	5.7	4.6	2.3
	10年以上20年未満	200	54.0	54.5	33.5	23.5	23.5	11.0	12.0	9.0	4.5	7.0	7.0	4.0
	20年以上30年未満	119	55.5	46.2	34.5	24.4	23.5	10.9	7.6	10.9	8.4	6.7	2.5	4.2
	30年以上	388	53.4	56.4	37.9	18.3	17.0	14.2	13.7	13.1	7.0	5.9	6.4	6.7
経年	前回(R元年)	1,143	39.9	54.5	31.8	28.8	18.1	8.5	20.1	18.9	7.7	6.6	-	-

（注1）網掛けは、「全体」の水準を10ポイント以上上回った項目

（注2）経年比較は選択肢の内容が一部異なる項目がある

### (3) 住みやすさ

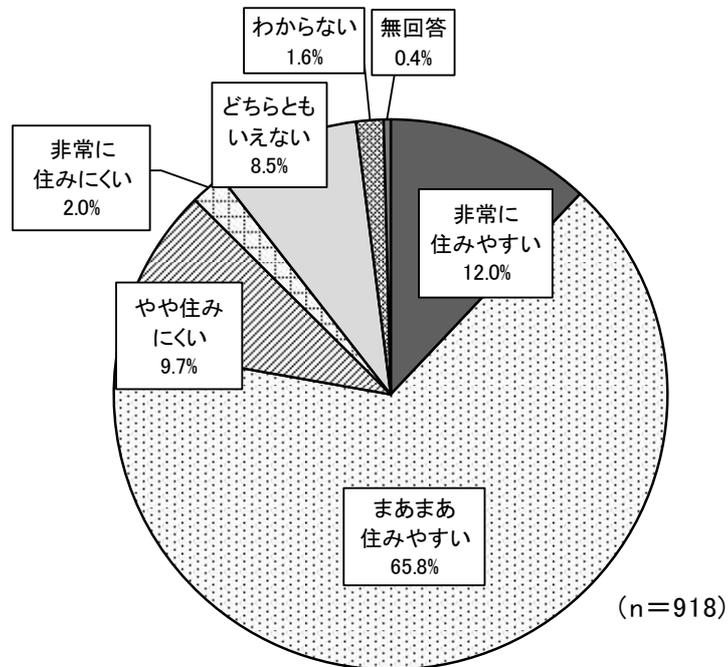
【問4】総合的に見て、旭市は住みやすいまちだと思いますか。(○は1つ)

旭市の住みやすさは、「まあまあ住みやすい」が65.8%、「非常に住みやすい」が12.0%となっており、あわせて77.8%が『住みやすい』と回答しています。なお、『住みにくい』(「やや住みにくい」+「非常に住みにくい」)は11.7%となっています。

属性別にみると、「非常に住みやすい」における「80歳以上(23.1%)」、「10歳代(21.2%)」などで高くなっています。

前回調査(R元年)と比較すると、旭市が「住みやすい」(「非常に住みよい」+「まあまあ住みよい」)の割合は7.5ポイント増加しています。

図表6 住みやすさ



図表 7 住みやすさ（クロス集計）

（単位：％）

		件数	住み やすい	非常に 住みやすい	まあまあ 住みやすい	住み にくい	やや 住みにくい	非常に 住みにくい	どちらとも いえない
全体		918	77.8	12.0	65.8	11.7	9.7	2.0	8.5
性別	男性	444	80.8	13.5	67.3	11.3	8.8	2.5	7.0
	女性	440	75.0	10.5	64.5	11.8	10.7	1.1	10.5
年代	10歳代	33	81.8	21.2	60.6	12.1	12.1	0.0	6.1
	20歳代	74	81.1	16.2	64.9	9.5	8.1	1.4	6.8
	30歳代	150	74.7	8.7	66.0	15.4	10.7	4.7	9.3
	40歳代	216	76.3	10.6	65.7	13.5	11.6	1.9	7.9
	50歳代	152	80.9	13.8	67.1	11.9	9.9	2.0	5.3
	60歳代	116	72.4	10.3	62.1	14.6	12.9	1.7	12.1
	70歳代	147	81.6	10.2	71.4	6.1	5.4	0.7	8.8
	80歳以上	26	76.9	23.1	53.8	0.0	0.0	0.0	19.2
居住地域	旭地域	545	80.2	14.1	66.1	10.6	8.4	2.2	6.8
	海上地域	156	76.2	8.3	67.9	15.4	12.8	2.6	6.4
	飯岡地域	106	71.7	14.2	57.5	11.3	11.3	0.0	15.1
	干潟地域	94	70.2	2.1	68.1	12.7	10.6	2.1	16.0
居住年数	5年未満	116	76.7	12.9	63.8	12.1	9.5	2.6	10.3
	5年以上10年未満	87	74.7	3.4	71.3	16.0	14.9	1.1	8.0
	10年以上20年未満	200	74.0	14.0	60.0	14.5	12.5	2.0	10.0
	20年以上30年未満	119	74.8	10.1	64.7	14.3	11.8	2.5	8.4
	30年以上	388	82.0	12.9	69.1	8.5	6.7	1.8	6.7
経年	前回（R元年）	1,143	70.3	10.5	59.8	12.5	9.4	3.1	11.4
	前々回（H27年）	991	74.6	10.1	64.5	14.2	10.7	3.5	8.0

（注1）網掛けは、「全体」の水準を10ポイント以上上回った項目

（注2）経年比較は選択肢の内容が一部異なる項目がある

#### (4) 定住意向

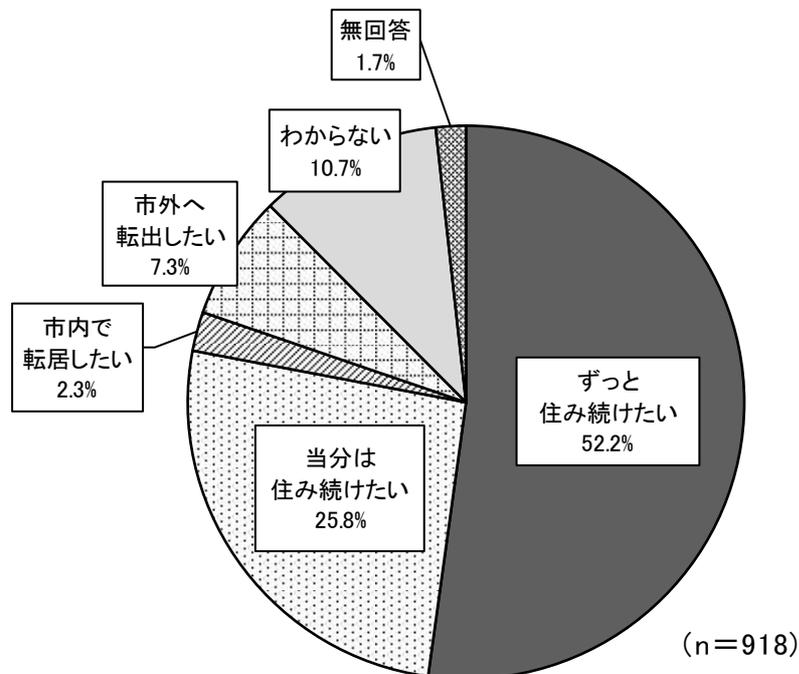
【問5】 これからもずっと旭市に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

定住意向は、「ずっと住み続けたい」が52.2%と最も高く、「当分は住み続けたい(25.8%)」と合わせて78.0%が『住み続けたい』と回答しています。なお、「市外へ転出したい」は7.3%となっています。

属性別にみると、「ずっと住み続けたい」における「80歳以上(76.9%)」、「70歳代(69.4%)」、「当分は住み続けたい」における「30歳代(37.3%)」、「10歳代(36.4%)」などで高くなっています。

前回調査(R元年)と比較すると、『住み続けたい』の割合は0.4ポイント増加しています。

図表 8 定住意向



図表 9 定住意向（クロス集計）

（単位：％）

		件数	ずっと 住み続けたい	当分は 住み続けたい	市内で 転居したい	市外へ 転出したい	わからない
全体		918	52.2	25.8	2.3	7.3	10.7
性別	男性	444	57.4	23.9	2.3	5.9	9.7
	女性	440	47.3	28.2	2.3	8.6	11.1
年代	10歳代	33	30.3	36.4	0.0	15.2	18.2
	20歳代	74	32.4	33.8	4.1	12.2	17.6
	30歳代	150	40.7	37.3	4.0	11.3	5.3
	40歳代	216	48.6	28.7	1.4	5.1	15.3
	50歳代	152	52.6	28.9	1.3	7.2	8.6
	60歳代	116	63.8	15.5	3.4	4.3	9.5
	70歳代	147	69.4	12.9	2.0	6.1	6.8
	80歳以上	26	76.9	3.8	0.0	0.0	11.5
居住地域	旭地域	545	52.3	25.0	2.6	8.1	10.3
	海上地域	156	55.1	28.2	1.9	4.5	8.3
	飯岡地域	106	52.8	20.8	1.9	9.4	12.3
	干潟地域	94	45.7	29.8	2.1	6.4	16.0
居住年数	5年未満	116	42.2	32.8	6.0	8.6	10.3
	5年以上10年未満	87	44.8	31.0	2.3	9.2	10.3
	10年以上20年未満	200	44.5	33.0	1.0	7.5	12.5
	20年以上30年未満	119	42.9	26.9	4.2	10.1	14.3
	30年以上	388	63.4	18.8	1.3	5.4	8.8
愛着	好き	611	65.8	23.9	2.1	2.3	4.7
	嫌い	20	0.0	20.0	0.0	70.0	10.0
住みよさ	非常に住みやすい	110	89.1	3.6	0.9	3.6	0.0
	まあまあ住みやすい	604	56.5	29.6	2.3	3.0	7.6
	やや住みにくい	89	16.9	29.2	5.6	27.0	19.1
	非常に住みにくい	18	5.6	11.1	0.0	44.4	33.3
経年	前回(R元年)	1,143	49.4	28.2	1.7	7.8	8.4
	前々回(H27年)	991	47.9	30.5	2.4	4.1	12.7

（注）網掛けは、「全体」の水準を10ポイント以上上回った項目

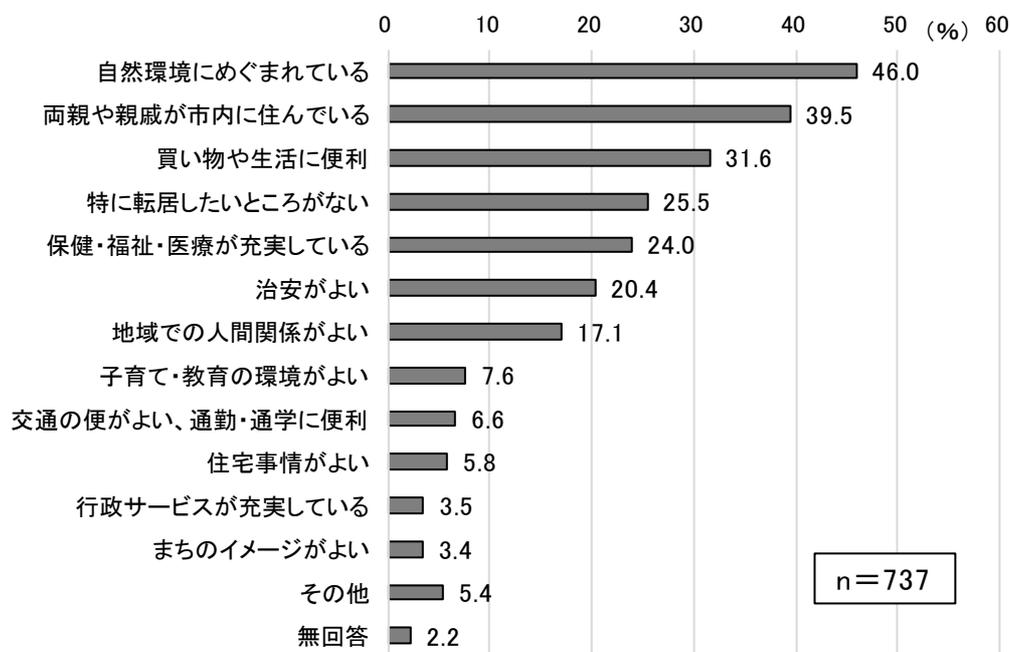
## (5) 住み続けたい理由

【問 5-①】住み続けたい理由についてもあわせてお聞かせください。(○は3つまで)

旭市に『住み続けたい』と回答した方 (n=737) の住み続けたい理由については、「自然環境に恵まれている」が 46.0%と最も高くなっています。次いで「両親や親戚が市内に住んでいる (39.5%)」「買い物や生活に便利 (31.6%)」、「特に転居したいところがない (25.5%)」の順となっています。

属性別にみると、「自然環境に恵まれている」における「80 歳代以上 (76.2%)」、「両親や親戚が市内に住んでいる」における「30 歳代 (65.9%)」、「保健・福祉・医療が充実している」における「80 歳代以上 (52.4%)」などが高くなっています。

図表 10 住み続けたい理由



図表 11 住み続けたい理由（クロス集計）

（単位：％）

		件数	めぐ自然環境に まれている	両親や親戚が 市内に住んでいる	買い物や生活に便利	特に転居したい ところがない	保健・福祉・医療 が充実している	治安がよい	地域での人間関係 がよい	子育て・教育の 環境がよい	交通の便がよい、 通勤・通学に便利	住宅事情がよい	行政サービスが 充実している	まちのイメージ がよい
全体		737	46.0	39.5	31.6	25.5	24.0	20.4	17.1	7.6	6.6	5.8	3.5	3.4
性別	男性	371	48.2	36.1	30.5	24.5	26.7	22.4	17.3	5.1	7.0	7.0	4.6	3.8
	女性	342	43.9	43.3	32.5	26.6	20.8	18.7	16.4	10.5	5.8	5.0	2.3	2.6
年代	10歳代	22	40.9	36.4	36.4	18.2	27.3	27.3	13.6	18.2	9.1	4.5	0.0	9.1
	20歳代	52	44.2	50.0	36.5	30.8	15.4	13.5	7.7	11.5	1.9	3.8	0.0	3.8
	30歳代	123	32.5	65.9	29.3	23.6	11.4	12.2	13.8	11.4	8.9	4.1	1.6	3.3
	40歳代	170	45.3	47.1	32.4	18.8	24.7	18.8	19.4	11.8	5.9	5.9	1.8	2.9
	50歳代	126	49.2	33.3	31.7	31.0	21.4	23.8	15.1	5.6	4.8	11.1	4.0	4.8
	60歳代	96	44.8	22.9	33.3	34.4	22.9	17.7	13.5	0.0	7.3	5.2	5.2	1.0
	70歳代	124	54.0	22.6	28.2	24.2	37.9	27.4	23.4	2.4	8.9	4.8	8.1	3.2
	80歳以上	21	76.2	14.3	33.3	23.8	52.4	38.1	33.3	4.8	4.8	0.0	4.8	0.0
居住地域	旭地域	435	44.8	40.0	38.2	20.9	23.9	22.1	14.9	9.7	8.3	6.0	3.0	3.2
	海上地域	133	41.4	41.4	27.1	35.3	20.3	15.0	18.8	3.8	6.8	6.0	1.5	0.8
	飯岡地域	80	57.5	31.3	18.8	27.5	32.5	17.5	26.3	3.8	3.8	7.5	7.5	5.0
	干潟地域	73	52.1	41.1	19.2	31.5	21.9	23.3	17.8	6.8	1.4	4.1	5.5	5.5
居住年数	5年未満	94	27.7	50.0	34.0	26.6	10.6	17.0	11.7	8.5	7.4	8.5	2.1	5.3
	5年以上10年未満	68	39.7	48.5	35.3	22.1	23.5	10.3	10.3	13.2	11.8	7.4	1.5	2.9
	10年以上20年未満	157	45.9	42.7	36.3	22.9	29.9	16.6	15.9	7.6	5.7	7.6	6.4	2.5
	20年以上30年未満	88	50.0	38.6	36.4	29.5	17.0	22.7	8.0	9.1	3.4	8.0	1.1	2.3
	30年以上	324	51.9	33.6	26.5	26.5	26.5	24.7	22.8	5.6	6.5	3.4	3.7	3.4

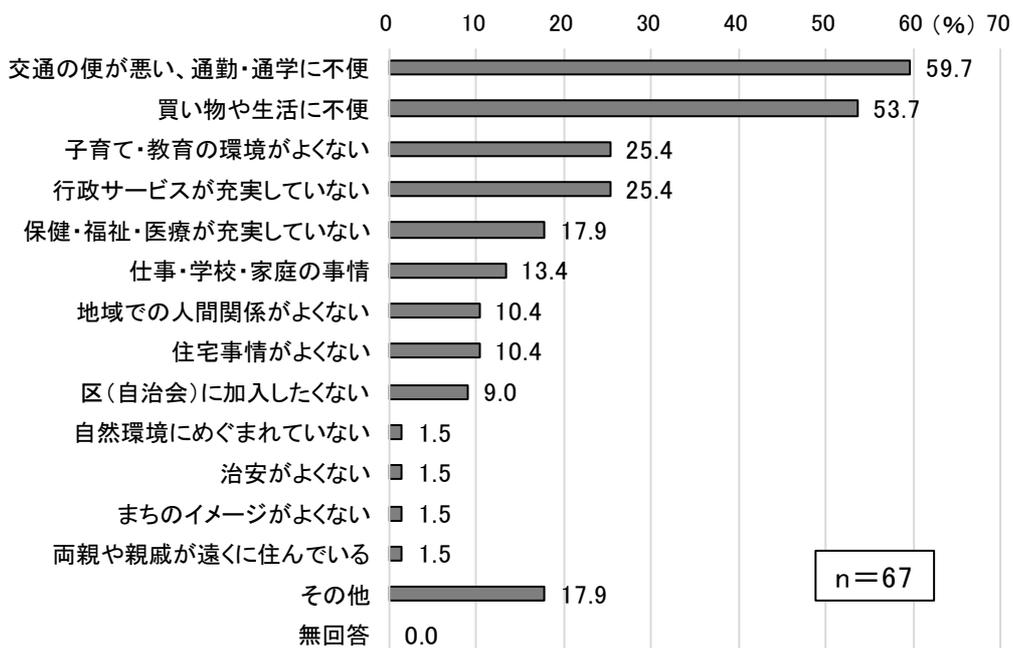
（注）網掛けは、「全体」の水準を10ポイント以上上回った項目

## (6) 転出したい理由

【問 5-②】 転出したい理由についてもあわせてお聞かせください。

旭市から「市外に転出したい」と回答した方（n=67）の転出したい理由については、「交通の便が悪い、通勤・通学に不便」が 59.7%と最も高くなっています。次いで「買い物や生活に不便（53.7%）」、「子育て・教育の環境がよくない」、「行政サービスがよくない（ともに 25.4%）」の順となっています。

図表 12 転出したい理由 (MA)



図表 13 転出したい理由（クロス集計）

(単位:%)

		件数	交通の便が悪い、 通勤・通学に不便	買い物や生活に不便	子育て・教育の 環境がよくない	行政サービスが 充実していない	保健・福祉・医療が 充実していない	仕事・学校・家庭 の事情	地域での人間関係 がよくない	住宅事情がよくない	区（自治会）に 加入したくない	自然環境に めぐまれていない	治安がよくない	まちなイメージがよ くない	両親や親戚が 遠くに住んでいる
全体		67	59.7	53.7	25.4	25.4	17.9	13.4	10.4	10.4	9.0	1.5	1.5	1.5	1.5
性別	男性	26	53.8	57.7	23.1	15.4	7.7	19.2	3.8	11.5	15.4	3.8	0.0	0.0	0.0
	女性	38	63.2	50.0	28.9	28.9	26.3	10.5	15.8	7.9	5.3	0.0	2.6	2.6	2.6
年代	10歳代	5	20.0	40.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代	9	66.7	55.6	44.4	33.3	0.0	11.1	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代	17	70.6	35.3	41.2	35.3	23.5	11.8	5.9	5.9	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0
	40歳代	11	90.9	45.5	27.3	18.2	18.2	18.2	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	50歳代	11	36.4	54.5	9.1	9.1	27.3	18.2	9.1	36.4	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1
	60歳代	5	40.0	80.0	40.0	40.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	70歳代	9	55.6	88.9	0.0	22.2	11.1	0.0	33.3	11.1	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
居住地域	旭地域	44	52.3	54.5	27.3	27.3	22.7	11.4	11.4	13.6	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3
	海上地域	7	71.4	57.1	0.0	42.9	0.0	14.3	14.3	14.3	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	飯岡地域	10	60.0	30.0	10.0	10.0	10.0	30.0	10.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	干潟地域	6	100.0	83.3	66.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
居住年数	5年未満	10	70.0	50.0	20.0	20.0	10.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0
	5年以上10年未満	8	75.0	37.5	37.5	25.0	25.0	12.5	0.0	12.5	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0
	10年以上20年未満	15	40.0	40.0	13.3	20.0	13.3	20.0	13.3	13.3	6.7	0.0	6.7	6.7	0.0
	20年以上30年未満	12	58.3	83.3	33.3	25.0	8.3	0.0	16.7	8.3	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30年以上	21	66.7	52.4	28.6	28.6	23.8	14.3	14.3	14.3	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0

(注) 網掛けは、「全体」の水準を10ポイント以上上回った項目

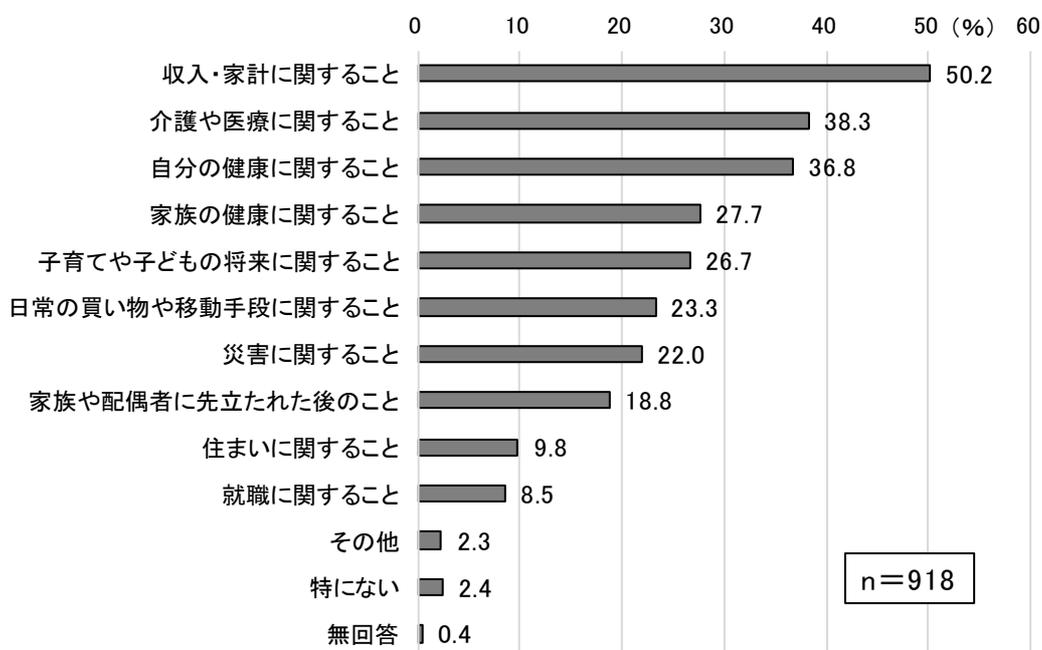
## (7) 将来の暮らしについて

【問6】あなたは、将来の暮らしについて、どのようなことに悩みや不安を感じますか。(○は3つまで)

将来の暮らしに感じる不安や悩みについては、「収入・家計に関すること」が50.2%と最も高くなっています。次いで「介護や医療に関すること(38.3%)」、「自分の健康に関すること(36.8%)」、「家族の健康に関すること(27.7%)」の順となっています。

属性別にみると、「収入・家計に関すること」における「20歳代(70.3%)」、「自分の健康に関すること」における「70歳代(59.9%)」、「80歳以上(57.7%)」、「子育てや子どもの将来に関すること」における「30歳代(52.7%)」などが高くなっています。

図表 14 将来の暮らしについての悩みや不安



図表 15 将来の暮らしについての悩みや不安（クロス集計）

(単位:%)

		件数	収入・家計に 関すること	介護や医療に 関すること	自分の健康に 関すること	家族の健康に 関すること	子育てや子どもの 将来に関する こと	日常の買い物や移動 手段に関する こと	災害に関する こと	先立たれた 後、家族や 配偶者に 関すること	住まいに 関すること	就職に 関すること
全体		918	50.2	38.3	36.8	27.7	26.7	23.3	22.0	18.8	9.8	8.5
性別	男性	444	53.8	33.3	39.4	29.5	27.3	21.8	23.6	15.3	7.4	9.7
	女性	440	48.4	43.4	33.9	25.9	27.3	23.4	20.5	21.6	12.5	7.5
年代	10歳代	33	57.6	12.1	30.3	9.1	27.3	18.2	24.2	6.1	6.1	42.4
	20歳代	74	70.3	16.2	17.6	24.3	40.5	13.5	20.3	12.2	12.2	21.6
	30歳代	150	59.3	30.0	17.3	26.7	52.7	12.0	21.3	18.7	14.0	6.7
	40歳代	216	56.5	35.6	37.0	27.8	41.7	22.2	16.2	13.9	9.3	10.6
	50歳代	152	55.9	44.1	36.2	28.3	15.1	27.0	26.3	20.4	11.2	5.3
	60歳代	116	43.1	46.6	44.0	33.6	7.8	31.0	23.3	23.3	8.6	3.4
	70歳代	147	25.9	53.7	59.9	29.9	2.7	32.7	25.2	25.2	6.1	1.4
	80歳以上	26	19.2	46.2	57.7	26.9	3.8	19.2	23.1	26.9	7.7	0.0
居住地域	旭地域	545	51.2	37.6	36.9	27.5	28.1	22.2	20.6	19.4	9.4	9.2
	海上地域	156	53.2	39.7	34.6	30.1	25.6	24.4	19.2	17.3	9.0	9.6
	飯岡地域	106	49.1	41.5	37.7	27.4	26.4	22.6	31.1	15.1	10.4	5.7
	干潟地域	94	41.5	37.2	40.4	26.6	22.3	28.7	24.5	22.3	10.6	5.3
居住年数	5年未満	116	56.0	31.0	28.4	31.9	44.0	17.2	18.1	13.8	15.5	6.0
	5年以上10年未満	87	56.3	46.0	35.6	16.1	35.6	27.6	23.0	16.1	11.5	5.7
	10年以上20年未満	200	51.0	39.5	35.5	21.5	27.5	23.5	22.0	17.0	10.5	14.5
	20年以上30年未満	119	46.2	35.3	28.6	29.4	30.3	26.1	24.4	21.8	6.7	12.6
	30年以上	388	48.2	38.7	43.0	31.4	18.6	23.5	22.2	20.4	8.5	5.4
経年	前回(R元年)	1,143	45.1	39.5	42.5	32.1	21.5	21.3	18.7	16.9	8.8	6.6

(注)網掛けは、「全体」の水準を10ポイント以上上回った項目

### 3. 旭市の取組みについて

#### (1) 満足度・重要度

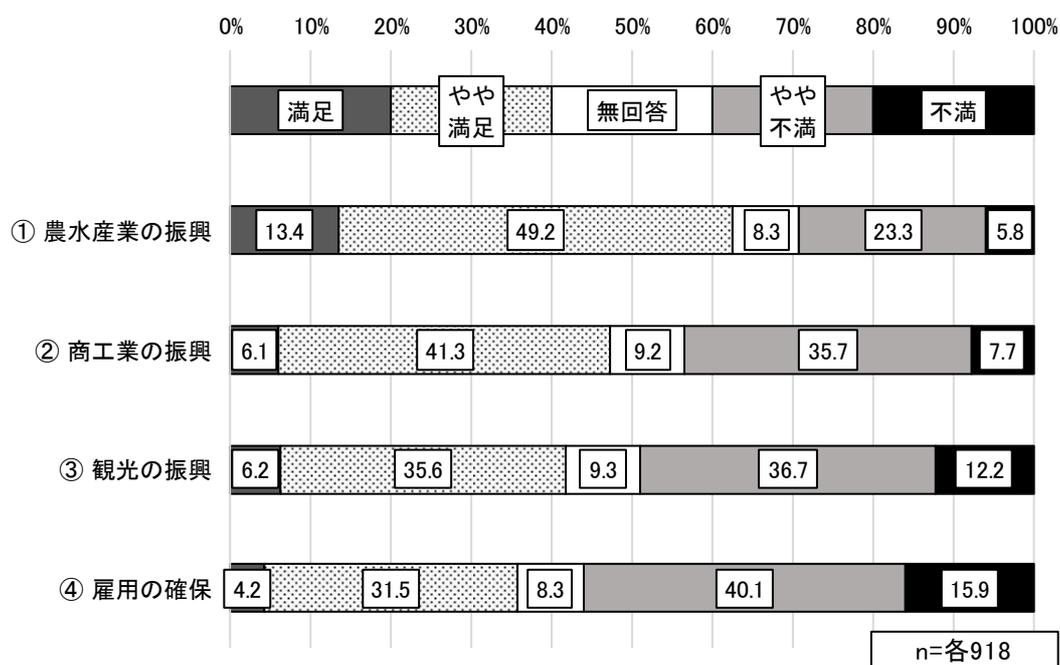
【問7】これまで進めてきたまちづくりの「満足度」を、回答例にならって項目ごとに○印をつけてください。(○は各項目1つ)

#### ① 魅力ある雇用を創出し、安心して働けるまちづくり

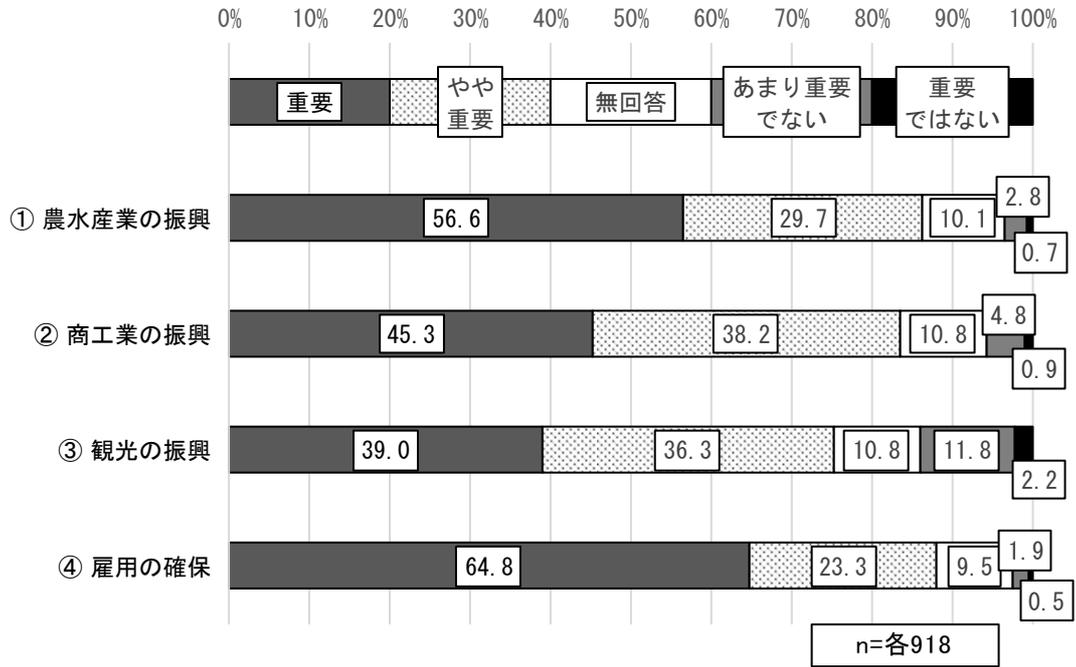
「魅力ある雇用を創出し、安心して働けるまちづくり」における各項の満足度について、満足（「満足」＋「やや満足」）の割合が最も高い項目は「①農水産業の振興」で62.6%、一方、不満（「不満」＋「やや不満」）の割合が最も高い項目は「④雇用の確保」で56.0%となっています。

また、重要である（「重要」＋「やや重要」）の割合が最も高い項目は「④雇用の確保」で88.1%となっています。

図表 16 ①満足度



図表 17 ①重要度

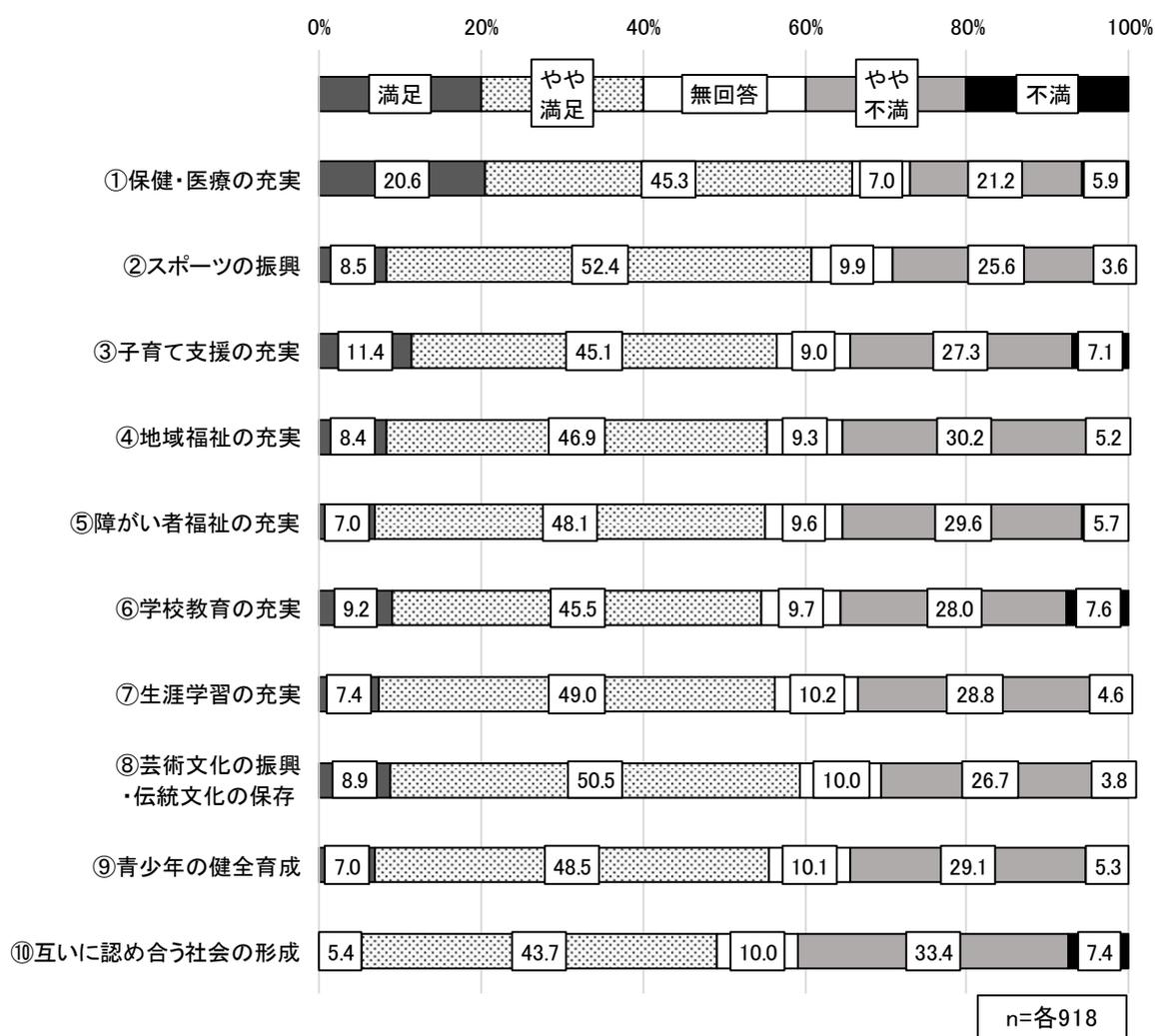


② 結婚・出産・子育ての希望がない、誰もが生きがいを持てるまちづくり

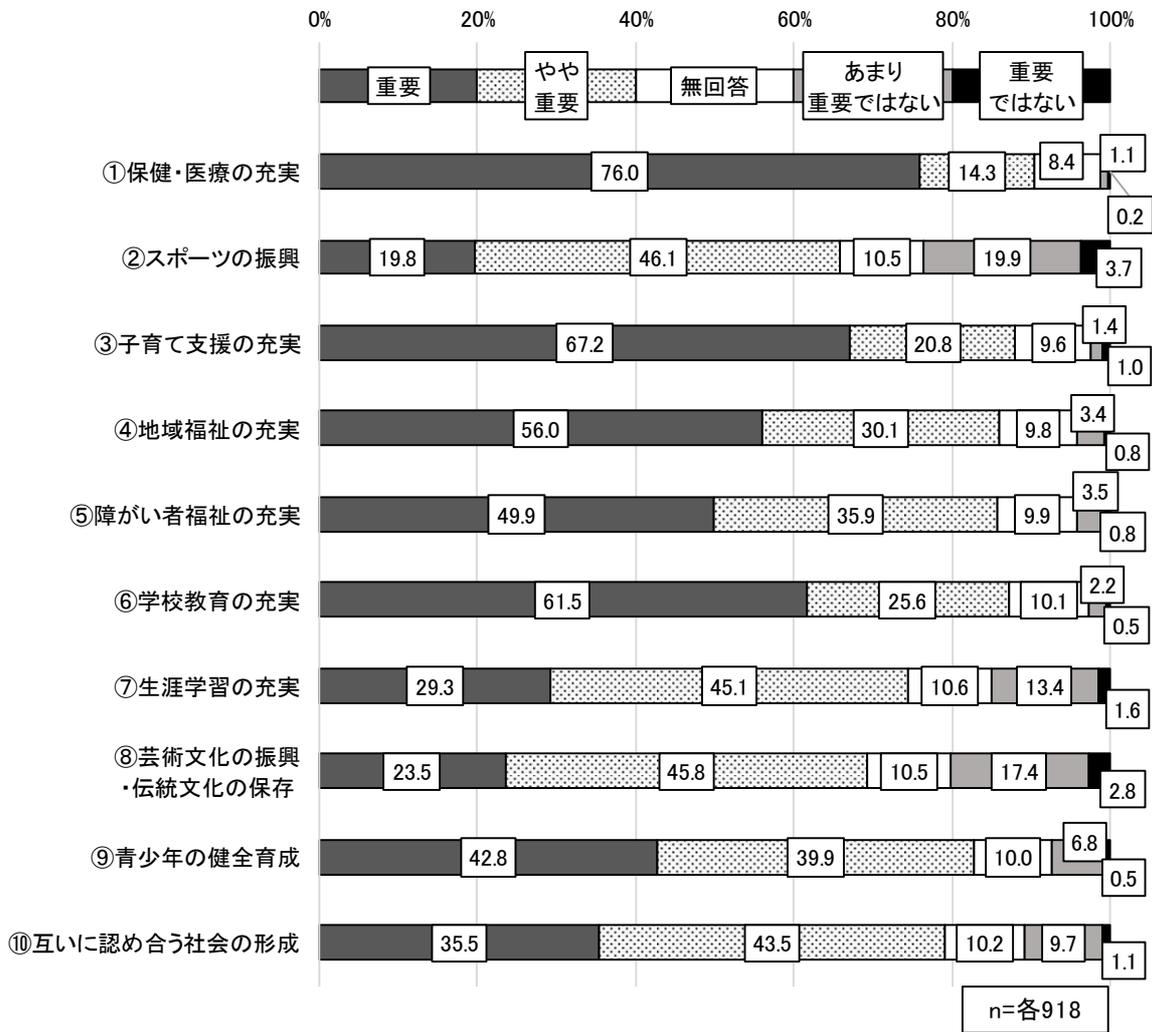
「結婚・出産・子育ての希望がない、誰もが生きがいを持てるまちづくり」における各項の満足度について、満足（「満足」+「やや満足」）の割合が最も高い項目は「①保健・医療の充実」で65.9%、一方、不満（「不満」+「やや不満」）の割合が最も高い項目は「⑩互いに認め合う社会の形成」で40.8%となっています。

また、重要である（「重要」+「やや重要」）の割合が最も高い項目は「①保健・医療の充実」で90.3%となっています。

図表 18 ②満足度



図表 19 ②重要度

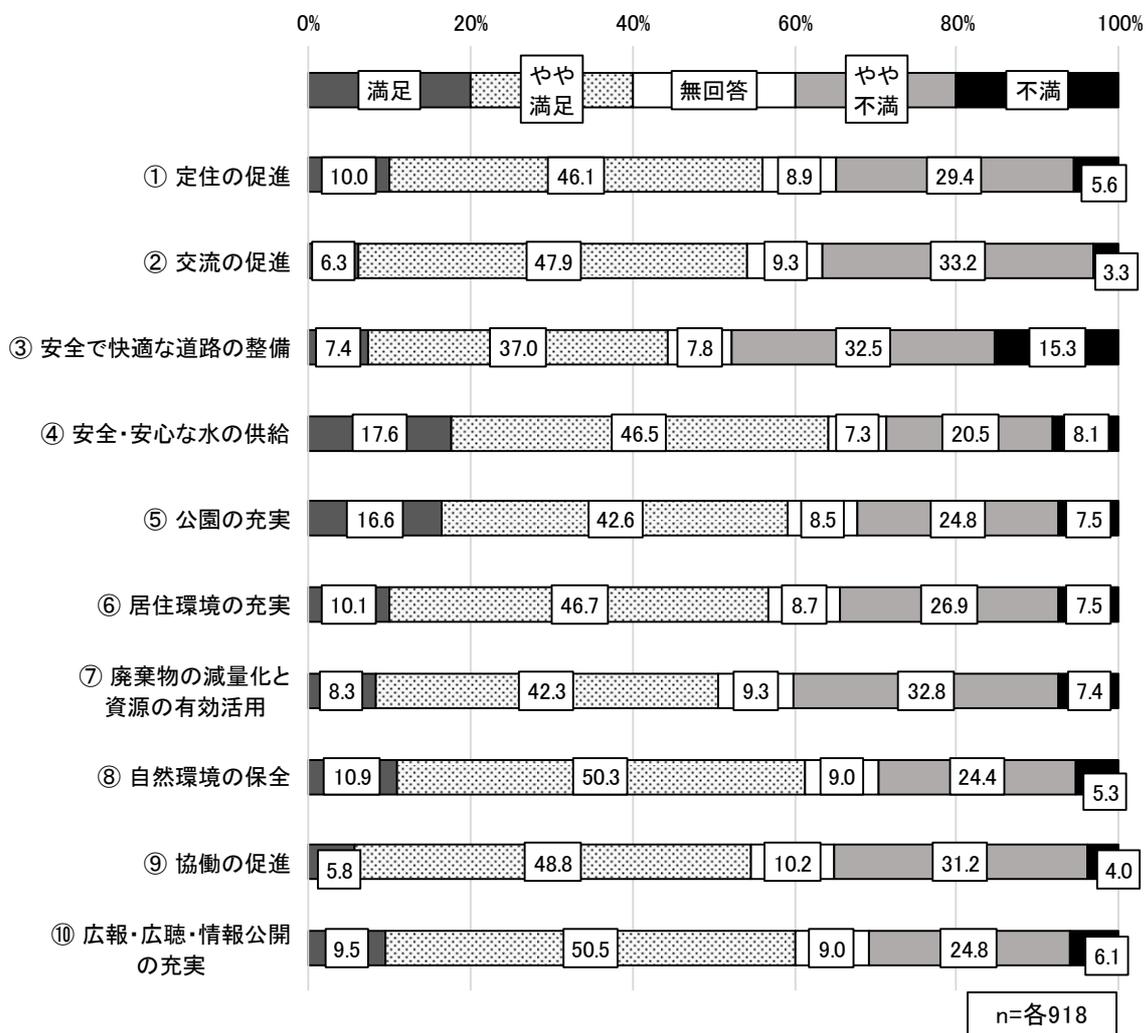


### ③ ひとの定着・還流・移住の流れをつくり、人々が集うまちづくり

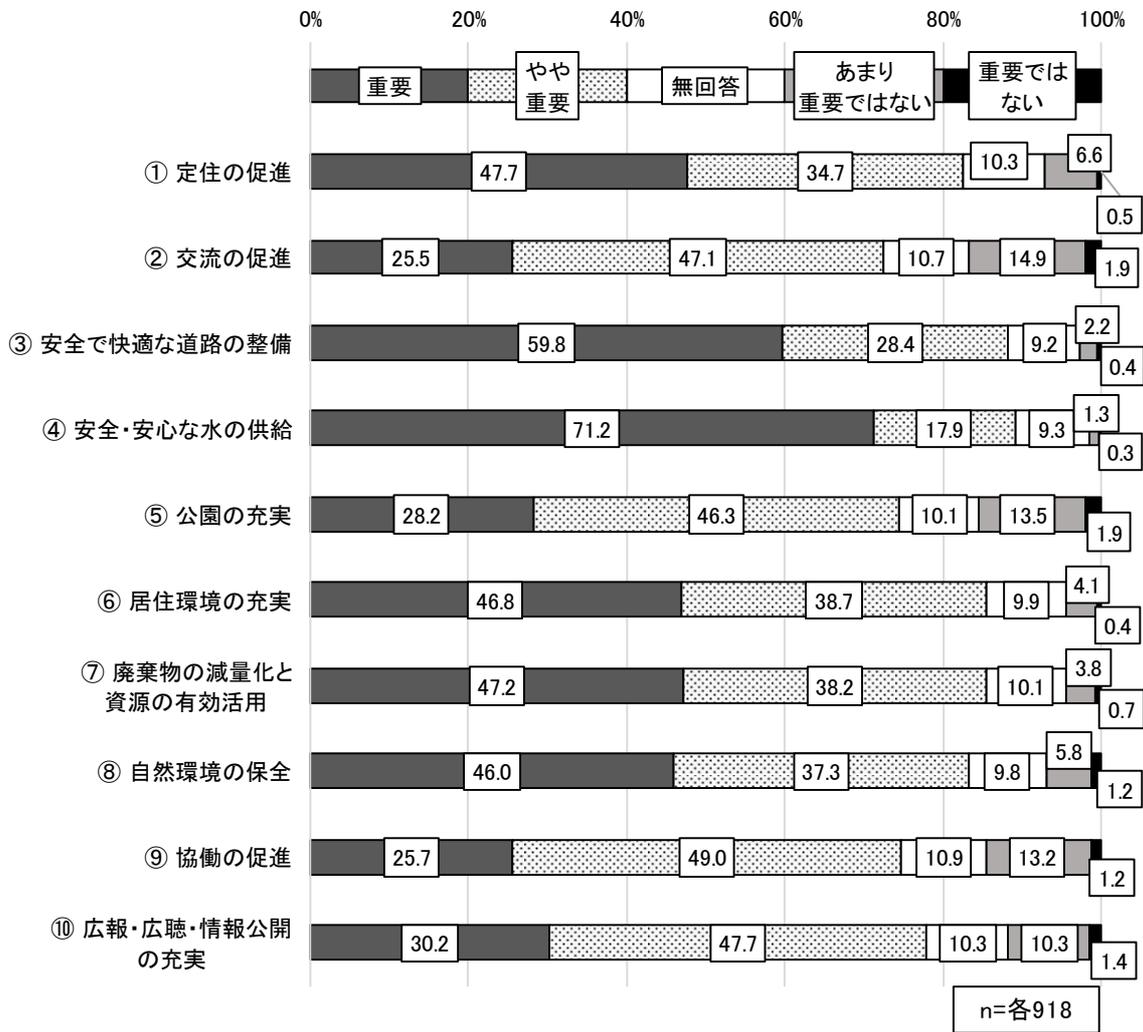
「ひとの定着・還流・移住の流れをつくり、人々が集うまちづくり」における各項の満足度について、満足（「満足」+「やや満足」）の割合が最も高い項目は「④ 安全・安心な水の供給」で 64.1%、一方、不満（「不満」+「やや不満」）の割合が最も高い項目は「③ 安全で快適な道路の整備」で 37.8%となっています。

また、重要である（「重要」+「やや重要」）の割合が最も高い項目は「④ 安全・安心な水の供給」で 89.1%となっています。

図表 20 ③満足度



図表 21 ③重要度

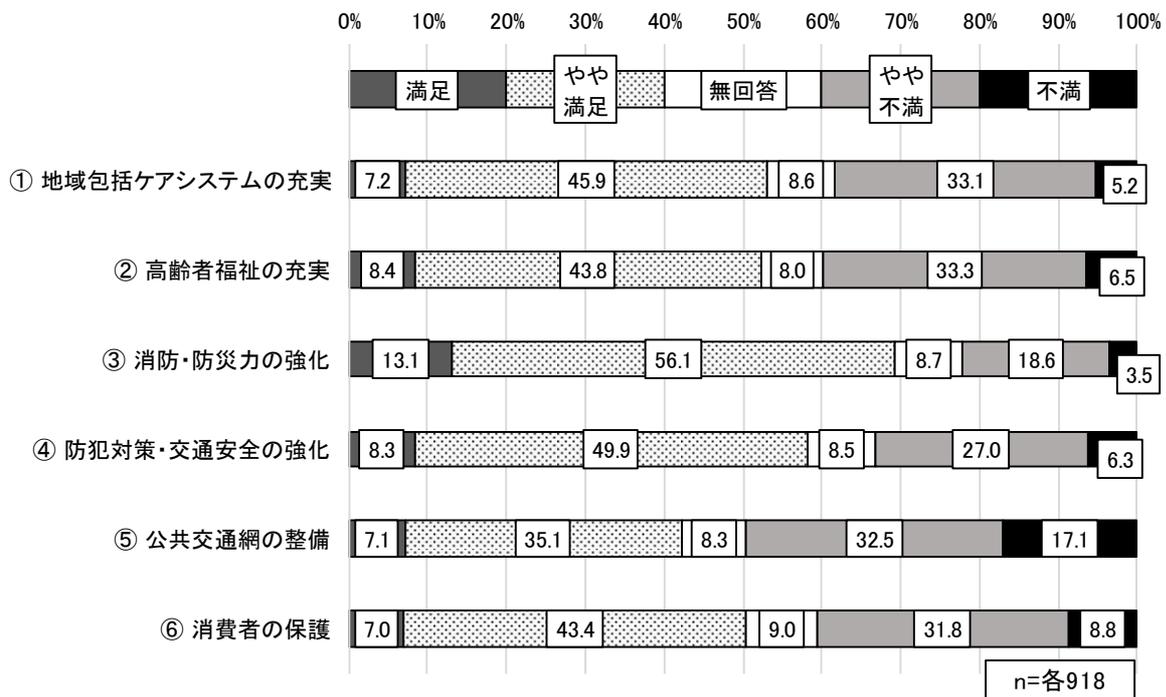


④ 将来にわたって元気な地域をつくり、安全・安心で暮らしやすいまちづくり

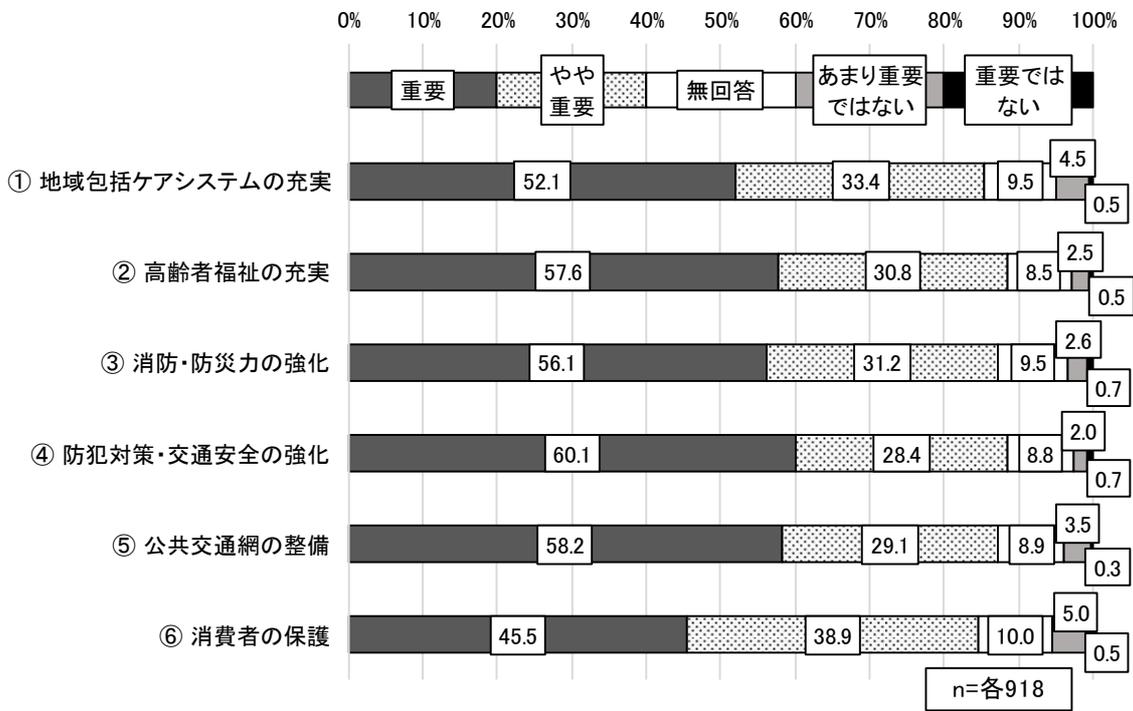
「将来にわたって元気な地域をつくり、安全・安心で暮らしやすいまちづくり」における各項の満足度について、満足（「満足」+「やや満足」）の割合が最も高い項目は「③ 消防・防災力の強化」で 69.2%、一方、不満（「不満」+「やや不満」）の割合が最も高い項目は「⑥ 消費者の保護」で 40.6%となっています。

また、重要である（「重要」+「やや重要」）の割合が最も高い項目は「④ 防犯対策・交通安全の強化」で 88.5%となっています。

図表 22 ④満足度



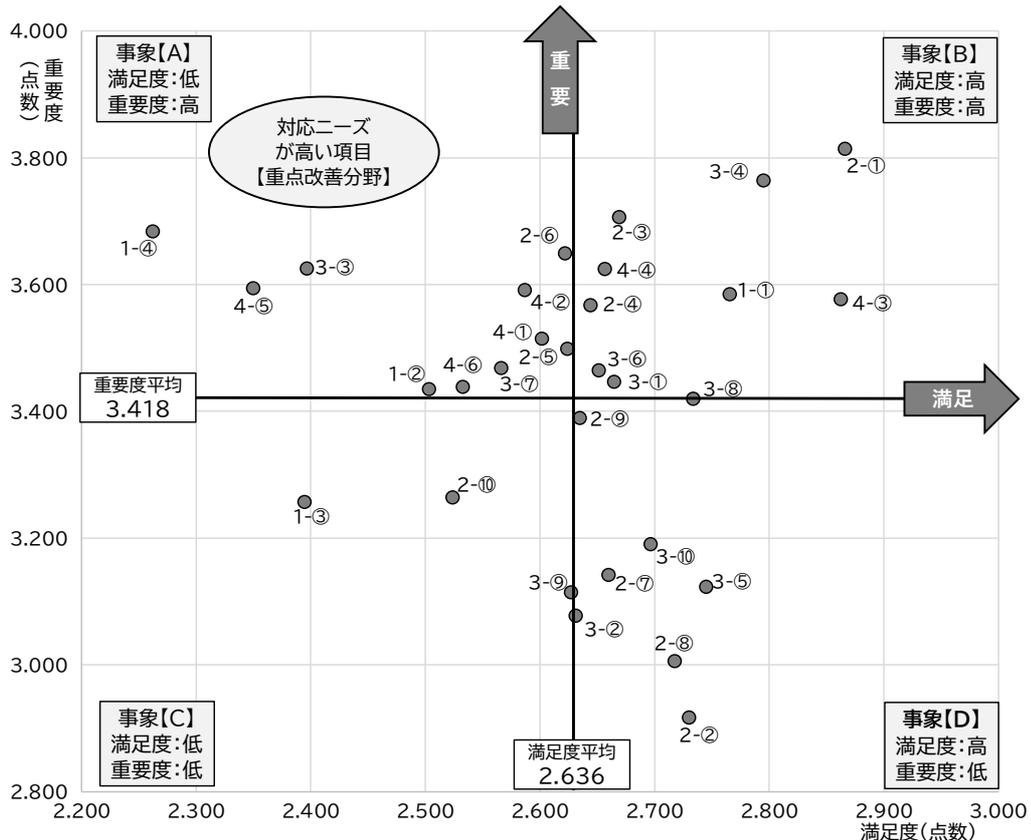
図表 23 ④重要度



## (2) 満足度・重要度の相関分析

満足度と重要度を点数化<sup>(注)</sup>したうえで、両者の相関係数を分析しました。その結果、今後対応をしていく必要のある「満足度が低く、重要度が高い項目(相関図の左上に位置する項目)」は、「1-④ 雇用の確保」、「4-⑤ 公共交通網の整備」、「3-③ 安全で快適な道路の整備」、「2-⑥ 学校教育の充実」、「4-② 高齢者福祉の充実」、「1-② 商工業の振興」、「4-① 地域包括ケアシステムの充実」、「4-⑥ 消費者の保護」、「3-⑦ 廃棄物の減量化と資源の有効活用」、「2-⑤ 障がい者福祉の充実」となっています。

図表 24 満足度・重要度の相関分析図



1. 魅力ある雇用を創出し、安心して働けるまちづくり	① 農水産業の振興 ② 商工業の振興 ③ 観光の振興 ④ 雇用の確保	① 定住の促進 ② 交流の促進 ③ 安全で快適な道路の整備 ④ 安全・安心な水の供給 ⑤ 公園の充実 ⑥ 居住環境の充実 ⑦ 廃棄物の減量化と資源の有効活用 ⑧ 自然環境の保全 ⑨ 協働の促進 ⑩ 広報・広聴・情報公開の充実
2. 結婚・出産・子育ての希望がかない、誰もが生きがいを持てるまちづくり	① 保健・医療の充実 ② スポーツの振興 ③ 子育て支援の充実 ④ 地域福祉の充実 ⑤ 障がい者福祉の充実 ⑥ 学校教育の充実 ⑦ 生涯学習の充実 ⑧ 芸術文化の振興・伝統文化の保存 ⑨ 青少年の健全育成 ⑩ 互いに認め合う社会の形成	3. ひとの定着・還流・移住の流れをつくり、人々が集うまちづくり
	4. 将来にわたって元気な地域をつくり、安全・安心で暮らしやすいまちづくり	① 地域包括ケアシステム <sup>(注1)</sup> の充実 ② 高齢者福祉の充実 ③ 消防・防災力の強化 ④ 防犯対策・交通安全の強化 ⑤ 公共交通網の整備 ⑥ 消費者の保護

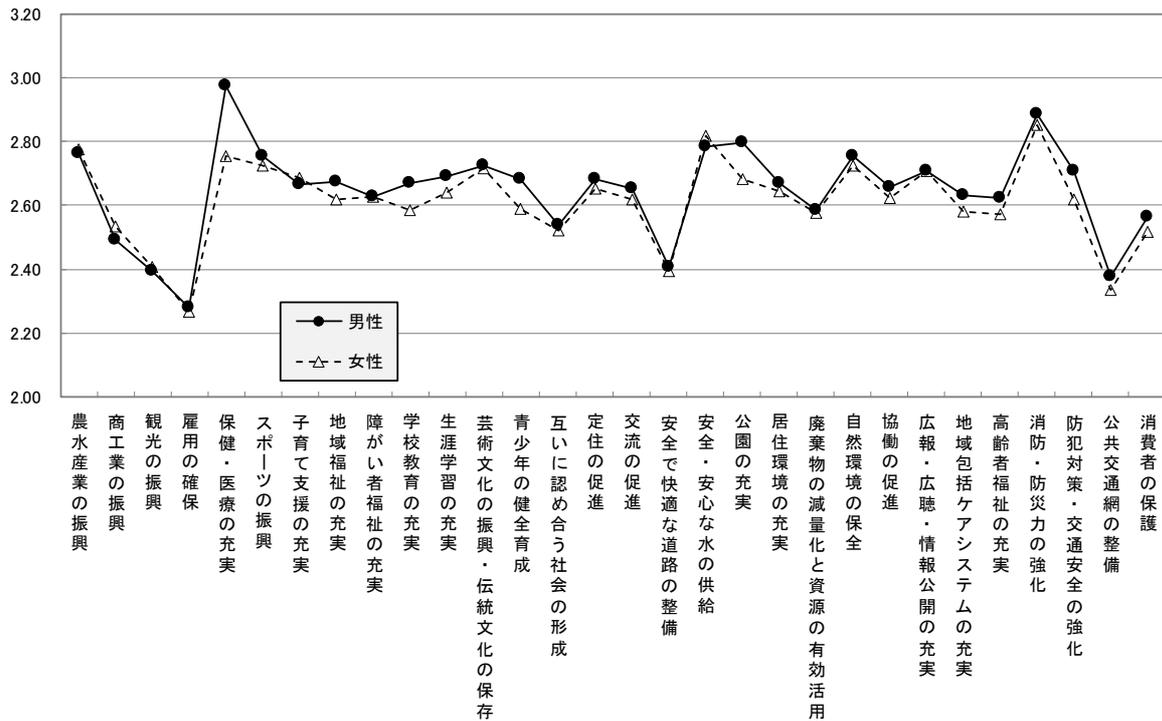
(注) 満足度と重要度の点数化：満足度は、「満足」=4、「やや満足」=3、「やや不満」=2、「不満」=1、重要度は、「重要」=4、「やや重要」=3、「あまり重要ではない」=2、「重要ではない」=1とし、それぞれ回答件数をかけた値の和を、全回答件数で除して平均化した。

### (3) 属性別

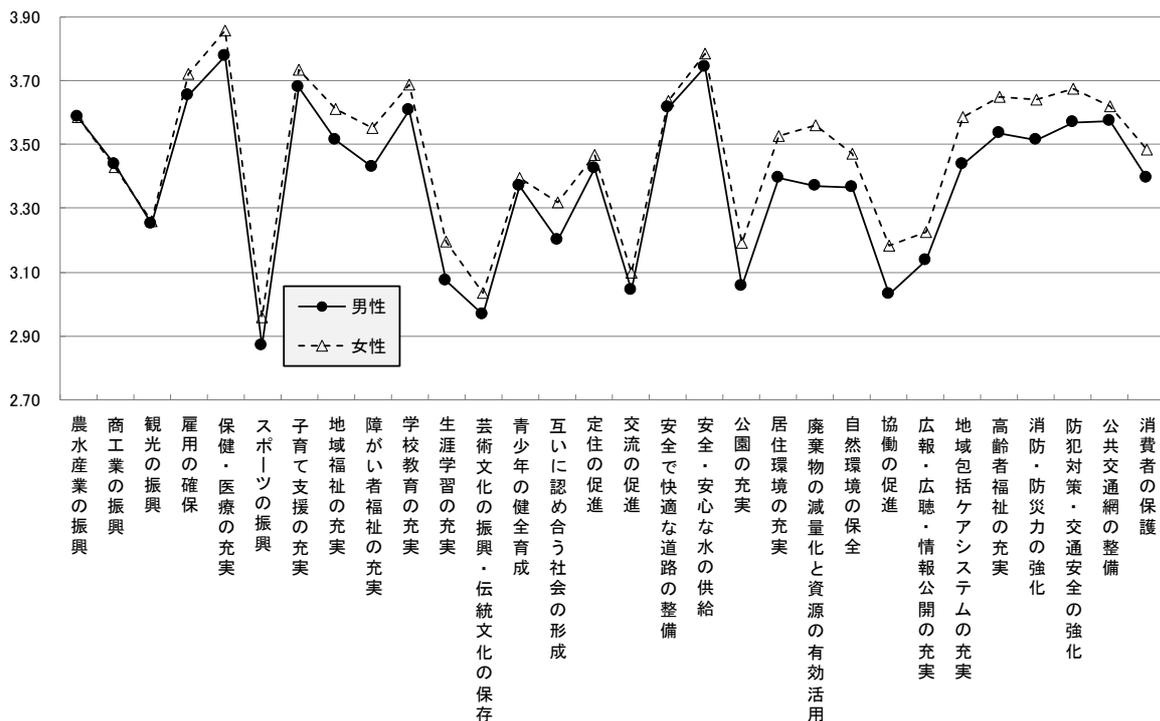
#### ① 男女別

男女別にみると、満足度では男性の方が高く、重要度では女性の方が高い傾向となっています。満足度では、「保健・医療の充実」、「公園の充実」などで差異が大きくなっており、重要度では、「廃棄物の減量化と資源の有効活用」、「協働の促進」などで差異が大きくなっています。

図表 25 施策別の満足度（性別・点数化）



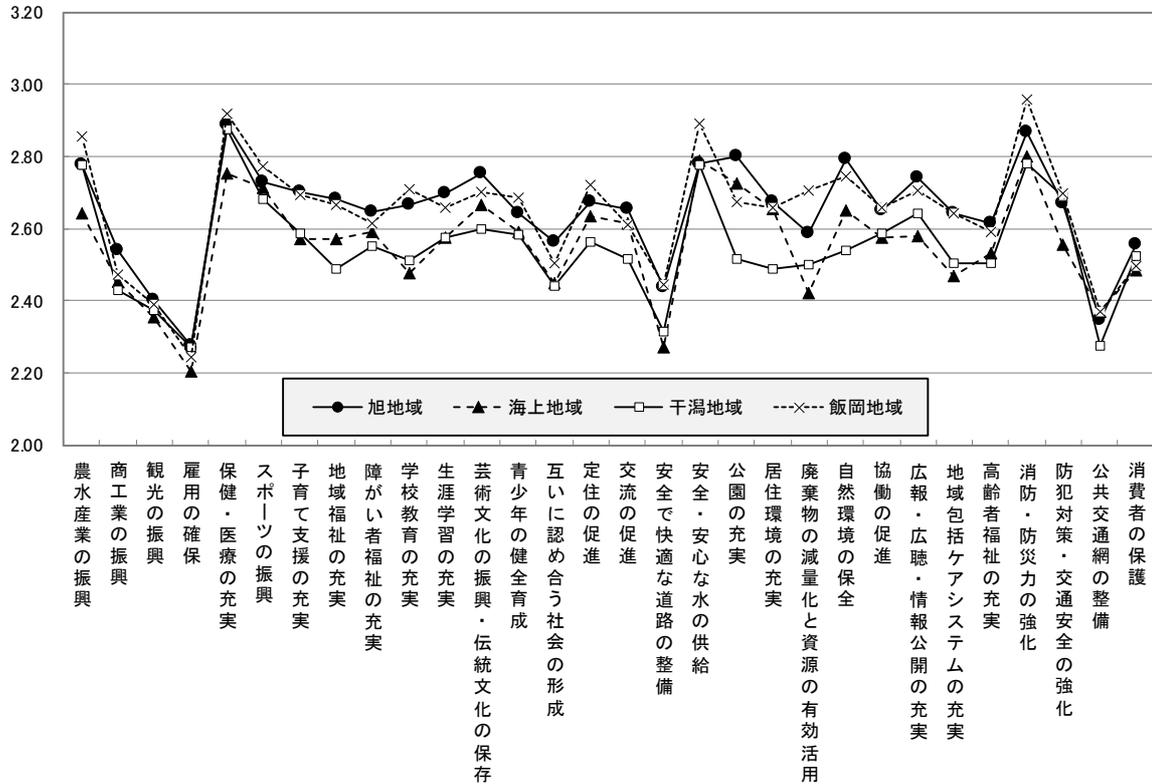
図表 26 施策別の重要度（性別・点数化）



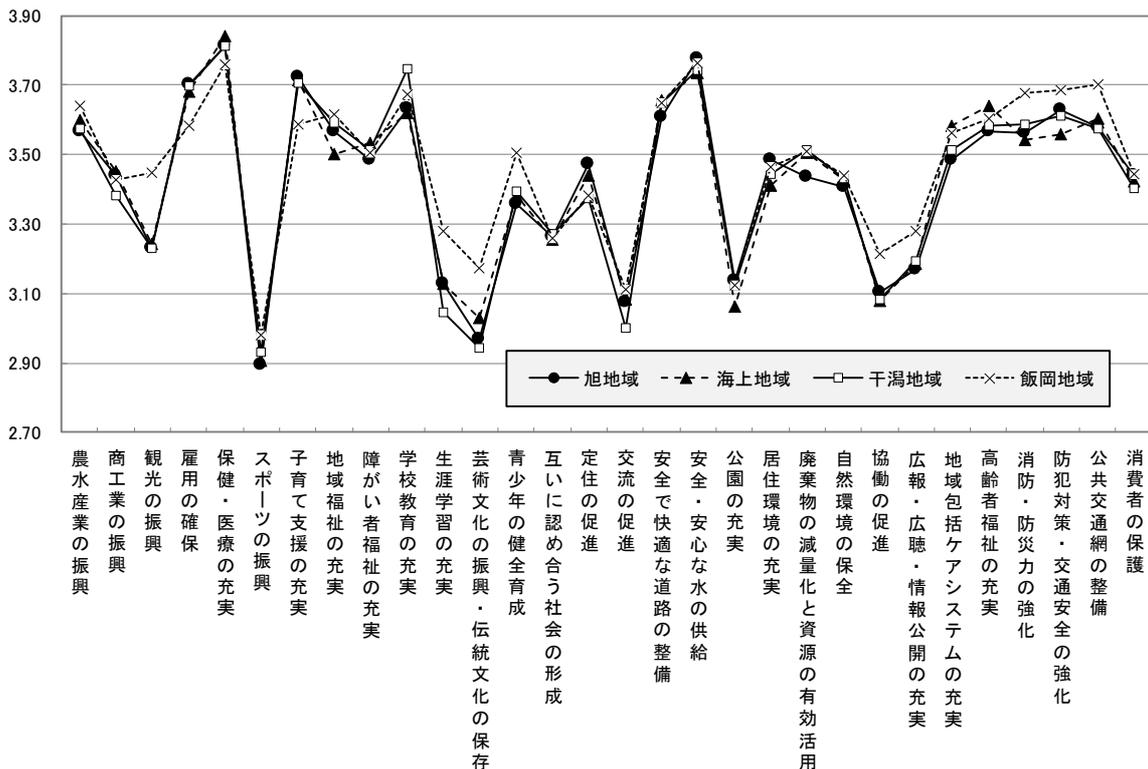
## ② 居住地域別

満足度では、「飯岡地域」、「旭地域」が高く、「干潟地域」、「海上地域」が低い傾向があります。重要度では、「飯岡地域」でやや高い傾向となっています。

図表 27 施策別の満足度（居住地域別・点数化）



図表 28 施策別の重要度（居住地域別・点数化）



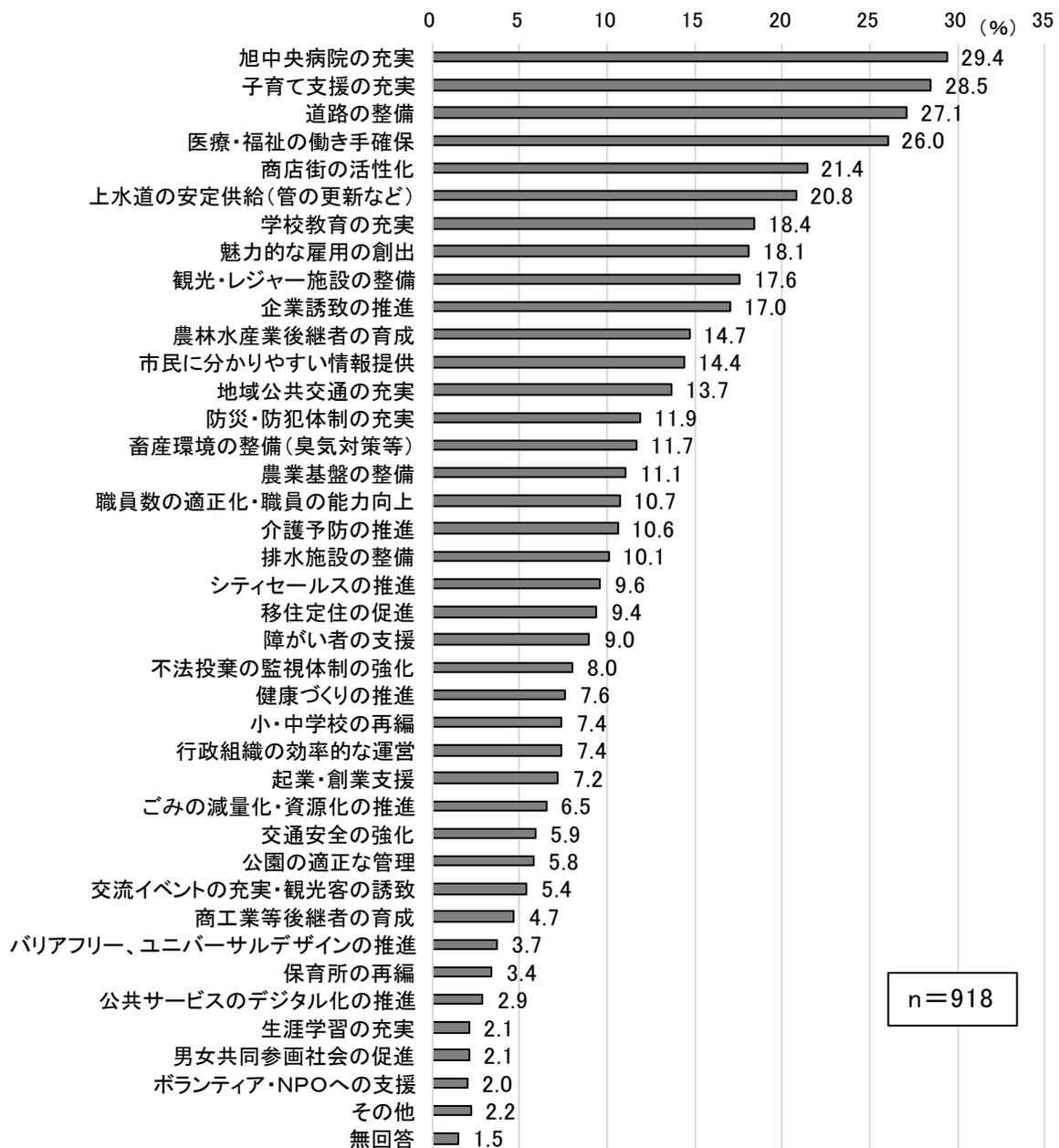
#### (4) 優先施策

【問8】優先的に実施してほしいと思うことは何ですか。(〇は5つまで)

市に優先的に実施してほしい取り組みは、「旭中央病院の充実」が29.4%と最も高くなっています。次いで「子育て支援の充実(28.5%)」、「道路の整備(27.1%)」、「医療・福祉の働き手確保(26.0%)」、「商店街の活性化(21.4%)」の順となっています。

属性別にみると、「子育て支援の充実」における「20歳代(58.1%)」、「30歳代(53.3%)」などが高くなっています。

図表 29 優先施策



図表 30 優先施策（クロス集計・上位 10 項目）

（単位：％）

		件数	旭中央病院の充実	子育て支援の充実	道路の整備	医療・福祉の働き手確保	商店街の活性化	上水道の安定供給（管の更新など）	学校教育の充実	魅力的な雇用の創出	観光・レジャー施設の整備	企業誘致の推進
全体		918	29.4	28.5	27.1	26.0	21.4	20.8	18.4	18.1	17.6	17.0
性別	男性	444	27.9	25.7	32.2	18.2	21.4	22.5	14.4	20.9	19.8	22.5
	女性	440	31.4	33.0	21.8	34.3	21.4	19.1	22.5	15.7	16.1	11.6
年代	10歳代	33	27.3	24.2	24.2	24.2	24.2	3.0	27.3	12.1	9.1	6.1
	20歳代	74	14.9	58.1	25.7	16.2	31.1	12.2	24.3	13.5	27.0	9.5
	30歳代	150	20.7	53.3	24.0	30.0	18.0	18.0	26.7	23.3	21.3	14.7
	40歳代	216	26.4	33.8	24.5	22.2	19.0	26.9	23.1	18.1	16.7	22.7
	50歳代	152	36.8	13.8	32.9	27.0	21.7	23.7	10.5	25.0	25.0	18.4
	60歳代	116	37.1	15.5	25.0	26.7	19.0	24.1	15.5	16.4	13.8	18.1
	70歳代	147	37.4	10.2	30.6	31.3	25.9	19.0	11.6	10.9	9.5	14.3
	80歳以上	26	26.9	15.4	23.1	26.9	11.5	15.4	0.0	19.2	11.5	23.1
居住地域	旭地域	545	28.6	31.0	24.8	24.6	21.5	22.2	19.1	16.0	15.2	17.6
	海上地域	156	28.2	27.6	31.4	32.7	22.4	19.2	15.4	19.9	22.4	14.1
	飯岡地域	106	34.0	17.0	29.2	25.5	17.9	22.6	13.2	25.5	23.6	15.1
	干潟地域	94	31.9	30.9	30.9	24.5	22.3	12.8	25.5	17.0	17.0	20.2
居住年数	5年未満	116	24.1	46.6	28.4	19.0	25.0	25.9	21.6	18.1	25.9	14.7
	5年以上10年未満	87	26.4	32.2	29.9	29.9	19.5	20.7	28.7	16.1	16.1	20.7
	10年以上20年未満	200	36.0	31.0	25.0	27.5	20.5	22.0	17.0	15.0	16.5	16.0
	20年以上30年未満	119	24.4	27.7	28.6	30.3	25.2	17.6	24.4	19.3	18.5	16.8
	30年以上	388	29.9	21.9	26.5	25.3	19.8	19.8	14.2	20.1	16.0	17.3

（注）網掛けは、「全体」の水準を10%ポイント以上上回った項目

#### 4. 生涯活躍のまち・みらいあさひについて

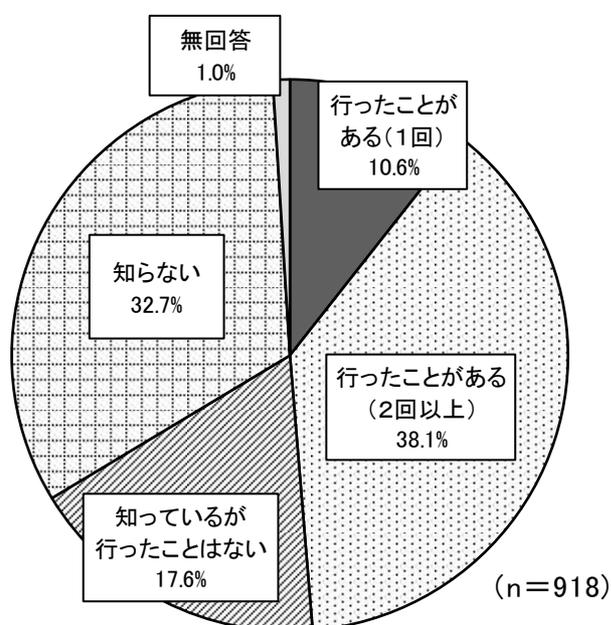
##### (1) みらいあさひの認知度

【問9】あなたは上記の「生涯活躍のまち・みらいあさひ」をご存知ですか。(○は1つ)

「生涯活躍のまち・みらいあさひ」の認知度は、「行ったことがある(2回以上)」が38.1%、「行ったことがある(1回)」が10.6%となっており、合わせて48.7%が『行ったことがある』となっています。一方、「知らない」は32.7%となっています。

属性別にみると、「知らない」における「10歳代」、「知っているが行ったことはない」における「干潟地域(28.7%)」などが高くなっています。

図表 31 みらいあさひの認知度



図表 32 みらいあさひの認知度（クロス集計）

（単位：％）

		件数	行ったことがある			知っている が行ったこと はない	知らない
			行ったこと がある	行ったこと がある (1回)	行ったこと がある (2回以上)		
		918	48.7	10.6	38.1	17.6	32.7
性別	男性	444	46.6	10.6	36.0	19.8	33.1
	女性	440	51.1	10.2	40.9	15.5	32.0
年代	10歳代	33	39.4	12.1	27.3	9.1	51.5
	20歳代	74	51.4	6.8	44.6	10.8	36.5
	30歳代	150	49.3	8.0	41.3	12.7	36.7
	40歳代	216	55.0	10.6	44.4	14.4	30.1
	50歳代	152	51.3	11.8	39.5	22.4	25.0
	60歳代	116	44.8	8.6	36.2	18.1	37.1
	70歳代	147	40.8	12.9	27.9	26.5	31.3
	80歳以上	26	42.3	15.4	26.9	26.9	30.8
居住地域	旭地域	545	52.1	10.8	41.3	13.9	32.7
	海上地域	156	46.8	10.3	36.5	22.4	30.8
	飯岡地域	106	44.4	12.3	32.1	21.7	33.0
	干潟地域	94	35.1	5.3	29.8	28.7	36.2
居住年数	5年未満	116	52.6	8.6	44.0	8.6	37.1
	5年以上10年未満	87	55.1	14.9	40.2	6.9	35.6
	10年以上20年未満	200	50.5	6.5	44.0	15.0	34.5
	20年以上30年未満	119	52.1	10.1	42.0	16.8	29.4
	30年以上	388	44.6	12.4	32.2	24.5	30.4

（注1）網掛けは、「全体」の水準を10%ポイント以上上回った項目

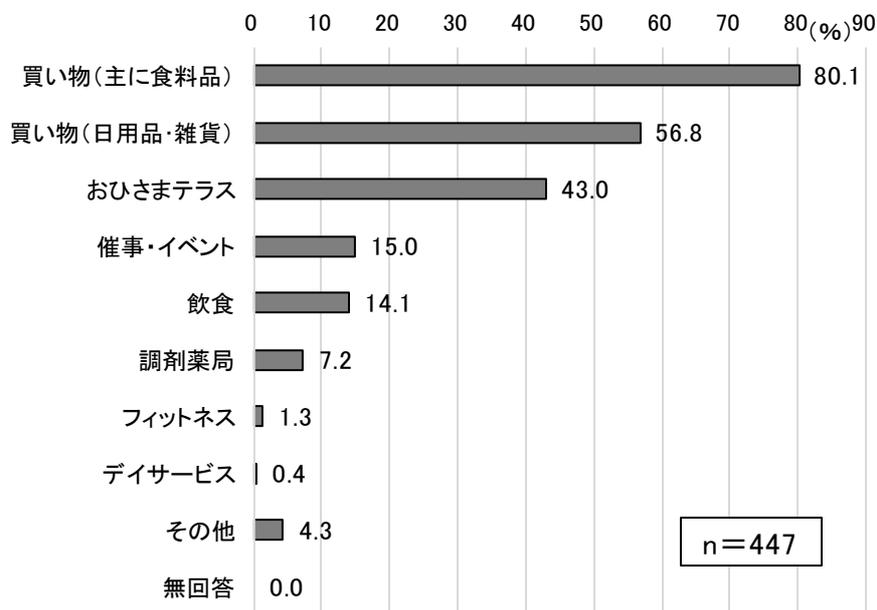
## (2) みらいあさひの訪問目的

【問 10】 みらいあさひに行った目的（主な目的）は何ですか。（○はいくつでも）

みらいあさひの訪問目的は、「買い物（主に食料品）」が80.1%で最も高く、次いで「買い物（日用品・雑貨）」が56.8%、「おひさまテラス」が43.0%の順となっています。

属性別にみると、「買い物（主に食料品）」における「海上地域（94.5%）」、「60 歳代（92.3%）」、「買い物（日用品・雑貨）」における「10 歳代（69.2%）」、「おひさまテラス」における「20 歳代（60.5%）」、「30 歳代（59.5%）」などで高くなっています。

図表 33 みらいあさひの訪問目的



図表 34 みらいあさひの訪問目的（クロス集計）

（単位：％）

		件数	(主に食料品) 買い物	(日用品・雑貨) 買い物	おひさまテラス	催事・イベント	飲食	調剤薬局	フィットネス	デイサービス
全体		447	80.1	56.8	43.0	15.0	14.1	7.2	1.3	0.4
性別	男性	207	75.4	53.1	38.2	15.9	15.0	6.8	0.5	0.5
	女性	225	84.9	59.1	47.1	14.7	13.3	7.6	1.3	0.0
年代	10歳代	13	53.8	69.2	30.8	7.7	38.5	0.0	0.0	0.0
	20歳代	38	65.8	65.8	60.5	7.9	18.4	5.3	2.6	0.0
	30歳代	74	82.4	56.8	59.5	24.3	13.5	5.4	0.0	1.4
	40歳代	119	80.7	56.3	43.7	21.8	14.3	5.9	1.7	0.8
	50歳代	78	79.5	64.1	30.8	10.3	14.1	7.7	1.3	0.0
	60歳代	52	92.3	57.7	44.2	15.4	11.5	11.5	0.0	0.0
	70歳代	60	86.7	46.7	28.3	3.3	11.7	11.7	3.3	0.0
	80歳以上	11	54.5	27.3	36.4	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0
居住地域	旭地域	284	76.4	57.4	46.1	14.1	13.4	6.3	2.1	0.4
	海上地域	73	94.5	61.6	41.1	20.5	17.8	12.3	0.0	1.4
	飯岡地域	47	89.4	48.9	34.0	17.0	14.9	6.4	0.0	0.0
	干潟地域	33	69.7	60.6	36.4	12.1	15.2	6.1	0.0	0.0
居住年数	5年未満	61	80.3	59.0	55.7	11.5	11.5	1.6	0.0	0.0
	5年以上10年未満	48	87.5	62.5	41.7	16.7	16.7	6.3	0.0	0.0
	10年以上20年未満	101	73.3	62.4	35.6	14.9	19.8	7.9	1.0	1.0
	20年以上30年未満	62	75.8	61.3	43.5	9.7	17.7	8.1	1.6	0.0
	30年以上	173	83.8	49.7	42.8	17.9	9.8	8.7	2.3	0.6

（注）網掛けは、「全体」の水準を10%ポイント以上上回った項目

### (3) おひさまテラスの訪問回数

【問 11】 おひさまテラスには何回行きましたか。(○は1つ)

おひさまテラスの訪問経験がある方 (n=192) の訪問回数は、「1~2回」が 37.5%、「3回以上 (10回未満)」が 35.9%、「10回以上」が 26.0%となっています。

属性別にみると、「10回以上」では「30歳代 (38.6%)」、「40歳代 (36.5%)」が高くなっています。

図表 35 おひさまテラスの訪問回数 (クロス集計)

(単位: %)

		件数	1~2回	3回以上 (10回未満)	10回以上
全体		192	37.5	35.9	26.0
性別	男性	79	35.4	36.7	27.8
	女性	106	35.8	36.8	26.4
年代	10歳代	4	0.0	75.0	25.0
	20歳代	23	34.8	39.1	26.1
	30歳代	44	15.9	45.5	38.6
	40歳代	52	40.4	21.2	36.5
	50歳代	24	50.0	33.3	16.7
	60歳代	23	43.5	47.8	8.7
	70歳代	17	58.8	35.3	5.9
	80歳以上	4	75.0	25.0	0.0
居住地域	旭地域	131	37.4	36.6	25.2
	海上地域	30	43.3	36.7	20.0
	飯岡地域	16	31.3	31.3	37.5
	干潟地域	12	33.3	41.7	25.0
居住年数	5年未満	34	17.6	44.1	38.2
	5年以上10年未満	20	30.0	30.0	35.0
	10年以上20年未満	36	41.7	27.8	30.6
	20年以上30年未満	27	40.7	40.7	18.5
	30年以上	74	44.6	36.5	18.9

(注1) 網掛けは、「全体」の水準を10%ポイント以上上回った項目

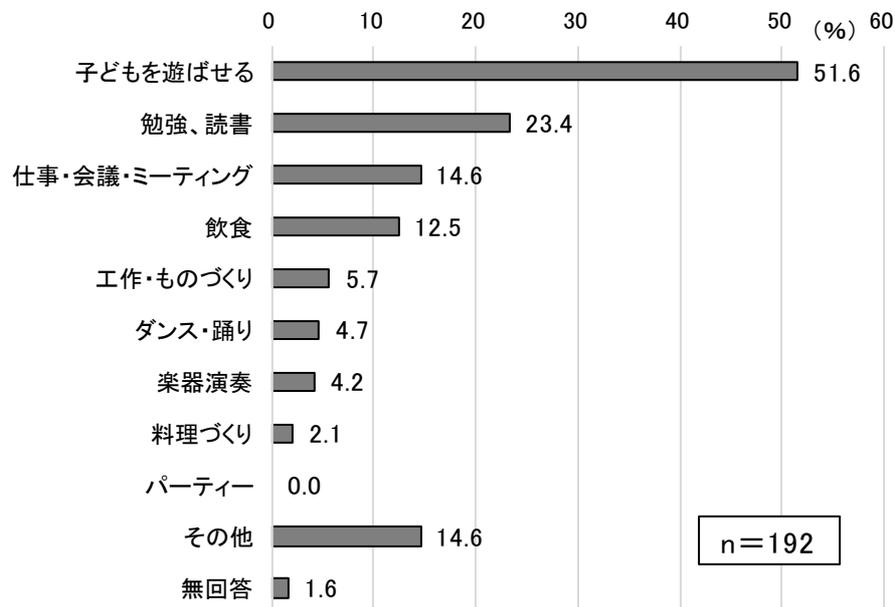
#### (4) おひさまテラスの訪問目的

【問 12】 おひさまテラスに行った（利用した）目的は何ですか。（○はいくつでも）

おひさまテラスの訪問経験がある方（n=192）の訪問目的は、「子どもと遊ばせる」が51.6%で最も高く、次いで「勉強、読書（23.4%）」、「仕事・会議・ミーティング（14.6%）」の順となっています。

属性別にみると、「子どもを遊ばせる」における「30歳代（93.2%）」、「居住年数5年未満（88.2%）」などが高くなっています。

図表 36 おひさまテラスの訪問目的



図表 37 おひさまテラスの訪問目的（クロス集計）

（単位：％）

		件数	子どもを遊ばせる	勉強、読書	仕事・会議・ミーティング	飲食	工作・ものづくり	ダンス・踊り	楽器演奏	料理づくり	パーティー
全体		192	51.6	23.4	14.6	12.5	5.7	4.7	4.2	2.1	0.0
性別	男性	79	46.8	25.3	16.5	16.5	6.3	5.1	5.1	1.3	0.0
	女性	106	55.7	20.8	14.2	10.4	5.7	4.7	2.8	2.8	0.0
年代	10歳代	4	0.0	50.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代	23	69.6	17.4	13.0	21.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代	44	93.2	18.2	6.8	2.3	2.3	9.1	2.3	2.3	0.0
	40歳代	52	36.5	26.9	21.2	15.4	13.5	3.8	3.8	1.9	0.0
	50歳代	24	29.2	33.3	12.5	4.2	0.0	8.3	8.3	4.2	0.0
	60歳代	23	43.5	21.7	21.7	13.0	8.7	0.0	4.3	4.3	0.0
	70歳代	17	35.3	11.8	5.9	23.5	5.9	5.9	11.8	0.0	0.0
	80歳以上	4	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
居住地域	旭地域	131	50.4	21.4	13.0	14.5	2.3	4.6	4.6	3.1	0.0
	海上地域	30	63.3	26.7	16.7	10.0	13.3	3.3	0.0	0.0	0.0
	飯岡地域	16	31.3	37.5	31.3	6.3	18.8	6.3	12.5	0.0	0.0
	干潟地域	12	58.3	16.7	8.3	8.3	8.3	8.3	0.0	0.0	0.0
居住年数	5年未満	34	88.2	14.7	5.9	8.8	2.9	5.9	0.0	0.0	0.0
	5年以上10年未満	20	60.0	5.0	20.0	15.0	15.0	20.0	5.0	5.0	0.0
	10年以上20年未満	36	33.3	44.4	13.9	27.8	8.3	2.8	2.8	5.6	0.0
	20年以上30年未満	27	63.0	25.9	11.1	11.1	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	30年以上	74	37.8	20.3	18.9	6.8	4.1	2.7	8.1	1.4	0.0

（注）網掛けは、「全体」の水準を10%ポイント以上上回った項目

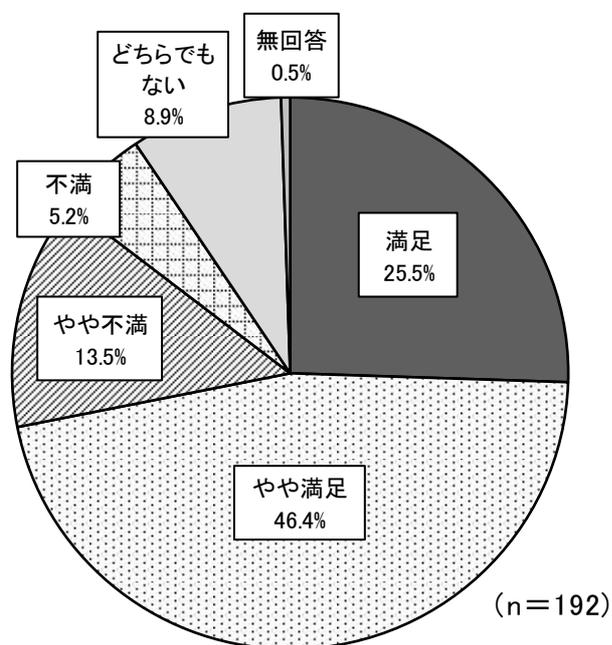
## (5) おひさまテラスの満足度

【問 13】おひさまテラスに行った(利用した)満足度をお聞かせください。(○は1つ)

おひさまテラスの訪問経験がある方 (n=192) の満足度は、「やや満足」が46.4%、「満足」が25.5%となっており、合わせて71.9%が『満足』となっています。一方、『不満満（「不満」+「やや不満」）』は18.7%となっています。

属性別にみると、『満足（「満足」+「やや満足」）』における「飯岡地域（93.8%）」、『不満満』における「30歳代（29.6%）」が高くなっています。

図表 38 おひさまテラスの満足度



図表 39 おひさまテラスの満足度（クロス集計）

（単位：％）

		件数	『満足』		『不満』			どちらでもない	
			満足	やや満足	やや不満	不満			
全体		192	71.9	25.5	46.4	18.7	13.5	5.2	8.9
性別	男性	79	75.9	32.9	43.0	15.2	12.7	2.5	7.6
	女性	106	70.8	20.8	50.0	19.8	15.1	4.7	9.4
年代	10歳代	4	50.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0
	20歳代	23	78.3	26.1	52.2	17.3	13.0	4.3	4.3
	30歳代	44	68.1	29.5	38.6	29.6	20.5	9.1	2.3
	40歳代	52	77.0	21.2	55.8	13.4	9.6	3.8	9.6
	50歳代	24	75.0	25.0	50.0	16.7	12.5	4.2	8.3
	60歳代	23	78.2	30.4	47.8	13.0	13.0	0.0	8.7
	70歳代	17	58.8	29.4	29.4	17.7	5.9	11.8	23.5
	80歳以上	4	25.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0
居住地域	旭地域	131	72.5	25.2	47.3	19.1	12.2	6.9	7.6
	海上地域	30	63.4	16.7	46.7	20.0	16.7	3.3	16.7
	飯岡地域	16	93.8	43.8	50.0	0.0	0.0	0.0	6.3
	干潟地域	12	66.6	33.3	33.3	25.0	25.0	0.0	8.3
居住年数	5年未満	34	76.4	23.5	52.9	20.5	17.6	2.9	2.9
	5年以上10年未満	20	75.0	20.0	55.0	20.0	10.0	10.0	5.0
	10年以上20年未満	36	80.6	25.0	55.6	11.1	8.3	2.8	8.3
	20年以上30年未満	27	74.1	18.5	55.6	18.5	11.1	7.4	7.4
	30年以上	74	63.5	31.1	32.4	21.6	16.2	5.4	13.5

（注1）網掛けは、「全体」の水準を10%ポイント以上上回った項目

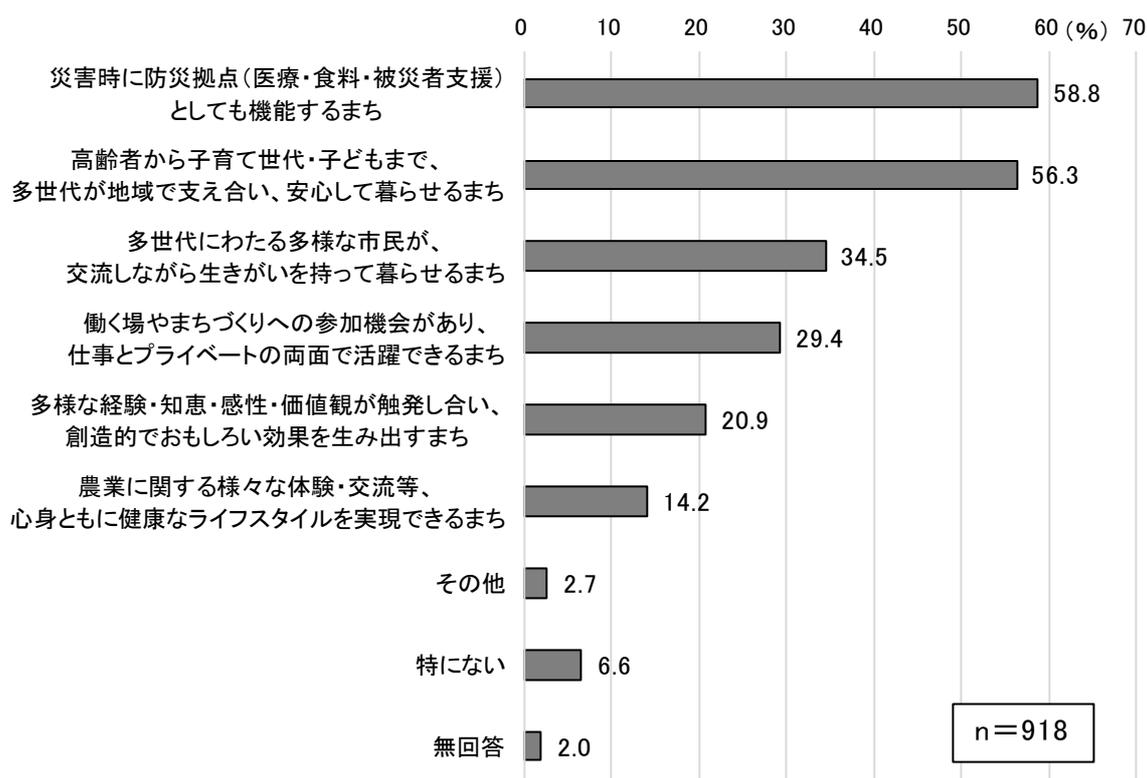
## (6) みらいあさひのまちづくりに期待すること

【問 14】「生涯活躍のまち・みらいあさひ」のまちづくりに期待することをお聞かせください。(〇は3つまで)

みらいあさひのまちづくりに期待することは、「災害時に防災拠点（医療・食料・被災者支援）としても機能するまち」が 58.8%で最も高く、次いで「高齢者から子育て世代・子どもまで、多世代が地域で支え合い、安心して暮らせるまち（56.3%）」、「多世代にわたる多様な市民が、交流しながら生きがいを持って暮らせるまち（34.5%）」の順となっています。

属性別にみると、「災害時に防災拠点としても機能するまち」における「60 歳代（69.8%）」、「80 歳以上（69.2%）」、「働く場やまちづくりへの参加機会があり、仕事とプライベートの両面で活躍できるまち」における「50 歳代（39.5%）」などで高くなっています。

図表 40 みらいあさひのまちづくりに期待すること



図表 41 みらいあさひのまちづくりに期待すること（クロス集計）

(単位: %)

		件数	防災拠点としても機能するまち	多世代が地域で支え合い、安心して暮らせるまち	生きがいを持って暮らせるまち	仕事とプライベートの両面で活躍できるまち	創造的でおもしろい効果を生み出すまち	心身ともに健康なライフスタイルを実現できるまち
全体		918	58.8	56.3	34.5	29.4	20.9	14.2
性別	男性	444	57.0	52.3	33.3	31.8	24.1	15.1
	女性	440	61.4	60.5	35.5	26.6	17.5	13.4
年代	10歳代	33	42.4	63.6	36.4	30.3	21.2	18.2
	20歳代	74	50.0	62.2	28.4	32.4	21.6	23.0
	30歳代	150	54.7	48.7	23.3	31.3	24.7	16.7
	40歳代	216	56.9	51.4	30.6	29.6	25.9	19.0
	50歳代	152	58.6	55.3	40.8	39.5	17.8	11.8
	60歳代	116	69.8	65.5	39.7	26.7	17.2	6.9
	70歳代	147	63.9	61.2	43.5	17.7	15.6	8.2
	80歳以上	26	69.2	61.5	38.5	26.9	11.5	7.7
居住地域	旭地域	545	58.7	57.1	32.8	29.5	22.8	15.2
	海上地域	156	57.7	57.1	37.2	31.4	15.4	12.8
	飯岡地域	106	63.2	58.5	34.9	28.3	16.0	14.2
	干潟地域	94	58.5	52.1	41.5	28.7	24.5	11.7
居住年数	5年未満	116	58.6	55.2	31.9	34.5	18.1	19.0
	5年以上10年未満	87	67.8	56.3	27.6	32.2	18.4	13.8
	10年以上20年未満	200	59.0	56.5	37.0	31.5	24.0	18.0
	20年以上30年未満	119	50.4	53.8	34.5	29.4	22.7	16.0
	30年以上	388	59.3	57.7	35.6	26.5	19.8	10.1

(注) 網掛けは、「全体」の水準を10%ポイント以上上回った項目

## 5. 個別の施策について

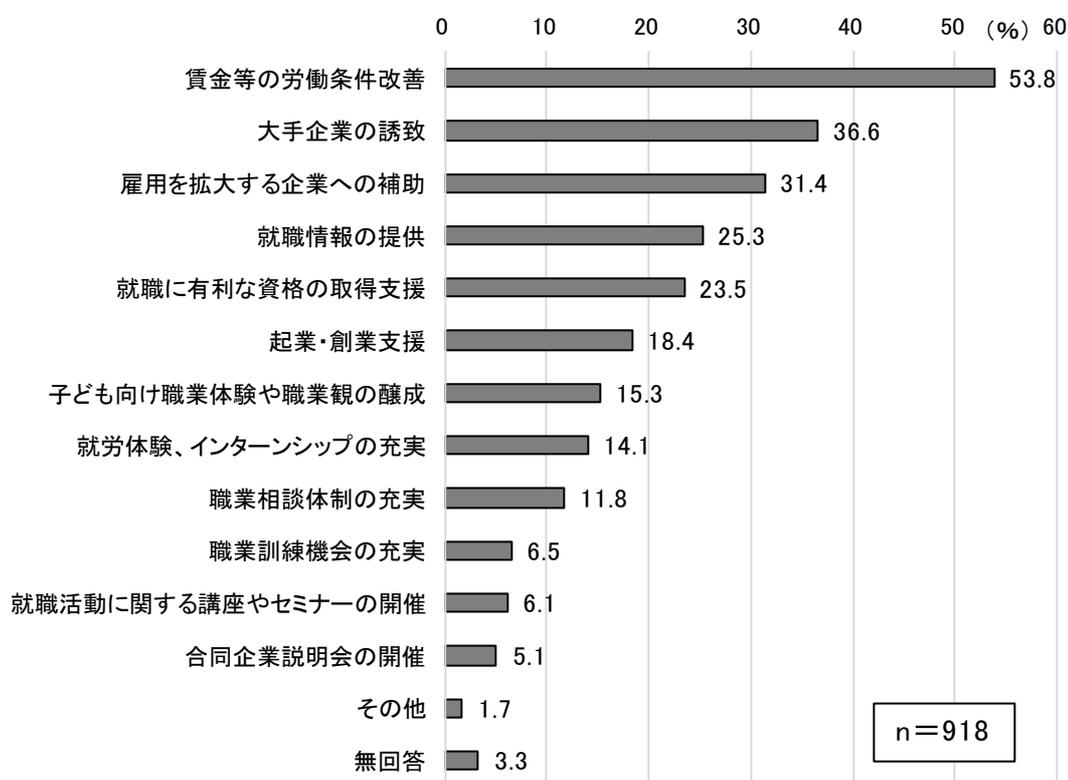
### (1) 雇用促進

【問 15】「雇用促進」のために必要だと思うことは何ですか。(○は3つまで)

雇用促進のために必要だと思うことでは、「賃金等の労働条件改善」が 53.8%で最も高く、次いで「大手企業の誘致 (36.6%)」、「雇用を拡大する企業への補助 (31.4%)」、「就職情報の提供 (25.3%)」の順となっています。

属性別にみると、「賃金等の労働条件改善」における「20 歳代 (71.6%)」、「大手企業の誘致」における「公務員・団体職員 (56.7%)」などで高くなっています。

図表 42 雇用促進のために必要なこと



図表 43 雇用促進のために必要なこと（クロス集計）

(単位:%)

		件数	賃金等の 労働条件改善	大手企業 の誘致	雇用を拡大する 企業への補助	就職情報の提供	就職に有利な 資格の取得支援	起業・創業支援	子ども向け職業体験 や職業観の醸成	就労体験、インターン シップの充実	職業相談体制の充実	職業訓練機会の充実	就職活動に関する講座 やセミナーの開催	合同企業説明会の開催
全体		918	53.8	36.6	31.4	25.3	23.5	18.4	15.3	14.1	11.8	6.5	6.1	5.1
性別	男性	444	50.9	45.3	34.0	25.0	21.4	21.6	13.7	14.2	11.3	7.4	5.0	5.0
	女性	440	58.0	28.0	28.6	25.9	25.2	14.8	17.0	14.5	12.3	5.7	7.3	5.2
年代	10歳代	33	45.5	27.3	21.2	30.3	27.3	9.1	27.3	27.3	12.1	9.1	9.1	12.1
	20歳代	74	71.6	17.6	32.4	29.7	17.6	18.9	14.9	10.8	10.8	2.7	6.8	2.7
	30歳代	150	63.3	32.7	28.7	24.0	28.7	22.7	21.3	11.3	6.7	6.7	4.7	5.3
	40歳代	216	55.1	43.5	38.9	19.9	24.1	17.6	19.4	19.4	9.3	6.5	3.7	5.6
	50歳代	152	59.9	36.8	35.5	27.0	23.7	21.1	13.2	15.1	13.2	7.2	4.6	4.6
	60歳代	116	46.6	41.4	25.9	24.1	23.3	18.1	6.0	12.9	12.9	5.2	7.8	5.2
	70歳代	147	41.5	37.4	27.2	28.6	20.4	15.0	10.2	8.2	16.3	8.2	8.8	5.4
	80歳以上	26	23.1	46.2	15.4	34.6	19.2	15.4	7.7	11.5	23.1	7.7	7.7	0.0
居住地域	旭地域	545	54.9	35.0	31.6	24.4	21.5	19.1	16.0	14.3	11.6	6.1	6.6	5.3
	海上地域	156	56.4	33.3	32.1	28.8	28.2	19.9	11.5	14.7	9.6	7.7	3.8	4.5
	飯岡地域	106	42.5	46.2	35.8	25.5	21.7	14.2	17.0	15.1	12.3	6.6	3.8	4.7
	干潟地域	94	59.6	40.4	23.4	25.5	28.7	14.9	13.8	8.5	16.0	8.5	7.4	3.2
職業	農業・漁業	59	37.3	25.4	30.5	28.8	20.3	11.9	16.9	22.0	22.0	5.1	10.2	5.1
	製造業・建設業	132	56.8	41.7	34.1	25.8	23.5	18.2	17.4	12.1	7.6	4.5	4.5	5.3
	商業・サービス業等	120	52.5	35.8	37.5	24.2	30.8	27.5	15.8	19.2	7.5	10.0	3.3	3.3
	公務員・団体職員	120	59.2	56.7	40.0	20.8	13.3	20.0	17.5	17.5	5.8	5.8	5.8	6.7
	医療・福祉	98	66.3	26.5	36.7	21.4	33.7	14.3	20.4	13.3	7.1	7.1	5.1	7.1
	アルバイト・パート	96	63.5	25.0	29.2	30.2	25.0	13.5	15.6	11.5	25.0	4.2	5.2	3.1
	専業主婦(主夫)	59	57.6	37.3	33.9	25.4	20.3	15.3	13.6	10.2	10.2	1.7	8.5	3.4
	学生	39	46.2	30.8	10.3	30.8	23.1	17.9	23.1	23.1	10.3	7.7	7.7	7.7
	無職(定年退職者含む)	135	42.2	41.5	19.3	27.4	19.3	18.5	8.1	8.1	14.8	9.6	6.7	5.2
	雇用形態	正社員・正職員	368	60.9	42.7	35.9	24.2	23.9	18.5	17.9	15.5	6.0	5.7	5.2
自営業・個人事業主		110	34.5	31.8	40.0	23.6	23.6	20.9	16.4	21.8	13.6	8.2	7.3	3.6
契約社員・非常勤職員		29	69.0	37.9	34.5	27.6	34.5	17.2	20.7	10.3	17.2	6.9	3.4	6.9
派遣社員		5	80.0	20.0	40.0	20.0	20.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0
通勤・通学先	旭市内	417	56.1	37.9	36.2	21.6	22.3	16.8	18.2	16.8	10.6	5.5	5.8	5.3
	銚子市	54	59.3	31.5	35.2	35.2	20.4	16.7	25.9	16.7	9.3	7.4	5.6	1.9
	匝瑳市	61	63.9	34.4	31.1	19.7	29.5	18.0	16.4	13.1	11.5	11.5	6.6	3.3
	香取市	25	68.0	16.0	36.0	36.0	40.0	12.0	24.0	12.0	16.0	8.0	0.0	4.0
	成田市	19	57.9	47.4	15.8	31.6	31.6	15.8	0.0	5.3	15.8	0.0	15.8	0.0
	その他の県内	71	54.9	36.6	26.8	26.8	28.2	33.8	7.0	21.1	8.5	7.0	2.8	11.3
	県外	33	45.5	48.5	33.3	45.5	18.2	24.2	15.2	3.0	12.1	6.1	0.0	9.1
	通勤・通学していない	143	49.0	42.0	25.9	28.0	19.6	20.3	10.5	11.2	17.5	6.3	8.4	5.6
居住年数	5年未満	116	69.0	28.4	36.2	18.1	23.3	14.7	14.7	11.2	12.1	6.0	5.2	3.4
	5年以上10年未満	87	64.4	33.3	27.6	23.0	34.5	18.4	20.7	16.1	9.2	5.7	5.7	5.7
	10年以上20年未満	200	51.5	36.5	30.5	29.5	25.5	19.0	19.0	19.5	13.5	7.0	7.0	5.0
	20年以上30年未満	119	56.3	36.1	31.9	26.9	26.9	21.0	16.0	14.3	10.1	8.4	4.2	5.0
	30年以上	388	47.7	40.7	30.9	25.3	19.3	18.6	12.1	11.9	11.6	6.2	5.9	5.7
経年	前回(R元年)	1,143	48.7	-	21.6	21.4	25.8	-	9.4	11.1	13.3	6.1	6.2	3.9

(注1) 網掛けは、「全体」の水準を10%ポイント以上上回った項目

(注2) 経年比較は選択肢の内容が一部異なる項目がある

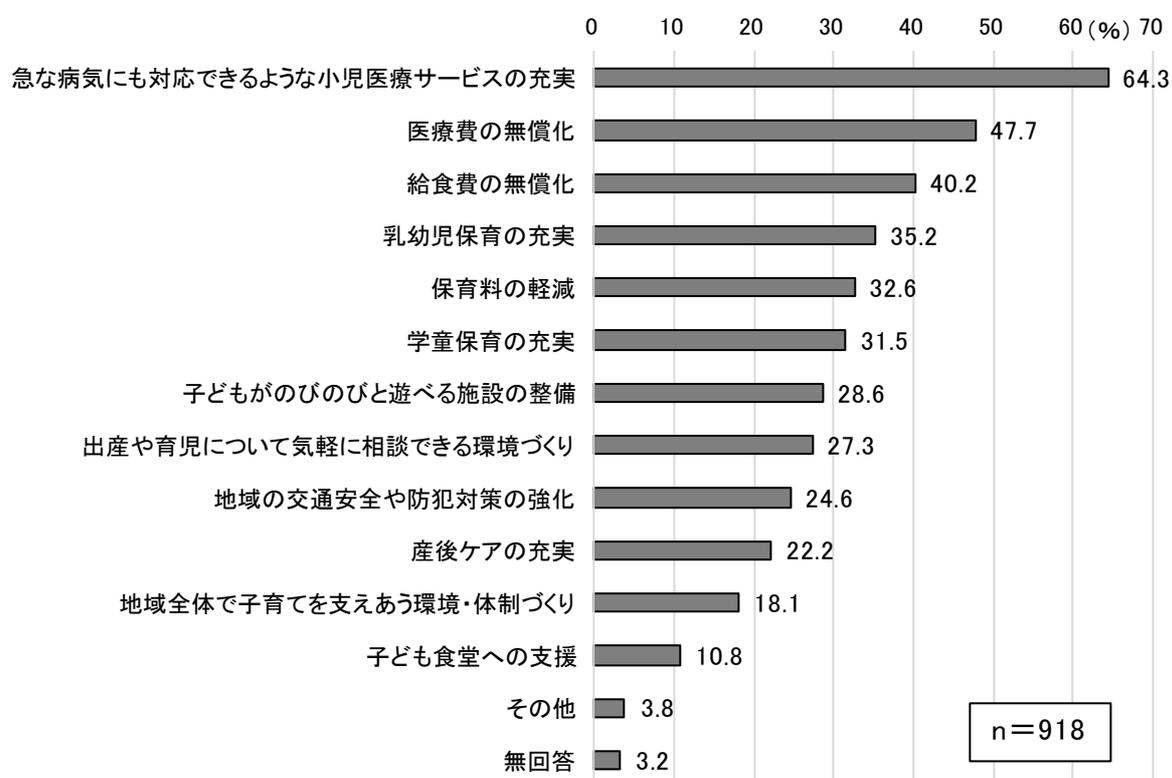
## (2) 地域の子育て支援

【問 16】「地域の子育て支援」として期待することは何ですか。(○は5つまで)

地域の子育て支援として期待することでは、「急な病気にも対応できるような小児医療サービスの充実」が64.3%で最も高く、次いで「医療費の無償化(47.7%)」、「給食費の無償化(40.2%)」、「乳幼児保育の充実(35.2%)」の順となっています。

属性別にみると、「急な病気にも対応できるような小児医療サービスの充実」における「50歳代(76.3%)」、「医療費の無償化」における「製造業、建設業(59.1%)」、「商業・サービス業等(58.3%)」などで高くなっています。

図表 44 地域の子育て支援として期待すること



図表 45 地域の子育て支援として期待すること（クロス集計）

(単位: %)

		件数	急な病気に きるような サービスの 充実	医療費の 無償化	給食費の 無償化	乳幼児 保育の 充実	保育料の 軽減	学童 保育の 充実	子どもが 遊べる 施設の 整備	境づくり 気軽に 相談 できる 環境	地域 の交通 安全 や防 犯対策 の強化	産後 ケアの 充実	地域 全体 で支 えあ う環 境・ 体制	子ども も食 堂へ の支 援
全体		918	64.3	47.7	40.2	35.2	32.6	31.5	28.6	27.3	24.6	22.2	18.1	10.8
性別	男性	444	64.0	51.8	42.8	34.5	35.6	29.3	26.1	27.9	27.3	21.2	18.2	10.4
	女性	440	66.1	44.3	38.4	36.6	30.9	34.5	31.4	26.6	21.8	23.9	17.3	11.1
年代	10歳代	33	66.7	54.5	39.4	33.3	39.4	21.2	36.4	15.2	21.2	24.2	12.1	9.1
	20歳代	74	68.9	55.4	45.9	39.2	50.0	27.0	31.1	32.4	16.2	41.9	6.8	6.8
	30歳代	150	69.3	54.7	48.0	34.7	39.3	31.3	30.7	22.7	22.0	25.3	19.3	10.0
	40歳代	216	64.8	53.7	50.5	31.5	30.1	30.1	27.8	18.5	29.6	23.6	13.4	9.7
	50歳代	152	76.3	46.1	32.2	42.8	30.3	35.5	19.1	31.6	23.0	20.4	16.4	15.1
	60歳代	116	57.8	40.5	38.8	37.9	29.3	35.3	31.9	26.7	26.7	17.2	15.5	7.8
	70歳代	147	53.1	37.4	27.9	31.3	26.5	29.3	34.0	38.1	25.2	15.0	30.6	12.9
	80歳以上	26	42.3	30.8	15.4	30.8	23.1	46.2	19.2	50.0	23.1	11.5	34.6	15.4
居住地域	旭地域	545	64.8	48.3	38.3	36.7	31.0	32.7	27.3	28.1	25.0	24.2	18.3	9.5
	海上地域	156	61.5	44.9	41.7	33.3	36.5	28.8	28.8	21.8	25.0	21.8	17.3	14.1
	飯岡地域	106	67.9	57.5	51.9	34.9	31.1	27.4	26.4	22.6	26.4	17.0	17.9	8.5
	干潟地域	94	61.7	41.5	39.4	28.7	35.1	28.7	36.2	34.0	22.3	19.1	17.0	14.9
職業	農業・漁業	59	55.9	52.5	49.2	27.1	35.6	25.4	23.7	30.5	18.6	23.7	22.0	8.5
	製造業・建設業	132	68.2	59.1	43.9	36.4	37.9	28.0	23.5	24.2	22.0	22.0	9.1	8.3
	商業・サービス業等	120	63.3	58.3	41.7	38.3	35.0	36.7	33.3	25.8	25.8	21.7	20.8	9.2
	公務員・団体職員	120	67.5	41.7	35.8	47.5	33.3	35.8	22.5	30.0	25.0	28.3	20.0	5.0
	医療・福祉	98	75.5	42.9	42.9	34.7	31.6	39.8	29.6	24.5	19.4	26.5	19.4	14.3
	アルバイト・パート	96	76.0	46.9	50.0	31.3	34.4	34.4	34.4	27.1	25.0	20.8	19.8	11.5
	専業主婦(主夫)	59	64.4	45.8	40.7	27.1	22.0	23.7	35.6	27.1	28.8	27.1	16.9	18.6
	学生	39	61.5	53.8	38.5	30.8	35.9	15.4	30.8	23.1	23.1	25.6	17.9	10.3
	無職(定年退職者含む)	135	51.1	32.6	24.4	33.3	28.9	29.6	32.6	34.8	29.6	15.6	20.0	12.6
	雇用形態	正社員・正職員	368	68.5	52.2	41.6	39.9	35.6	34.0	25.8	26.4	22.8	25.8	14.9
自営業・個人事業主		110	61.8	53.6	42.7	34.5	32.7	30.9	28.2	26.4	25.5	21.8	24.5	5.5
契約社員・非常勤職員		29	82.8	37.9	41.4	37.9	41.4	51.7	37.9	27.6	17.2	24.1	13.8	20.7
派遣社員		5	40.0	20.0	60.0	60.0	40.0	40.0	40.0	40.0	0.0	40.0	20.0	20.0
通勤・通学先	旭市内	417	66.7	52.0	42.2	34.3	31.9	34.8	28.8	27.1	24.5	23.7	17.7	9.1
	銚子市	54	70.4	50.0	55.6	44.4	42.6	35.2	24.1	22.2	33.3	24.1	9.3	11.1
	匝瑳市	61	75.4	55.7	36.1	41.0	41.0	34.4	21.3	21.3	27.9	23.0	18.0	9.8
	香取市	25	80.0	52.0	44.0	36.0	48.0	28.0	24.0	28.0	24.0	24.0	12.0	24.0
	成田市	19	52.6	57.9	47.4	42.1	26.3	21.1	31.6	42.1	15.8	15.8	10.5	5.3
	その他の県内	71	69.0	49.3	39.4	43.7	36.6	29.6	29.6	25.4	16.9	28.2	16.9	8.5
	県外	33	66.7	54.5	66.7	30.3	39.4	24.2	27.3	21.2	12.1	18.2	18.2	9.1
	通勤・通学していない	143	58.7	38.5	34.3	33.6	30.1	29.4	32.9	33.6	26.6	23.1	17.5	12.6
居住年数	5年未満	116	70.7	56.0	45.7	35.3	43.1	28.4	32.8	26.7	25.0	25.0	16.4	11.2
	5年以上10年未満	87	70.1	44.8	37.9	33.3	25.3	28.7	43.7	21.8	27.6	27.6	13.8	9.2
	10年以上20年未満	200	67.5	52.0	45.0	38.0	31.0	38.5	22.5	27.5	22.0	23.0	17.0	10.5
	20年以上30年未満	119	64.7	47.1	40.3	36.1	35.3	31.1	32.8	25.2	21.8	22.7	16.8	12.6
	30年以上	388	59.8	44.3	36.9	34.3	31.7	30.2	26.0	29.6	26.0	19.3	20.1	10.6
経年	前回(R元年)	1,143	44.9	-	-	33.9	-	21.9	24.2	23.5	24.6	-	20.6	-

(注1) 網掛けは、「全体」の水準を10%ポイント以上上回った項目

(注2) 経年比較は選択肢の内容が一部異なる項目がある

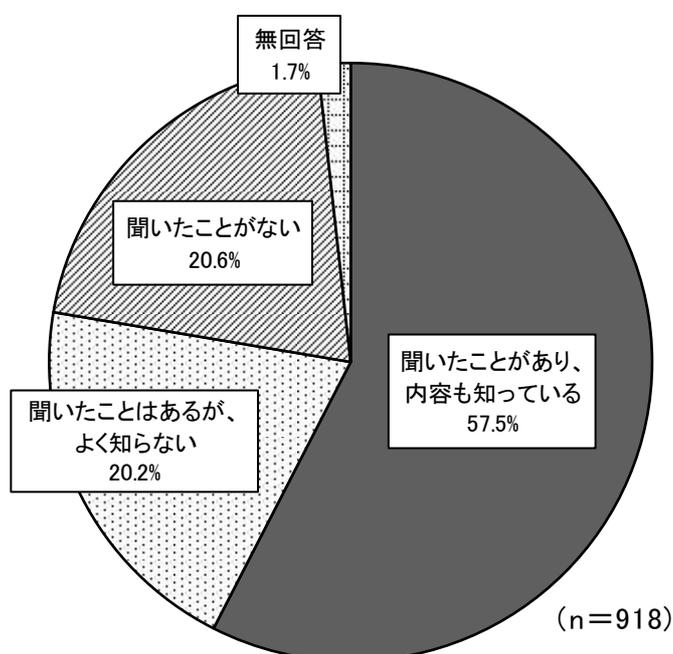
### (3) ヤングケアラーの認知度

【問 17】 ヤングケアラーについておたずねします。あなたは「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがありますか。(○は1つ)

ヤングケアラーという言葉を知ったことがあるかでは、「聞いたことがあり、内容も知っている」が57.5%、「聞いたことはあるが、よく知らない」が20.2%、「聞いたことがない」が20.6%となっています。

属性別に見ると、「聞いたことがあり、内容も知っている」における「40歳代(68.1%)」、「聞いたことがない」における「20歳代(35.1%)」などで高くなっています。

図表 46 ヤングケアラーという言葉を知ったことがあるか



図表 47 ヤングケアラーという言葉聞いたことがあるか（クロス集計）

（単位：％）

		件数	聞いたことがあり、 内容も知っている	聞いたことはある が、よく知らない	聞いたことがない
全体		918	57.5	20.2	20.6
性別	男性	444	52.9	20.0	25.7
	女性	440	63.2	20.2	15.2
年代	10歳代	33	66.7	9.1	24.2
	20歳代	74	40.5	21.6	35.1
	30歳代	150	54.7	24.7	19.3
	40歳代	216	68.1	13.4	18.1
	50歳代	152	60.5	25.7	13.2
	60歳代	116	53.4	23.3	21.6
	70歳代	147	53.1	19.0	23.1
	80歳以上	26	50.0	23.1	26.9
居住地域	旭地域	545	55.4	20.6	22.6
	海上地域	156	60.3	20.5	16.0
	飯岡地域	106	62.3	16.0	20.8
	干潟地域	94	58.5	22.3	17.0
世帯人員	1人	127	46.5	23.6	27.6
	2人	203	57.6	23.6	17.2
	3人	195	62.1	15.4	21.0
	4人	195	61.0	19.5	18.5
	5人以上	193	57.0	19.7	21.2
居住年数	5年未満	116	54.3	20.7	24.1
	5年以上10年未満	87	55.2	21.8	23.0
	10年以上20年未満	200	60.0	18.5	20.5
	20年以上30年未満	119	58.8	18.5	19.3
	30年以上	388	57.7	20.9	19.3

（注）網掛けは、「全体」の水準を10%ポイント以上上回った項目

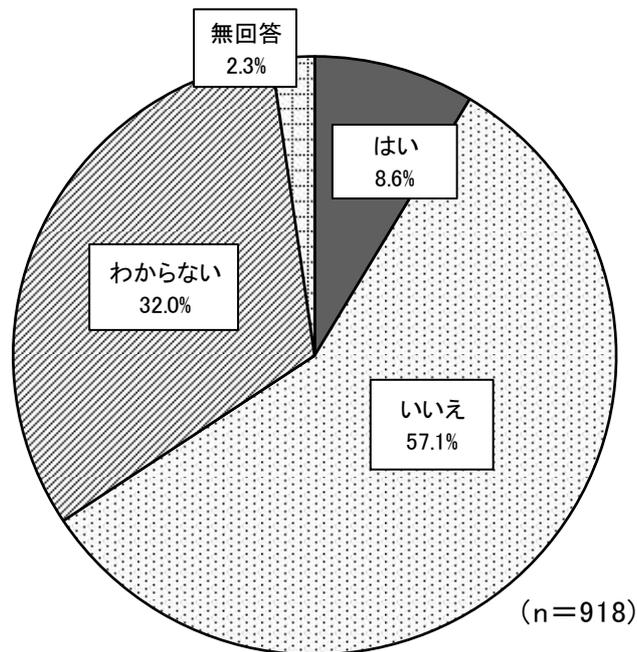
#### (4) ヤングケアラーと思われる子

【問 18】 あなた自身、または周りに「ヤングケアラー」と思われる子（若者）はいますか（いましたか）。（○は1つ）

あなた自身、または周りに「ヤングケアラー」と思われる子（若者）はいますか（いましたか）では、「はい」が8.6%、「わからない」が32.0%となっています。

属性別にみると、「はい」における「30歳代（16.7%）」、「居住年数5年以上10年未満（14.9%）」、「世帯人員4人（12.8%）」などで高くなっています。

図表 48 ヤングケアラーと思われる子（若者）はいるか



図表 49 ヤングケアラーと思われる子（若者）はいるか（クロス集計）

（単位：％）

		件数	はい	いいえ	わからない
全体		918	8.6	57.1	32.0
性別	男性	444	8.1	54.1	35.6
	女性	440	9.1	61.1	28.0
年代	10歳代	33	9.1	27.3	60.6
	20歳代	74	5.4	60.8	29.7
	30歳代	150	16.7	58.0	23.3
	40歳代	216	7.9	58.3	33.3
	50歳代	152	9.2	62.5	27.6
	60歳代	116	6.0	60.3	30.2
	70歳代	147	6.1	51.7	38.1
	80歳以上	26	0.0	57.7	38.5
居住地域	旭地域	545	9.9	55.4	32.5
	海上地域	156	9.0	58.3	30.8
	飯岡地域	106	6.6	59.4	31.1
	干潟地域	94	3.2	61.7	31.9
世帯人員	1人	127	3.1	52.0	40.2
	2人	203	8.4	56.7	31.5
	3人	195	8.7	64.1	26.2
	4人	195	12.8	59.0	28.2
	5人以上	193	8.3	52.3	36.8
居住年数	5年未満	116	11.2	57.8	28.4
	5年以上10年未満	87	14.9	51.7	33.3
	10年以上20年未満	200	10.0	57.5	32.0
	20年以上30年未満	119	11.8	57.1	26.9
	30年以上	388	4.9	58.2	34.0

（注）網掛けは、「全体」の水準を10%ポイント以上上回った項目

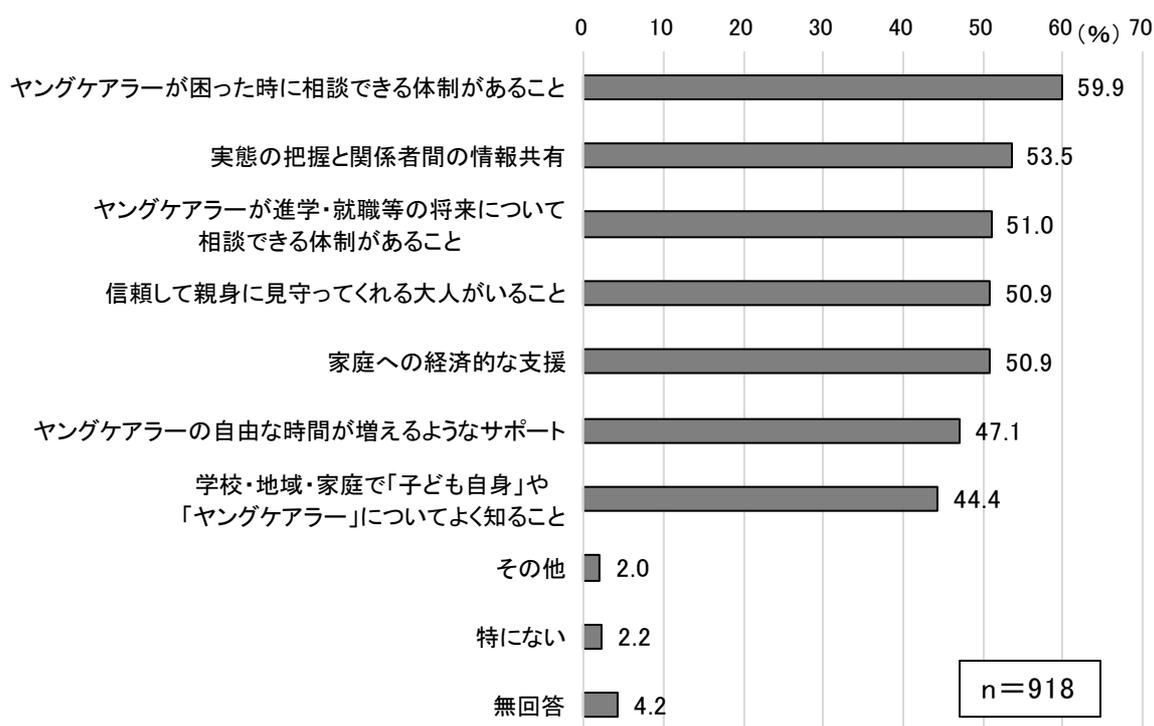
## (5) ヤングケアラーに必要な支援

【問 19】 ヤングケアラーにはどのような支援が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

ヤングケアラーに必要な支援では、「ヤングケアラーが困った時に相談できる体制があること」が59.9%で最も高く、次いで「実態の把握と関係者間の情報共有(53.5%)」、「ヤングケアラーが進学・就職等の将来について相談できる体制があること(51.0%)」、「信頼して親身に見守ってくれる大人がいること」および「家庭への経済的な支援(ともに50.9%)」の順となっています。

属性別にみると、「実態の把握と関係者間の情報共有」における「5年以上10年未満(65.5%)」、「40歳代(64.4%)」、「10歳代(63.6%)」、「信頼して親身に見守ってくれる大人がいること」における「10歳代(63.6%)」などで高くなっています。

図表 50 ヤングケアラーに必要な支援



図表 51 ヤングケアラーに必要な支援（クロス集計）

(単位: %)

		件数	ヤングケアラーが困った時に相談できる体制があること	実態の把握と関係者間の情報共有	ヤングケアラーが進学・就職等の将来について相談できる体制があること	信頼して親身に見守ってくれる大人がいること	家庭への経済的な支援	ヤングケアラーの自由な時間が増えるようなサポート支援等	学校・地域・家庭で「子ども自身」や「ヤングケアラー」についてよく知ること
全体		918	59.9	53.5	51.0	50.9	50.9	47.1	44.4
性別	男性	444	57.7	53.4	50.0	47.3	51.1	45.0	44.6
	女性	440	62.5	55.7	51.8	55.5	51.4	51.1	45.0
年代	10歳代	33	42.4	63.6	48.5	63.6	51.5	51.5	24.2
	20歳代	74	48.6	44.6	43.2	58.1	50.0	50.0	47.3
	30歳代	150	53.3	56.7	51.3	54.0	56.0	52.0	47.3
	40歳代	216	64.4	64.4	52.8	49.1	52.3	43.5	47.7
	50歳代	152	65.1	54.6	54.6	51.3	51.3	52.6	46.7
	60歳代	116	63.8	51.7	45.7	55.2	46.6	45.7	43.1
	70歳代	147	64.6	41.5	53.7	44.2	45.6	41.5	41.5
	80歳以上	26	42.3	30.8	46.2	30.8	57.7	42.3	30.8
居住地域	旭地域	545	58.5	50.3	49.4	50.6	50.8	45.9	45.7
	海上地域	156	55.1	59.6	55.1	50.0	54.5	50.0	46.2
	飯岡地域	106	69.8	55.7	47.2	48.1	46.2	47.2	39.6
	干潟地域	94	67.0	57.4	58.5	55.3	51.1	50.0	42.6
世帯人員	1人	127	53.5	46.5	43.3	45.7	43.3	37.0	43.3
	2人	203	63.5	53.2	51.2	57.6	52.7	52.2	43.8
	3人	195	64.1	59.5	58.5	51.3	54.4	53.3	43.1
	4人	195	61.0	54.4	46.7	48.2	46.2	46.2	44.6
	5人以上	193	55.4	51.8	52.3	49.7	55.4	43.0	47.7
居住年数	5年未満	116	54.3	51.7	54.3	60.3	53.4	51.7	44.8
	5年以上10年未満	87	58.6	65.5	47.1	47.1	47.1	47.1	43.7
	10年以上20年未満	200	59.0	52.0	51.5	50.5	51.0	48.0	44.5
	20年以上30年未満	119	63.0	54.6	53.8	51.3	56.3	52.1	42.9
	30年以上	388	61.9	52.3	49.7	49.5	49.2	43.6	45.6

(注) 網掛けは、「全体」の水準を10%ポイント以上上回った項目

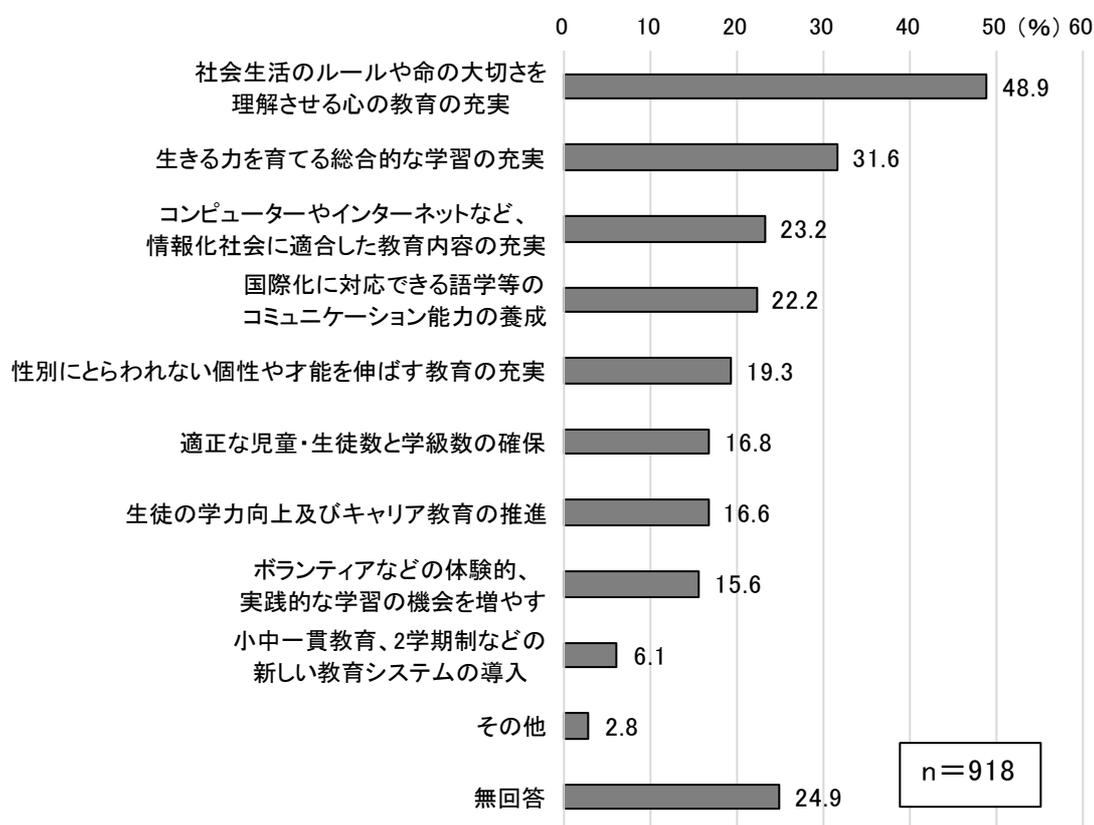
## (6) 学校教育

【問 20】「学校教育」を充実させるために期待することは何ですか。(○は3つまで)

学校教育を充実させるために期待することでは、「社会生活のルールや命の大切さを理解させる心の教育の充実」が48.9%で最も高く、次いで「生きる力を育てる総合的な学習の充実(31.6%)」、「コンピューターやインターネットなど、情報化社会に適合した教育内容の充実(23.2%)」、「国際化に対応できる語学等のコミュニケーション能力の養成(22.2%)」の順となっています。

属性別にみると、「社会生活のルールや命の大切さを理解させる心の教育の充実」における「70歳代(63.3%)」、「60歳代(62.9%)」などが高くなっています。

図表 52 学校教育を充実させるために期待すること



図表 53 学校教育を充実させるために期待すること（クロス集計）

(単位:%)

		件数	社会生活のルールや命の大切さを理解させる心の教育の充実	生きる力を育てる総合的な学習の充実	コンピューターやインターネットなど、情報化社会に適合した教育内容の充実	国際化に対応できる語学等のコミュニケーション能力の養成	性別にとられない個性や才能を伸ばす教育の充実	適正な児童・生徒数と学級数の確保	生徒の学力向上及びキャリア教育の推進	ポランティアなどの体験的、実践的な学習の機会を増やす	小中一貫教育、2学期制などの新しい教育システムの導入
全体		918	48.9	31.6	23.2	22.2	19.3	16.8	16.6	15.6	6.1
性別	男性	444	44.6	28.6	24.5	17.6	18.0	17.6	15.5	12.4	6.1
	女性	440	52.7	33.6	21.4	26.8	19.8	15.5	18.0	18.4	5.9
年代	10歳代	33	24.2	15.2	27.3	24.2	9.1	12.1	6.1	12.1	6.1
	20歳代	74	37.8	24.3	27.0	16.2	25.7	13.5	13.5	5.4	4.1
	30歳代	150	48.0	33.3	25.3	20.7	18.7	16.0	19.3	14.0	6.7
	40歳代	216	38.9	28.2	22.7	22.2	15.7	15.3	14.4	13.0	6.0
	50歳代	152	48.7	34.9	18.4	23.7	13.2	14.5	18.4	17.8	7.2
	60歳代	116	62.9	41.4	25.0	24.1	25.9	16.4	21.6	20.7	6.0
	70歳代	147	63.3	30.6	23.1	25.9	23.8	25.2	14.3	19.0	4.8
	80歳以上	26	57.7	34.6	19.2	7.7	26.9	15.4	15.4	19.2	7.7
居住地域	旭地域	545	49.0	31.4	24.4	20.6	16.9	16.7	15.2	16.0	4.4
	海上地域	156	50.0	35.3	17.3	24.4	26.3	15.4	18.6	16.7	7.7
	飯岡地域	106	53.8	24.5	27.4	29.2	18.9	18.9	15.1	10.4	9.4
	干潟地域	94	42.6	36.2	18.1	18.1	18.1	17.0	17.0	17.0	6.4
居住年数	5年未満	116	44.8	30.2	25.0	20.7	23.3	14.7	16.4	16.4	4.3
	5年以上10年未満	87	50.6	34.5	26.4	26.4	18.4	12.6	18.4	14.9	10.3
	10年以上20年未満	200	41.0	26.5	24.5	22.5	17.0	19.5	15.0	13.5	7.5
	20年以上30年未満	119	51.3	30.3	18.5	21.8	24.4	16.8	15.1	16.8	4.2
	30年以上	388	52.6	34.3	22.7	21.4	18.0	17.0	17.3	15.5	5.4
経年	前回(R元年)	1,143	61.1	35.6	24.8	28.3	30.4	20.7	15.9	20.3	9.0

(注1) 網掛けは、「全体」の水準を10ポイント以上上回った項目

(注2) 経年比較は選択肢の内容が一部異なる項目がある

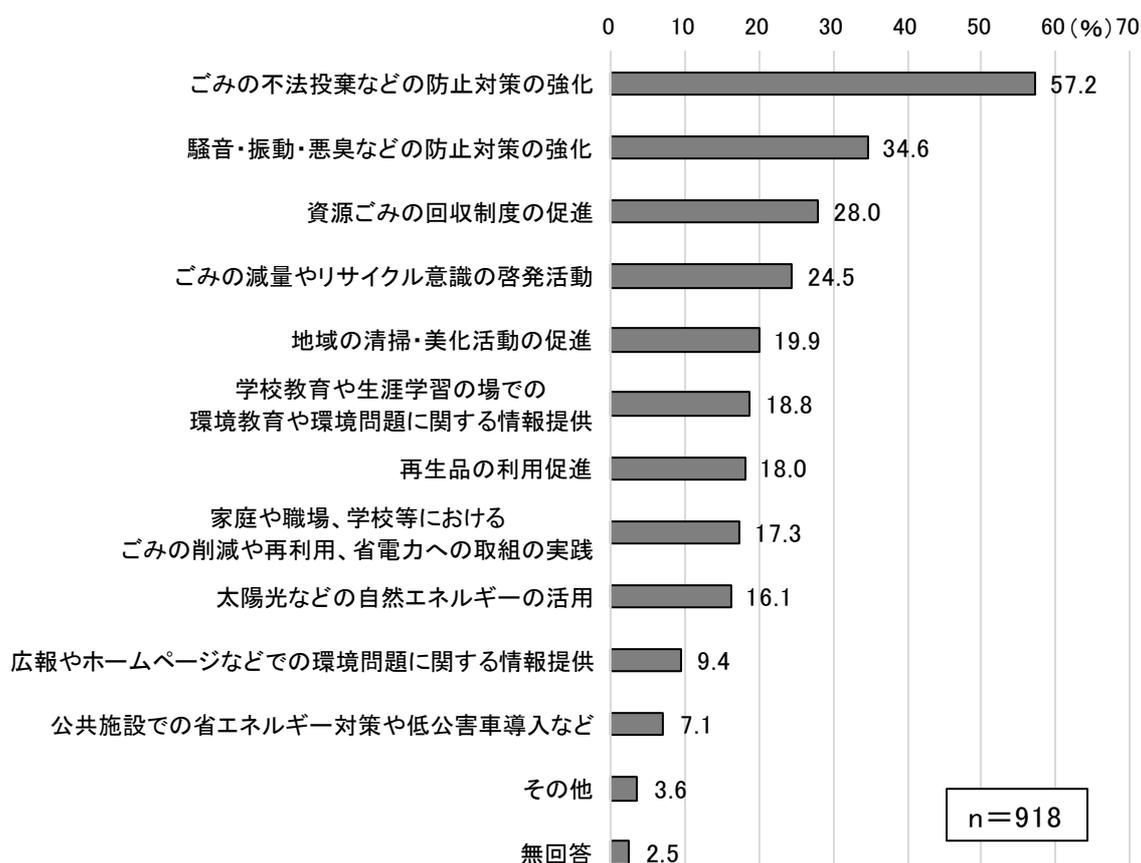
## (7) 環境

【問 21】「環境を守る」ために期待することは何ですか。(○は3つまで)

環境を守るために期待することでは、「ごみの不法投棄などの防止対策の強化」が57.2%で最も高く、次いで「騒音・振動・悪臭などの防止対策の強化(34.6%)」、「資源ごみの回収制度の促進(28.0%)」、「ごみの減量やリサイクル意識の啓発活動(24.5%)」の順となっています。

属性別にみると、「ごみの不法投棄などの防止対策の強化」における「80歳以上(69.2%)」、「家庭や職場、学校等におけるごみの削減や再利用、省電力への取組の実践」における「80歳以上(30.8%)」などで高くなっています。

図表 54 環境を守るために期待すること



図表 55 環境を守るために期待すること（クロス集計）

(単位：%)

	件数	ごみの不法投棄などの 防止対策の強化	騒音・振動・悪臭などの 防止対策の強化	資源ごみの回収制度の促進	ごみの減量やリサイクル意識 の啓発活動	地域の清掃・ 美化活動の促進	学校教育や生涯学習の場での 環境教育や環境問題 に関する情報提供	再生品の利用促進	家庭や職場、学校等における ごみの削減や再利用、 省電力への取組の実践	自然エネルギーの活用 太陽光などの	広報やホームページなどでの 環境問題に関する情報提供	公共施設での省エネルギー 対策や低公害車導入など	
全体	918	57.2	34.6	28.0	24.5	19.9	18.8	18.0	17.3	16.1	9.4	7.1	
性別	男性	444	61.7	37.8	27.3	22.3	21.2	19.4	14.0	16.4	17.1	9.0	7.0
	女性	440	53.2	32.0	28.6	27.0	18.6	19.3	21.6	17.5	14.5	9.1	7.3
年代	10歳代	33	48.5	42.4	21.2	21.2	18.2	15.2	15.2	15.2	21.2	3.0	12.1
	20歳代	74	60.8	40.5	18.9	18.9	13.5	16.2	20.3	13.5	16.2	9.5	10.8
	30歳代	150	58.7	39.3	28.0	26.7	22.7	16.0	15.3	12.7	20.7	4.0	8.0
	40歳代	216	58.3	30.6	31.5	22.2	19.9	20.8	17.6	18.1	17.1	8.8	5.6
	50歳代	152	53.3	32.2	29.6	30.9	19.1	21.7	18.4	23.0	19.1	7.9	7.9
	60歳代	116	59.5	30.2	25.9	23.3	22.4	25.0	20.7	15.5	7.8	13.8	2.6
	70歳代	147	55.8	36.1	27.2	21.8	19.7	13.6	19.7	16.3	14.3	15.0	7.5
	80歳以上	26	69.2	42.3	30.8	26.9	19.2	19.2	11.5	30.8	7.7	3.8	7.7
居住地域	旭地域	545	60.2	35.8	25.5	25.5	18.5	16.9	16.1	16.7	18.2	8.3	8.4
	海上地域	156	53.2	36.5	30.8	23.7	19.2	21.8	22.4	23.7	12.8	7.1	3.2
	飯岡地域	106	58.5	30.2	33.0	22.6	24.5	21.7	16.0	15.1	12.3	11.3	5.7
	干潟地域	94	48.9	29.8	28.7	22.3	24.5	21.3	22.3	16.0	13.8	12.8	5.3
居住年数	5年未満	116	60.3	36.2	27.6	25.9	22.4	18.1	10.3	12.1	19.0	5.2	6.0
	5年以上10年未満	87	52.9	41.4	20.7	20.7	14.9	26.4	13.8	20.7	21.8	9.2	6.9
	10年以上20年未満	200	53.5	35.0	34.5	23.0	13.0	18.0	25.0	18.5	16.5	8.0	6.5
	20年以上30年未満	119	60.5	28.6	31.1	25.2	22.7	21.8	16.0	16.0	23.5	8.4	13.4
	30年以上	388	58.8	34.5	25.3	25.3	22.7	17.3	18.3	17.8	11.6	11.1	5.4
経年	前回(R元年)	1,143	59.2	32.0	30.5	24.7	22.1	23.1	19.9	-	13.0	9.7	6.1

(注1) 網掛けは、「全体」の水準を10%ポイント以上上回った項目

(注2) 経年比較は選択肢の内容が一部異なる項目がある

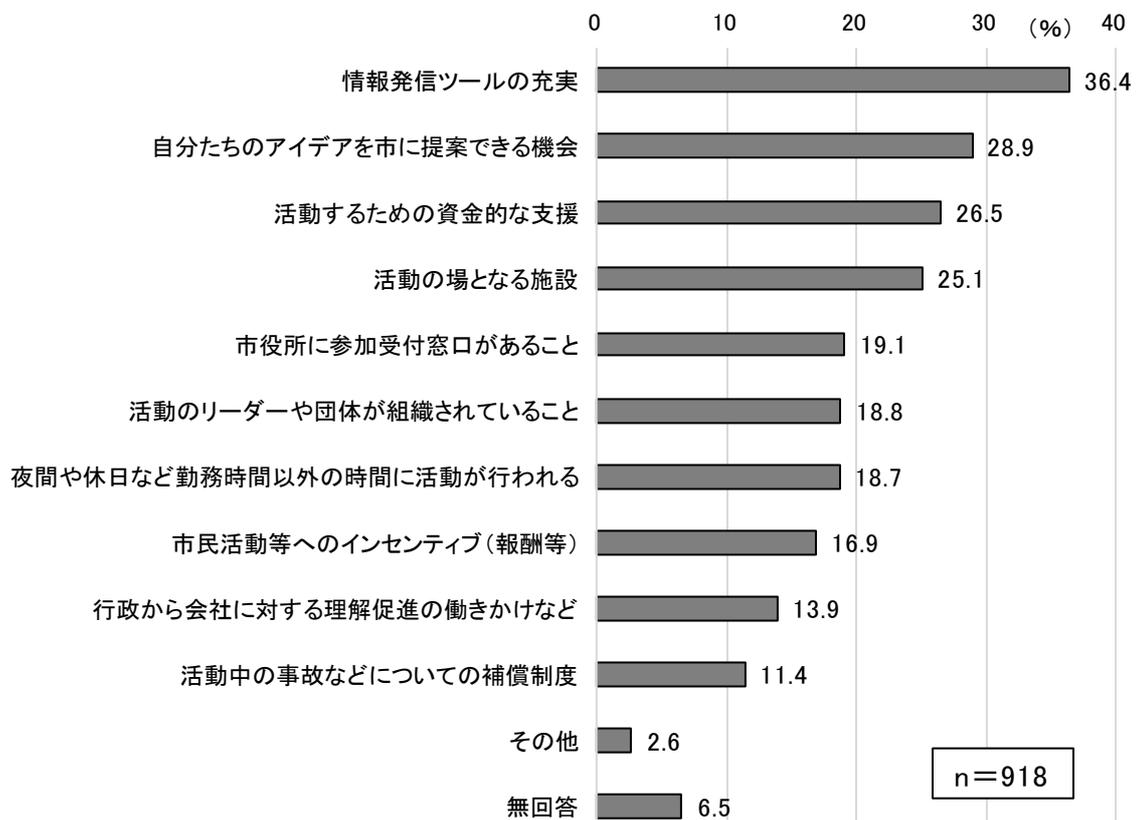
## (8) 市民参加

【問 22】 市政やまちづくりに市民が参加しやすくなるために、市にしてほしいことは何ですか。(〇は3つまで)

市政やまちづくりに市民が参加しやすくなるための施策では、「情報発信ツールの充実」が36.4%で最も高く、次いで「自分たちのアイデアを市に提案できる機会」、「活動するための資金的な支援」、「活動の場となる施設」の順となっています。

属性別にみると、「活動のリーダーや団体が組織されていること」における「80歳以上(46.2%)」、「夜間や休日など勤務時間以外の時間に活動が行われる」における「10歳代(33.3%)」などで高くなっています。

図表 56 市政やまちづくりに市民が参加しやすくなるための施策



図表 57 市政やまちづくりに市民が参加しやすくなるための施策

(単位:%)

		件数	情報発信ツールの充実	自分たちのアイデアを市に提案できる機会	活動するための資金的な支援	活動の場となる施設	市役所に参加受付窓口があること	活動のリーダーや団体が組織されていること	夜間や休日など勤務時間以外に活動が行われる	市民活動等へのインセンティブ	行政から会社に対する理解促進の働きかけなど	活動中の事故などについて補償制度
全体		918	36.4	28.9	26.5	25.1	19.1	18.8	18.7	16.9	13.9	11.4
性別	男性	444	35.8	30.6	30.4	25.5	15.8	19.1	19.4	18.9	12.6	11.9
	女性	440	36.8	27.0	23.6	24.8	21.8	18.4	18.9	15.2	14.8	9.8
年代	10歳代	33	33.3	21.2	21.2	33.3	12.1	0.0	33.3	24.2	6.1	15.2
	20歳代	74	29.7	24.3	24.3	27.0	8.1	10.8	27.0	28.4	17.6	14.9
	30歳代	150	33.3	28.0	28.0	22.7	18.0	15.3	25.3	18.0	16.7	7.3
	40歳代	216	34.7	35.2	28.2	22.7	18.1	17.1	20.8	21.8	13.4	6.5
	50歳代	152	46.1	25.7	30.3	28.3	17.1	19.1	21.7	15.8	16.4	13.2
	60歳代	116	37.1	30.2	26.7	22.4	19.0	24.1	12.1	11.2	12.9	17.2
	70歳代	147	35.4	28.6	21.8	27.2	30.6	23.8	5.4	6.8	11.6	11.6
	80歳以上	26	38.5	19.2	19.2	19.2	15.4	46.2	11.5	19.2	3.8	23.1
居住地域	旭地域	545	35.6	30.6	26.4	25.7	18.5	17.8	18.2	16.5	13.2	10.5
	海上地域	156	36.5	27.6	26.9	22.4	20.5	17.3	25.0	18.6	15.4	14.7
	飯岡地域	106	41.5	23.6	20.8	25.5	17.0	26.4	20.8	12.3	17.0	11.3
	干潟地域	94	33.0	27.7	30.9	24.5	21.3	19.1	10.6	19.1	12.8	11.7
居住年数	5年未満	116	27.6	25.0	31.0	25.9	17.2	14.7	28.4	20.7	12.9	8.6
	5年以上10年未満	87	42.5	32.2	25.3	23.0	18.4	14.9	25.3	18.4	11.5	12.6
	10年以上20年未満	200	36.5	26.5	24.0	27.5	20.0	15.5	22.5	17.5	17.0	13.0
	20年以上30年未満	119	37.0	25.2	26.1	30.3	16.0	18.5	19.3	16.8	17.6	15.1
	30年以上	388	37.6	32.0	26.5	22.2	19.6	22.7	12.6	15.2	12.1	10.1
経年	前回(R元年)	1,143	31.5	26.2	30.8	30.4	12.4	16.3	29.8	-	-	16.4

(注1) 網掛けは、「全体」の水準を10ポイント以上上回った項目

(注2) 経年比較は選択肢の内容が一部異なる項目がある

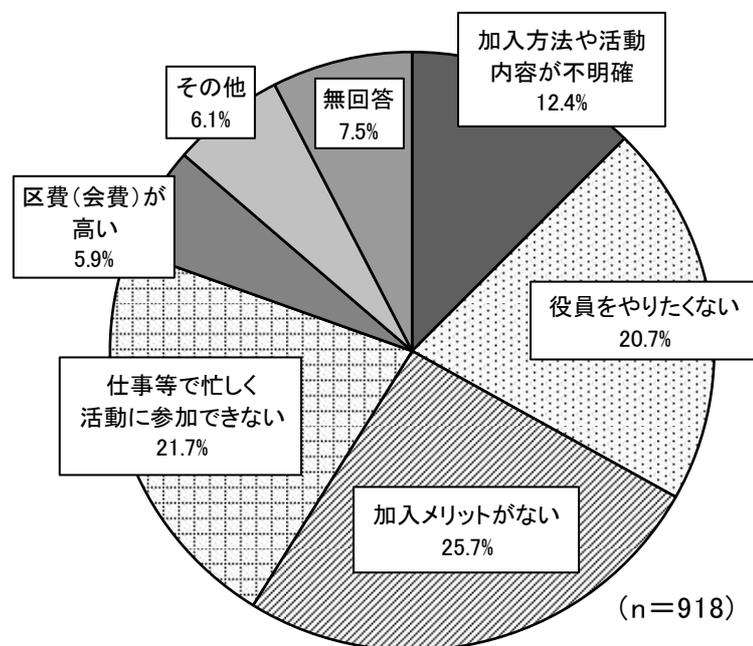
## (9) 区（自治会）

【問 23】地域コミュニティの中心的存在となる、区（自治会）への加入が減っている原因は何だと思いますか。（○は1つ）

区（自治会）への加入が減っている原因では、「加入メリットがない」が25.7%で最も高く、次いで「仕事等で忙しく活動に参加できない（21.7%）」、「役員をやりたくない（20.7%）」、「加入方法や活動内容が不明確（12.4%）」の順となっています。

属性別にみると、「役員をやりたくない」における「10歳代（42.4%）」、「干潟地域（34.0%）」などで高くなっています。

図表 58 区（自治会）への加入が減っている原因



図表 59 区（自治会）への加入が減っている原因（クロス集計）

（単位：％）

		件数	加入メリットがない	仕事等で忙しく活動に参加できない	役員をやりたくない	加入方法や活動内容が不明確	区費(会費)が高い
全体		918	25.7	21.7	20.7	12.4	5.9
性別	男性	444	26.4	23.0	20.3	12.6	3.8
	女性	440	25.7	20.2	21.6	12.0	8.0
年代	10歳代	33	18.2	18.2	42.4	15.2	6.1
	20歳代	74	29.7	29.7	13.5	13.5	5.4
	30歳代	150	25.3	26.7	16.7	10.0	3.3
	40歳代	216	21.8	24.5	25.0	12.0	4.2
	50歳代	152	27.6	20.4	22.4	12.5	4.6
	60歳代	116	29.3	19.0	22.4	9.5	7.8
	70歳代	147	28.6	14.3	14.3	16.3	10.9
	80歳以上	26	19.2	11.5	19.2	15.4	7.7
居住地域	旭地域	545	26.1	23.1	19.3	13.0	4.4
	海上地域	156	30.1	22.4	17.3	12.2	7.7
	飯岡地域	106	19.8	18.9	23.6	11.3	13.2
	千潟地域	94	20.2	16.0	34.0	10.6	4.3
居住年数	5年未満	116	24.1	28.4	15.5	10.3	5.2
	5年以上10年未満	87	24.1	19.5	23.0	10.3	6.9
	10年以上20年未満	200	26.5	22.5	21.5	17.5	3.5
	20年以上30年未満	119	25.2	22.7	16.0	9.2	10.1
	30年以上	388	26.3	19.6	22.7	12.1	5.9

（注）網掛けは、「全体」の水準を10%ポイント以上上回った項目

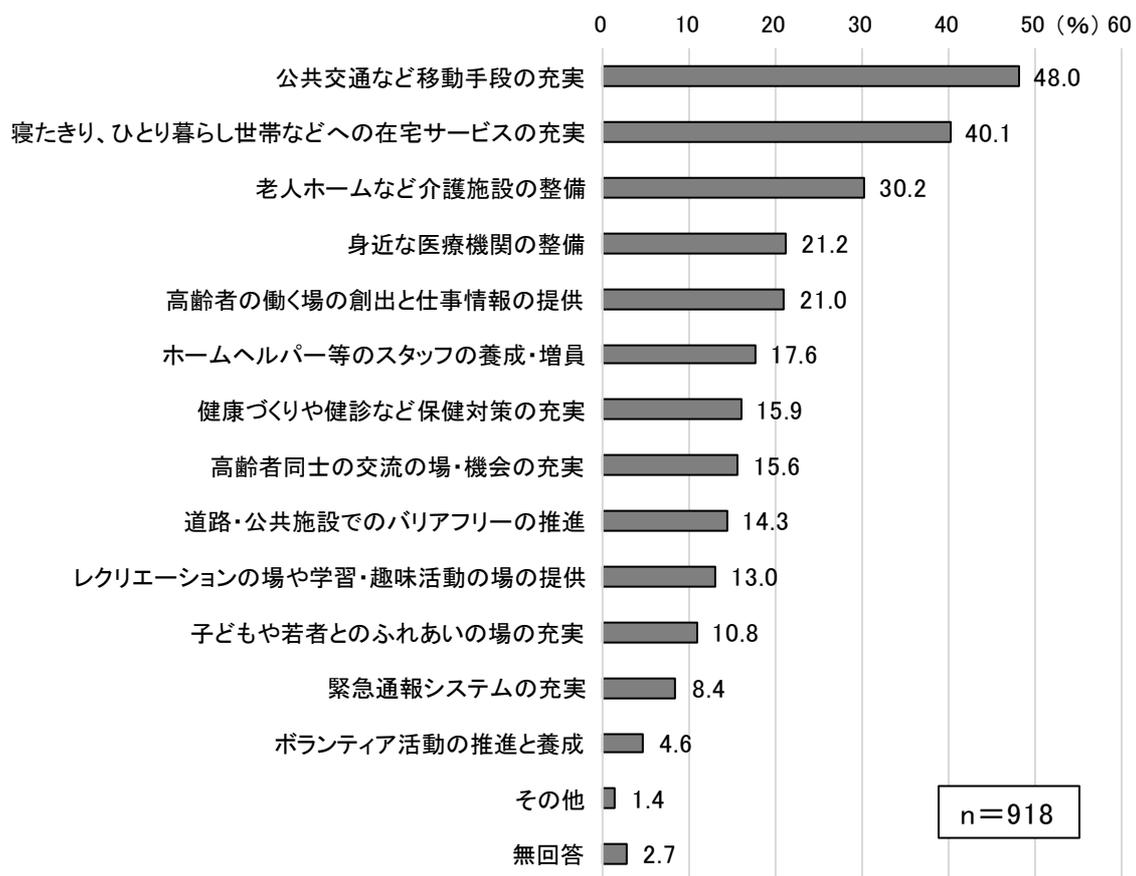
## (10) 高齢者の福祉対策・生きがい対策

【問 24】「高齢者の福祉対策」、「生きがい対策」として期待することは何ですか。(○は3つまで)

「高齢者の福祉対策」、「生きがい対策」として期待することでは、「公共交通など移動手段の充実」が48.0%で最も高く、次いで「寝たきり、ひとり暮らし世帯などへの在宅サービスの充実(40.1%)」、「老人ホームなど介護施設の整備(30.2%)」、「身近な医療機関の整備(21.2%)」の順となっています。

属性別にみると、「道路・公共施設でのバリアフリーの推進」における「10歳代(30.3%)」、「レクリエーションの場や学習・趣味活動の場の提供」における「80歳以上(23.1%)」などで高くなっています。

図表 60 高齢者の福祉対策・生きがい対策として期待すること



図表 61 高齢者の福祉対策・生きがい対策として期待すること（クロス集計）

(単位:%)

	件数	公共交通など 移動手段の充実	寝たきり、ひとり暮らし世帯 などへの在宅サービスの充実	老人ホームなど 介護施設の整備	身近な医療機関の整備	高齢者の働く場の創出 と仕事情報の提供	ホームヘルパー等の スタッフの養成・増員	健康づくりや健診など 保健対策の充実	高齢者同士の交流の場 ・機会の充実	道路・公共施設での バリアフリーの推進	学習・趣味活動の場の提供	子どもや若者とのふれあいの 場の充実	緊急通報システムの充実	ボランティア活動の推進 と養成	
全体	918	48.0	40.1	30.2	21.2	21.0	17.6	15.9	15.6	14.3	13.0	10.8	8.4	4.6	
性別	男性	444	48.0	35.8	30.4	23.0	19.6	18.2	18.0	15.1	16.9	12.8	9.2	8.3	4.7
	女性	440	48.0	44.3	30.7	18.9	22.7	16.8	14.3	16.6	11.6	13.2	12.0	8.4	4.5
年代	10歳代	33	42.4	30.3	30.3	15.2	21.2	18.2	15.2	6.1	30.3	12.1	21.2	6.1	0.0
	20歳代	74	36.5	36.5	32.4	16.2	20.3	17.6	21.6	20.3	20.3	12.2	17.6	6.8	4.1
	30歳代	150	45.3	38.0	30.0	19.3	19.3	20.0	18.7	16.0	16.0	14.0	14.0	6.0	4.0
	40歳代	216	50.9	40.3	25.0	21.3	25.0	17.6	16.2	14.8	14.8	11.1	12.0	7.9	4.2
	50歳代	152	52.0	46.7	36.2	25.7	29.6	20.4	11.2	17.8	9.9	7.2	5.9	7.2	4.6
	60歳代	116	48.3	44.8	34.5	20.7	18.1	14.7	14.7	14.7	11.2	15.5	6.9	12.1	5.2
	70歳代	147	53.1	37.4	29.3	21.8	12.9	14.3	15.0	15.6	11.6	17.0	6.8	9.5	4.1
	80歳以上	26	34.6	30.8	19.2	26.9	7.7	19.2	19.2	7.7	15.4	23.1	15.4	15.4	19.2
居住地域	旭地域	545	48.8	39.4	29.7	18.3	20.2	16.1	16.7	15.2	16.3	13.8	10.8	8.8	4.4
	海上地域	156	42.9	41.0	29.5	27.6	21.2	20.5	13.5	16.0	12.2	13.5	10.9	7.7	5.1
	飯岡地域	106	49.1	40.6	38.7	26.4	19.8	22.6	15.1	13.2	10.4	8.5	10.4	9.4	2.8
	干潟地域	94	51.1	41.5	24.5	22.3	25.5	17.0	13.8	17.0	11.7	11.7	8.5	7.4	7.4
居住年数	5年未満	116	50.9	42.2	27.6	17.2	15.5	19.8	14.7	21.6	19.0	9.5	12.9	5.2	5.2
	5年以上10年未満	87	56.3	43.7	27.6	18.4	17.2	19.5	21.8	10.3	10.3	18.4	10.3	9.2	1.1
	10年以上20年未満	200	47.5	39.0	28.5	24.5	26.5	14.5	17.0	19.5	16.0	11.5	15.5	7.0	4.5
	20年以上30年未満	119	51.3	37.0	32.8	19.3	24.4	16.0	16.8	10.9	15.1	11.8	11.8	8.4	3.4
	30年以上	388	45.4	39.9	31.2	22.2	19.8	18.8	14.2	14.2	12.6	13.7	7.5	9.8	5.7
経年	前回(R元年)	1,143	48.7	35.3	27.5	21.2	30.5	19.8	14.5	17.3	16.4	12.8	6.2	9.4	5.0

(注1) 網掛けは、「全体」の水準を10%ポイント以上上回った項目

(注2) 経年比較は選択肢の内容が一部異なる項目がある

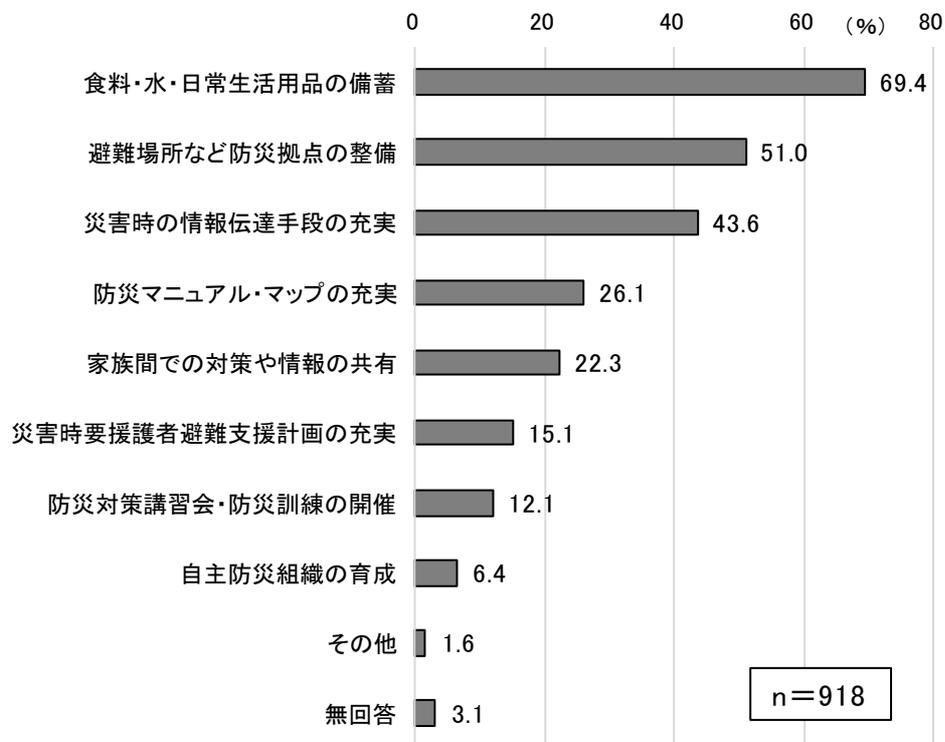
## (11) 防災対策

【問 25】「防災対策」として期待することは何ですか。(○は3つまで)

「防災対策」として期待することでは、「食料・水・日常生活用品の備蓄」が69.4%で最も高く、次いで「避難場所など防災拠点の整備(51.0%)」、「災害時の情報伝達手段の充実(43.6%)」、「防災マニュアル・マップの充実(26.1%)」の順となっています。

属性別にみると、「災害時の情報伝達手段の充実」における「70歳代(55.1%)」、「防災マニュアル・マップの充実」における「20歳代(36.5%)」などで高くなっています。

図表 62 防災対策として期待すること



図表 63 防災対策として期待すること（クロス集計）

(単位:%)

		件数	食料・水・日常生活用品の備蓄	避難場所など防災拠点の整備	災害時の情報伝達手段の充実	防災マニュアル・マップの充実	家族間での対策や情報の共有	避難・災害時要援護者支援計画の充実	防災対策講習会・防災訓練の開催	自主防災組織の育成
全体		918	69.4	51.0	43.6	26.1	22.3	15.1	12.1	6.4
性別	男性	444	69.4	53.2	42.8	27.9	22.7	13.3	12.4	8.3
	女性	440	69.8	48.9	45.2	24.1	21.8	16.4	11.1	4.5
年代	10歳代	33	78.8	57.6	36.4	27.3	15.2	12.1	9.1	0.0
	20歳代	74	73.0	56.8	36.5	36.5	18.9	16.2	10.8	5.4
	30歳代	150	70.7	54.0	40.0	32.7	20.7	13.3	12.7	7.3
	40歳代	216	71.8	47.7	42.1	26.9	26.9	13.4	13.9	8.8
	50歳代	152	76.3	56.6	42.8	27.6	25.0	13.2	11.8	4.6
	60歳代	116	62.9	51.7	44.0	21.6	19.0	19.8	11.2	1.7
	70歳代	147	61.9	45.6	55.1	17.0	19.7	18.4	11.6	8.2
	80歳以上	26	57.7	34.6	46.2	15.4	23.1	15.4	3.8	15.4
居住地域	旭地域	545	70.8	52.7	42.9	24.4	23.3	13.8	11.9	6.1
	海上地域	156	69.9	52.6	44.2	30.1	18.6	19.2	7.7	6.4
	飯岡地域	106	70.8	43.4	41.5	31.1	28.3	16.0	15.1	7.5
	干潟地域	94	62.8	46.8	46.8	22.3	17.0	16.0	16.0	6.4
居住年数	5年未満	116	75.0	53.4	39.7	26.7	21.6	19.0	11.2	3.4
	5年以上10年未満	87	74.7	57.5	43.7	28.7	20.7	13.8	14.9	5.7
	10年以上20年未満	200	70.0	53.5	44.5	29.5	23.0	16.0	11.0	7.0
	20年以上30年未満	119	71.4	52.9	37.0	33.6	18.5	14.3	8.4	8.4
	30年以上	388	66.0	47.4	45.9	21.6	23.5	14.4	13.1	6.7
経年	前回(R元年)	1,143	61.8	56.5	59.6	30.8	-	-	12.8	12.0

(注1) 網掛けは、「全体」の水準を10ポイント以上上回った項目

(注2) 経年比較は選択肢の内容が一部異なる項目がある

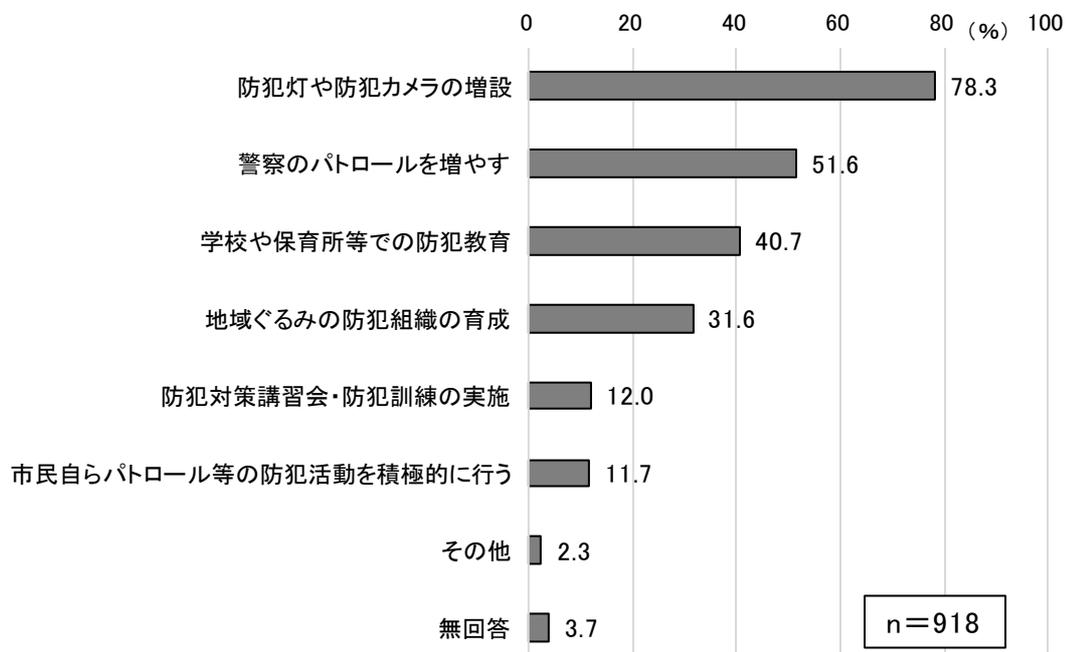
## (12) 防犯対策

【問 26】「防犯対策」として期待することは何ですか。(○は3つまで)

「防犯対策」として期待することでは、「防犯灯や防犯カメラの増設」が78.3%で最も高く、次いで「警察のパトロールを増やす(51.6%)」、「学校や保育所等での防犯教育(40.7%)」、「地域ぐるみの防犯組織の育成(31.6%)」の順となっています。

属性別にみると、「学校や保育所等での防犯教育」における「20歳代(55.4%)」、「5年以上10年未満(54.0%)」、「地域ぐるみの防犯組織の育成」における「80歳以上(46.2%)」などで高くなっています。

図表 64 防犯対策として期待すること



図表 65 防犯対策として期待すること（クロス集計）

(単位:%)

		件数	防犯灯や防犯カメラの増設	警察のパトロールを増やす	学校や保育所等での防犯教育	地域ぐるみの防犯組織の育成	防犯対策講習会・防犯訓練の実施	市民自らパトロール等の防犯活動を積極的に行う
全体		918	78.3	51.6	40.7	31.6	12.0	11.7
性別	男性	444	77.3	55.9	38.1	29.5	13.5	14.4
	女性	440	80.0	46.6	44.1	33.2	11.1	8.9
年代	10歳代	33	78.8	54.5	39.4	24.2	3.0	6.1
	20歳代	74	77.0	36.5	55.4	31.1	10.8	14.9
	30歳代	150	80.7	53.3	51.3	24.0	14.7	8.7
	40歳代	216	77.3	60.2	38.0	30.1	14.4	13.0
	50歳代	152	85.5	53.9	39.5	32.2	13.8	9.9
	60歳代	116	79.3	44.8	36.2	34.5	9.5	9.5
	70歳代	147	72.8	50.3	29.9	37.4	8.8	15.6
	80歳以上	26	65.4	30.8	53.8	46.2	11.5	11.5
居住地域	旭地域	545	78.3	53.2	41.1	30.5	10.6	11.2
	海上地域	156	81.4	50.6	42.9	30.8	12.2	12.8
	飯岡地域	106	71.7	57.5	30.2	36.8	16.0	11.3
	干潟地域	94	78.7	37.2	45.7	31.9	16.0	13.8
居住年数	5年未満	116	82.8	51.7	51.7	29.3	7.8	3.4
	5年以上10年未満	87	80.5	56.3	54.0	31.0	8.0	9.2
	10年以上20年未満	200	77.5	54.5	37.5	32.5	14.5	11.0
	20年以上30年未満	119	78.2	52.1	38.7	33.6	10.1	11.8
	30年以上	388	77.6	49.0	37.4	31.2	13.4	14.4
経年	前回(R元年)	1,143	83.2	44.8	-	32.4	8.3	11.5

(注1) 網掛けは、「全体」の水準を10%ポイント以上上回った項目

(注2) 経年比較は選択肢の内容が一部異なる項目がある

## 6. 人口増加・定住促進について

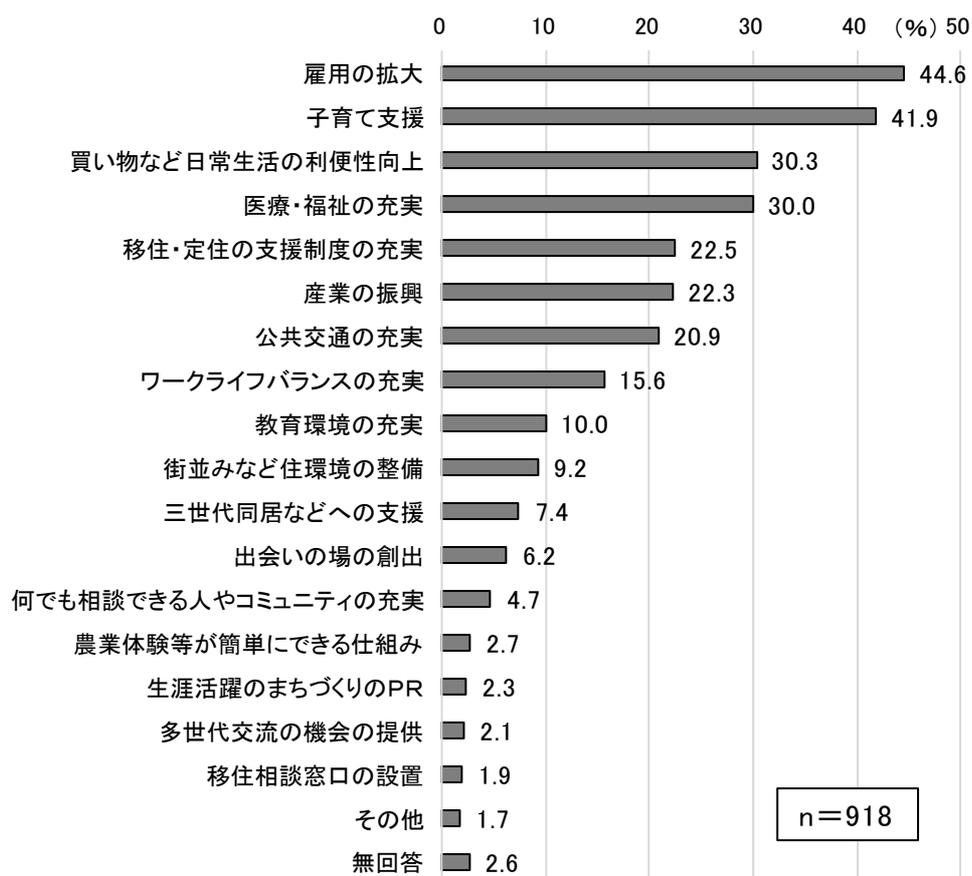
### (1) 人口増加・定住促進対策

【問 27】「人口を増やす（出生数増加・移住促進）」ため、また「人口の流出を防ぐ（定住促進）」ため、旭市が今後力を入れるべき支援はどのようなことだと思いますか。（○は3つまで）

人口増加・定住促進の支援策では、「雇用の拡大」が44.6%で最も高く、次いで「子育て支援（41.9%）」、「買い物など日常生活の利便性向上（30.3%）」、「医療・福祉の充実（30.0%）」の順となっています。

属性別にみると、「子育て支援」における「20歳代（60.8%）」、「30歳代（59.3%）」、「雇用の拡大」における「50歳代（55.3%）」、「買い物など日常生活の利便性向上」における「10歳代（42.4%）」などで高くなっています。

図表 66 人口増加・定住促進のための支援



図表 67 人口増加・定住促進のための支援（クロス集計）

（単位：％）

		件数	雇用の拡大	子育て支援	買い物など日常生活の利便性向上	医療・福祉の充実	移住・定住の支援制度の充実	産業の振興	公共交通の充実	ワークライフバランスの充実	教育環境の充実	街並みなど住環境の整備	三世代同居などへの支援	出合いの場の創出	何でも相談できる人やコミュニティの充実	農業体験等が簡単にできる仕組み	生涯活躍のまちづくりのPR	多世代交流の機会の提供	移住相談窓口の設置
全体		918	44.6	41.9	30.3	30.0	22.5	22.3	20.9	15.6	10.0	9.2	7.4	6.2	4.7	2.7	2.3	2.1	1.9
性別	男性	444	51.1	39.9	27.5	28.2	24.5	29.3	21.4	12.2	8.6	9.5	7.0	7.9	3.2	2.3	1.8	2.0	2.5
	女性	440	38.0	45.5	33.0	32.0	21.1	15.5	20.0	19.3	11.6	8.0	7.5	4.3	5.5	3.0	2.7	2.0	1.4
年代	10歳代	33	30.3	33.3	42.4	27.3	24.2	12.1	21.2	18.2	6.1	15.2	15.2	3.0	3.0	3.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代	74	35.1	60.8	36.5	16.2	17.6	17.6	14.9	20.3	12.2	12.2	10.8	9.5	0.0	1.4	4.1	2.7	2.7
	30歳代	150	37.3	59.3	32.0	26.0	21.3	18.7	20.0	14.0	16.7	9.3	10.7	6.0	1.3	2.0	1.3	0.0	0.7
	40歳代	216	50.9	48.6	25.5	30.6	25.0	21.3	25.0	14.8	13.0	10.2	5.6	3.7	1.9	1.4	0.9	0.9	0.9
	50歳代	152	55.3	28.9	30.3	34.9	27.6	25.7	23.0	15.8	5.3	8.6	4.6	5.9	5.9	5.3	3.9	2.0	3.3
	60歳代	116	43.1	40.5	36.2	31.9	19.8	22.4	14.7	21.6	4.3	5.2	6.9	11.2	4.3	3.4	0.9	2.6	0.9
	70歳代	147	40.8	23.1	28.6	35.4	21.1	26.5	21.8	10.9	8.2	6.8	7.5	5.4	11.6	2.0	3.4	4.1	4.1
	80歳以上	26	46.2	34.6	11.5	26.9	11.5	38.5	15.4	11.5	3.8	11.5	3.8	3.8	15.4	3.8	7.7	11.5	0.0
居住地域	旭地域	545	43.5	44.0	28.8	29.0	21.8	20.9	20.7	16.1	10.1	8.8	7.7	6.2	5.0	2.4	2.2	1.8	2.0
	海上地域	156	45.5	39.1	34.0	32.1	21.2	21.8	15.4	17.9	8.3	12.8	9.6	7.7	4.5	3.2	2.6	2.6	0.0
	飯岡地域	106	45.3	34.0	30.2	33.0	22.6	29.2	27.4	11.3	12.3	8.5	3.8	3.8	4.7	1.9	0.9	4.7	3.8
	干潟地域	94	47.9	44.7	31.9	29.8	28.7	21.3	22.3	11.7	9.6	3.2	6.4	7.4	3.2	3.2	3.2	0.0	2.1
居住年数	5年未満	116	41.4	56.9	32.8	21.6	25.9	15.5	25.9	12.9	12.1	14.7	4.3	4.3	1.7	4.3	3.4	0.9	4.3
	5年以上10年未満	87	39.1	43.7	35.6	27.6	20.7	20.7	32.2	18.4	12.6	13.8	5.7	4.6	2.3	1.1	1.1	1.1	2.3
	10年以上20年未満	200	44.0	43.0	36.0	30.0	20.5	22.0	20.0	19.0	10.5	6.0	7.5	7.5	4.5	2.5	1.0	2.5	1.5
	20年以上30年未満	119	40.3	43.7	31.9	30.3	21.0	19.3	21.0	18.5	10.9	8.4	8.4	7.6	5.0	3.4	1.7	0.8	0.0
	30年以上	388	48.2	36.3	25.0	33.2	23.7	26.0	17.5	12.9	8.0	8.0	8.2	5.9	5.9	2.3	3.1	2.8	1.8
経年	前回(R元年)	1,143	51.2	38.1	39.2	39.8	-	25.5	-	22.4	12.9	12.9	-	-	-	-	-	-	-

（注1）網掛けは、「全体」の水準を10%ポイント以上上回った項目

（注2）経年比較は選択肢の内容が一部異なる項目がある

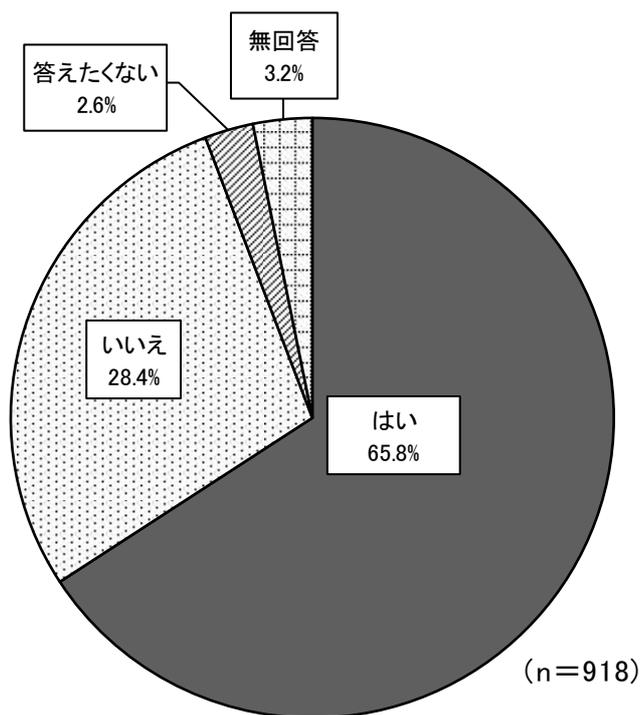
## 7. 結婚（晩婚化・未婚化）

### （1）婚姻の有無

【問 28】現在、結婚していますか。（○は1つ）

配偶者の有無について、「はい」が 65.8%、「いいえ」が 28.4%となっています。

図表 68 婚姻の有無



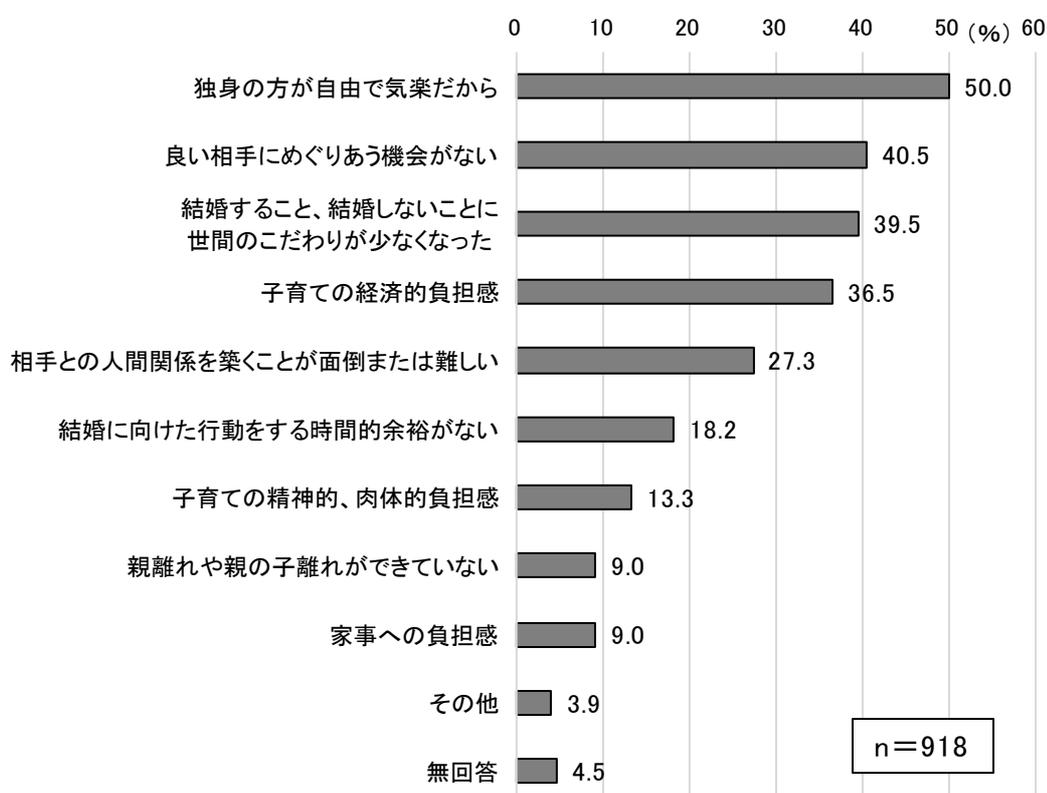
## (2) 晩婚化・未婚化が進む理由

【問 29】「晩婚化・未婚化」が進む「理由」は何だと思えますか。(○は3つまで)

晩婚化・未婚化が進む理由では、「独身の方が自由で気楽だから」が 50.0%で最も高く、次いで「良い相手にめぐりあう機会がない (40.5%)」、「結婚すること、結婚しないことに世間のこだわりが少なくなった (39.5%)」、「子育ての経済的負担感 (36.5%)」の順となっています。

属性別にみると、「結婚すること、結婚しないことに世間のこだわりが少なくなった」における「干潟地域 (51.1%)」、「子育ての経済的負担感」における「20 歳代 (54.1%)」などで高くなっています。

図表 69 晩婚化・未婚化が進む理由



図表 70 晩婚化・未婚化が進む理由（クロス集計）

(単位: %)

		件数	自由で気楽だから 独身の方が	良い相手にめぐりあう 機会がない	結婚すること、結婚しない ことに世間のこだわり が少なくなった	子育ての経済的負担感	相手との人間関係を築く ことが面倒または難しい	結婚に向けた行動をする 時間的余裕がない	子育ての精神的、 肉体的負担感	親離れや親の子離れが できていない	家事への負担感
全体		918	50.0	40.5	39.5	36.5	27.3	18.2	13.3	9.0	9.0
性別	男性	444	50.2	41.4	37.6	39.6	27.5	21.8	13.5	8.3	5.9
	女性	440	50.0	39.1	41.6	34.1	27.7	15.2	13.2	9.5	12.0
年代	10歳代	33	42.4	27.3	21.2	42.4	21.2	27.3	18.2	12.1	18.2
	20歳代	74	52.7	39.2	35.1	54.1	18.9	21.6	17.6	5.4	6.8
	30歳代	150	52.7	36.7	38.7	44.7	26.7	16.7	22.0	8.0	10.7
	40歳代	216	48.6	39.8	39.4	43.5	29.6	21.3	11.6	7.9	11.1
	50歳代	152	57.2	40.8	44.1	36.2	31.6	15.8	13.2	7.9	11.2
	60歳代	116	56.9	43.1	38.8	24.1	26.7	12.9	10.3	11.2	7.8
	70歳代	147	40.8	46.3	43.5	19.0	27.9	18.4	7.5	13.6	3.4
	80歳以上	26	26.9	42.3	34.6	30.8	23.1	15.4	7.7	0.0	3.8
居住地域	旭地域	545	50.5	37.8	35.2	40.2	27.7	16.3	15.4	9.9	9.2
	海上地域	156	51.9	39.1	45.5	29.5	25.0	20.5	13.5	8.3	10.3
	飯岡地域	106	51.9	48.1	43.4	33.0	27.4	22.6	4.7	5.7	8.5
	干潟地域	94	41.5	47.9	51.1	31.9	30.9	20.2	9.6	7.4	8.5
居住年数	5年未満	116	49.1	37.1	44.0	44.8	18.1	13.8	19.8	8.6	12.9
	5年以上10年未満	87	50.6	37.9	40.2	42.5	29.9	16.1	13.8	9.2	9.2
	10年以上20年未満	200	51.0	38.5	38.5	36.5	30.0	19.0	15.0	10.5	11.5
	20年以上30年未満	119	56.3	36.1	37.8	47.9	22.7	19.3	13.4	9.2	6.7
	30年以上	388	47.2	44.1	39.4	29.4	30.2	19.3	10.6	8.0	7.5
婚姻	結婚している	604	54.0	42.9	42.7	39.9	26.8	17.7	14.6	10.9	8.9
	結婚していない	261	45.6	39.8	36.8	33.7	29.1	21.5	10.7	5.4	10.7
経年	前回(R元年)	1,143	39.5	48.8	30.1	20.5	26.0	15.0	10.3	11.5	4.4

(注1) 網掛けは、「全体」の水準を10%ポイント以上上回った項目

(注2) 経年比較は選択肢の内容が一部異なる項目がある

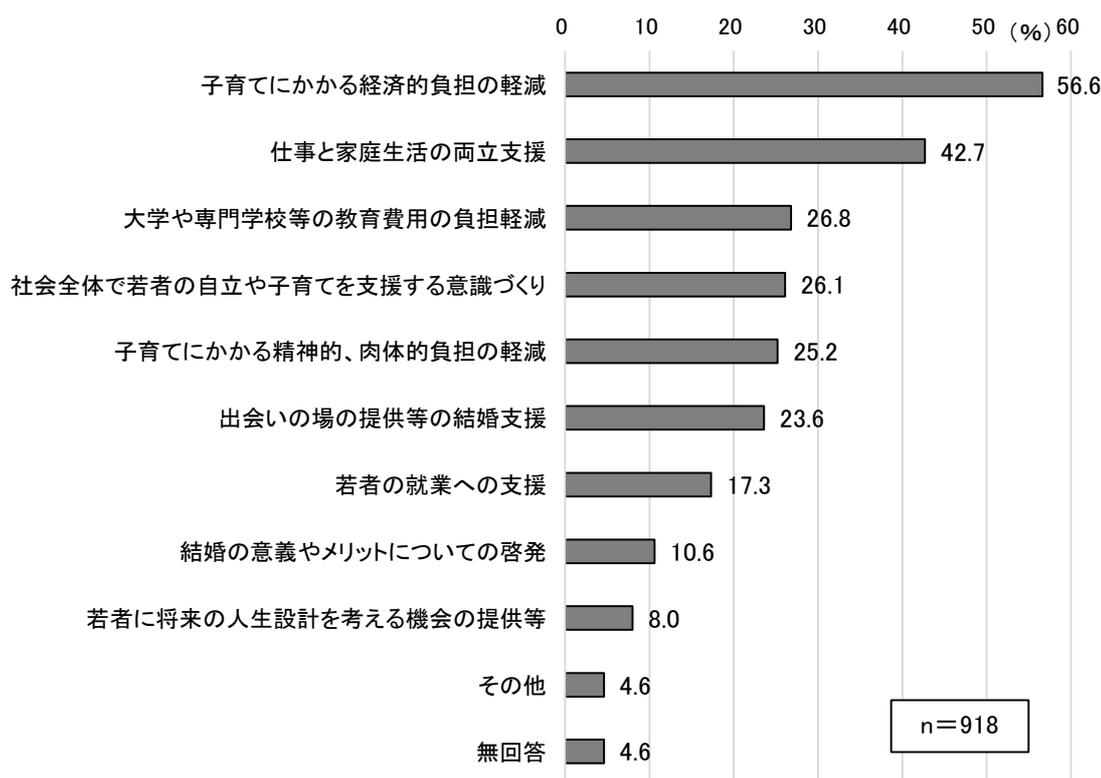
### (3) 晩婚化・未婚化の抑制策

【問 30】「晩婚化・未婚化」が進むのを「抑制」するために、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(〇は3つまで)

晩婚化・未婚化の抑制策では、「子育てにかかる経済的負担の軽減」が 56.6%で最も高く、次いで「仕事と家庭生活の両立支援 (42.7%)」、「大学や専門学校等の教育費用の負担軽減 (26.8%)」、「社会全体で若者の自立や子育てを支援する意識づくり (26.1%)」の順となっています。

属性別にみると、「子育てにかかる経済的負担の軽減」における「5 年未満 (72.4%)」、「20 歳代 (70.3%)」、「30 歳代 (66.7%)」、「仕事と家庭生活の両立支援」における「30 歳代 (53.3%)」、「大学や専門学校等の教育費用の負担軽減」における「10 歳代 (48.5%)」などで高くなっています。

図表 71 晩婚化・未婚化の抑制策



図表 72 晩婚化・未婚化の抑制策（クロス集計）

(単位: %)

		件数	子育てにかかると経済的負担の軽減	仕事と家庭生活の両立支援	大学や専門学校等の教育費用の負担軽減	自立や子育てを支援する意識づくり	子育てにかかる精神的、肉体的負担の軽減	出合いの場の提供等の結婚支援	若者の就業への支援	結婚の意義やメリットについての啓発	若者に将来の人生設計を考える機会の提供
全体		918	56.6	42.7	26.8	26.1	25.2	23.6	17.3	10.6	8.0
性別	男性	444	57.9	38.7	26.8	20.7	25.2	29.3	17.1	13.5	7.4
	女性	440	56.1	46.6	26.6	31.8	25.2	18.0	17.5	7.3	8.4
年代	10歳代	33	63.6	33.3	48.5	27.3	24.2	18.2	15.2	21.2	0.0
	20歳代	74	70.3	47.3	21.6	45.9	31.1	21.6	18.9	8.1	2.7
	30歳代	150	66.7	53.3	28.0	28.0	26.0	21.3	12.0	7.3	4.0
	40歳代	216	61.6	40.7	40.3	17.1	24.1	20.8	21.8	10.2	8.3
	50歳代	152	57.9	52.0	23.0	23.0	28.3	20.4	17.1	8.6	9.9
	60歳代	116	45.7	35.3	15.5	19.8	28.4	33.6	12.1	12.1	5.2
	70歳代	147	39.5	30.6	17.0	37.4	18.4	25.9	20.4	12.9	15.0
	80歳以上	26	53.8	38.5	23.1	19.2	23.1	26.9	19.2	19.2	7.7
居住地域	旭地域	545	58.3	45.7	29.2	23.5	25.3	21.3	17.2	11.0	6.4
	海上地域	156	53.2	44.9	19.2	28.2	25.6	22.4	16.0	10.3	10.9
	飯岡地域	106	58.5	32.1	23.6	32.1	20.8	26.4	21.7	12.3	7.5
	干潟地域	94	51.1	33.0	30.9	31.9	28.7	31.9	17.0	7.4	9.6
居住年数	5年未満	116	72.4	50.9	28.4	25.9	32.8	19.8	12.9	7.8	4.3
	5年以上10年未満	87	59.8	49.4	24.1	29.9	26.4	23.0	13.8	8.0	6.9
	10年以上20年未満	200	58.5	47.0	31.0	24.0	24.0	22.5	22.0	10.0	8.5
	20年以上30年未満	119	58.0	42.0	26.1	29.4	26.1	20.2	21.8	8.4	5.9
	30年以上	388	50.8	36.6	25.3	25.5	22.9	26.0	16.0	13.1	9.0
婚姻	結婚している	604	60.6	44.2	29.6	26.0	25.8	24.7	17.1	9.8	8.3
	結婚していない	261	54.8	42.1	22.6	28.0	23.8	24.1	19.2	12.6	6.9
経年	前回(R元年)	1,143	50.5	44.9	22.7	21.4	23.5	30.5	25.2	13.1	-

(注1) 網掛けは、「全体」の水準を10%ポイント以上上回った項目

(注2) 経年比較は選択肢の内容が一部異なる項目がある

## 8. 健康・運動について

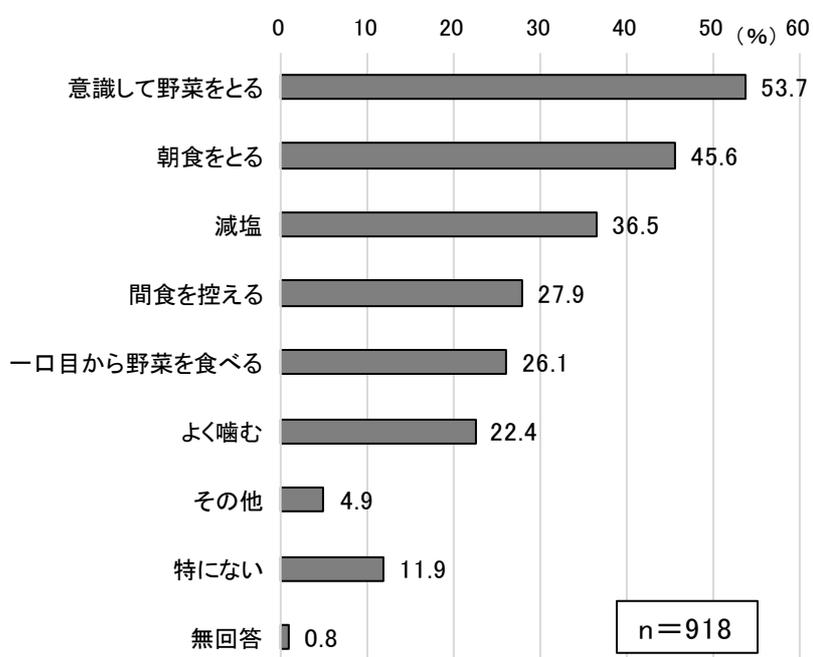
### (1) 食事の際に気を付けていること

【問 31】あなたが食事の際に気を付けているポイントは何ですか。(○はいくつでも)

食事の際に気を付けていることでは、「意識して野菜をとる」が53.7%で最も高く、次いで「朝食をとる(45.6%)」、「減塩(36.5%)」、「間食を控える(27.9%)」の順となっています。

属性別にみると、「朝食をとる」における「80歳以上(76.9%)」、「70歳代(66.0%)」、「意識して野菜をとる」における「70歳代(65.3%)」などで高くなっています。

図表 73 食事の際に気を付けているポイント



図表 74 食事の際に気を付けているポイント（クロス集計）

（単位：％）

		件数	意識して 野菜をとる	朝食をとる	減塩	間食を 控える	一口目から 野菜を食べる	よく噛む
全体		918	53.7	45.6	36.5	27.9	26.1	22.4
性別	男性	444	50.2	42.3	32.2	28.6	21.4	19.6
	女性	440	57.5	48.4	40.2	26.4	31.8	24.1
年代	10歳代	33	24.2	48.5	6.1	9.1	30.3	27.3
	20歳代	74	39.2	29.7	18.9	29.7	20.3	25.7
	30歳代	150	56.0	37.3	24.0	18.7	34.7	16.7
	40歳代	216	52.8	40.3	31.5	26.9	26.9	22.2
	50歳代	152	53.3	44.1	38.8	33.6	26.3	16.4
	60歳代	116	59.5	44.0	50.0	29.3	16.4	12.9
	70歳代	147	65.3	66.0	55.1	35.4	29.9	36.1
	80歳以上	26	42.3	76.9	61.5	30.8	7.7	38.5
居住地域	旭地域	545	51.7	42.4	35.6	27.2	26.2	23.1
	海上地域	156	52.6	47.4	34.0	27.6	26.3	21.8
	飯岡地域	106	61.3	54.7	38.7	33.0	26.4	27.4
	干潟地域	94	57.4	47.9	44.7	26.6	24.5	13.8
居住年数	5年未満	116	48.3	37.1	29.3	20.7	37.1	17.2
	5年以上10年未満	87	59.8	44.8	32.2	21.8	29.9	23.0
	10年以上20年未満	200	52.0	45.0	35.0	28.0	31.5	26.0
	20年以上30年未満	119	53.8	40.3	28.6	32.8	16.0	17.6
	30年以上	388	54.9	50.3	43.3	30.2	22.4	23.5

（注）網掛けは、「全体」の水準を10%ポイント以上上回った項目

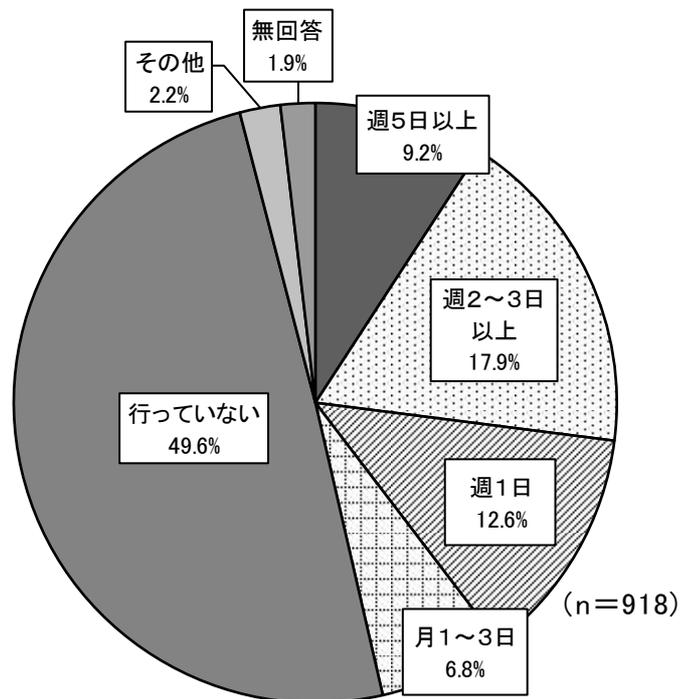
## (2) 定期的な運動

【問 32】 あなたは定期的に運動を行っていますか。(○は1つ)

定期的な運動では、「行っていない」が 49.6%となっています。運動をしている方は、「週 2～3 日以上」が 17.9%で最も高くなっています。

属性別にみると、「行っていない」における「30 歳代 (60.7%)」、「週 2～3 日以上」における「80 歳以上 (30.8%)」などで高くなっています。

図表 75 定期的な運動頻度



図表 76 定期的な運動頻度（クロス集計）

（単位：％）

		件数	週5日 以上	週2～3日 以上	週1日	月1～3日	行っていない
全体		918	9.2	17.9	12.6	6.8	49.6
性別	男性	444	10.6	19.1	14.2	7.7	45.3
	女性	440	8.0	17.0	10.9	5.9	53.9
年代	10歳代	33	9.1	27.3	12.1	15.2	36.4
	20歳代	74	13.5	17.6	23.0	6.8	37.8
	30歳代	150	6.7	14.0	11.3	6.0	60.7
	40歳代	216	8.3	13.0	13.4	6.9	56.5
	50歳代	152	5.3	19.1	14.5	5.9	52.6
	60歳代	116	12.1	20.7	6.0	7.8	46.6
	70歳代	147	12.2	21.8	12.2	4.1	39.5
	80歳以上	26	11.5	30.8	7.7	15.4	30.8
居住地域	旭地域	545	9.5	16.0	13.8	6.8	49.9
	海上地域	156	9.0	19.9	10.9	5.8	50.6
	飯岡地域	106	7.5	21.7	11.3	7.5	46.2
	干潟地域	94	10.6	21.3	10.6	7.4	47.9
居住年数	5年未満	116	8.6	12.1	13.8	6.9	55.2
	5年以上10年未満	87	11.5	14.9	6.9	5.7	59.8
	10年以上20年未満	200	8.5	18.5	17.0	7.5	44.0
	20年以上30年未満	119	9.2	12.6	16.8	5.9	51.3
	30年以上	388	9.3	21.6	10.3	7.0	47.9

（注）網掛けは、「全体」の水準を10%ポイント以上上回った項目

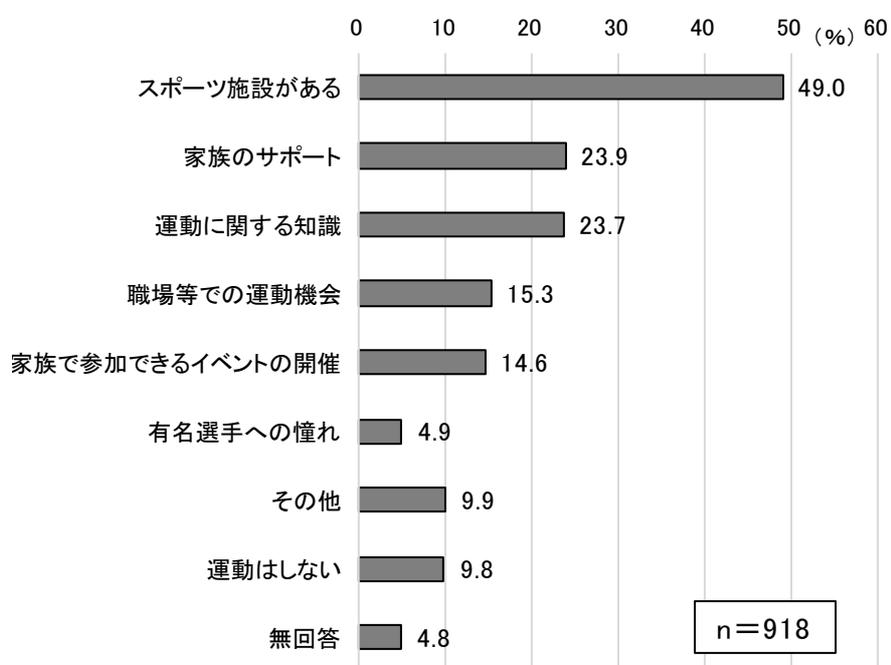
### (3) 運動を継続するために重要なこと

【問 33】あなたが運動を継続して行うために重要と思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

運動を継続するために重要なことでは、「スポーツ施設がある」が49.0%で最も高く、次いで「家族のサポート (23.9%)」、「運動に関する知識 (23.7%)」、「職場等での運動機会 (15.3%)」の順となっています。

属性別にみると、「家族のサポート」における「30歳代 (36.7%)」、「運動に関する知識」における「60歳代 (34.5%)」、「有名選手への憧れ」における「10歳代 (18.2%)」などで高くなっています。

図表 77 運動を継続するために重要なこと



図表 78 運動を継続するために重要なこと（クロス集計）

(単位: %)

		件数	スポーツ施設がある	家族のサポート	運動に関する知識	職場等での運動機会	家族で参加できるイベントの開催	有名選手への憧れ	運動はしない
全体		918	49.0	23.9	23.7	15.3	14.6	4.9	9.8
性別	男性	444	53.2	19.4	24.3	14.9	14.9	7.4	9.0
	女性	440	46.4	28.0	23.4	16.4	15.2	2.5	10.2
年代	10歳代	33	51.5	18.2	24.2	18.2	6.1	18.2	9.1
	20歳代	74	48.6	17.6	28.4	16.2	14.9	14.9	9.5
	30歳代	150	55.3	36.7	16.7	22.7	20.0	6.0	8.0
	40歳代	216	56.9	21.3	19.4	20.4	18.5	4.6	9.7
	50歳代	152	55.3	19.1	19.1	19.1	12.5	3.3	10.5
	60歳代	116	44.8	19.8	34.5	6.0	10.3	3.4	10.3
	70歳代	147	32.7	25.9	32.7	4.8	9.5	0.0	10.2
	80歳以上	26	26.9	26.9	15.4	3.8	23.1	0.0	7.7
居住地域	旭地域	545	49.0	23.1	20.7	15.6	13.6	4.4	10.8
	海上地域	156	53.2	25.0	25.6	15.4	17.9	8.3	7.1
	飯岡地域	106	47.2	24.5	29.2	17.0	16.0	4.7	8.5
	干潟地域	94	47.9	21.3	33.0	12.8	14.9	3.2	8.5
居住年数	5年未満	116	53.4	25.0	16.4	16.4	18.1	4.3	13.8
	5年以上10年未満	87	55.2	25.3	20.7	16.1	13.8	5.7	10.3
	10年以上20年未満	200	55.5	23.5	23.0	22.0	12.0	8.5	6.5
	20年以上30年未満	119	47.1	23.5	22.7	21.0	18.5	5.0	10.1
	30年以上	388	44.3	23.5	27.3	9.8	13.9	3.1	9.5

(注) 網掛けは、「全体」の水準を10%ポイント以上上回った項目

#### (4) 行っているスポーツ

【問 34】 あなたが行っている（行ってみたい）スポーツは何ですか。（自由記載）

行っている（行ってみたい）スポーツを自由記述形式（回答件数 471 件）でたずねたところ、「ウォーキング（57 件）」、「エアロビクス・ダンス・ヨガ・バレエ・ピラティス（55 件）」、「ゴルフ・パークゴルフ（48 件）」、「ランニング（45 件）」、「水泳・プール（42 件）」などが上位となっています。

その他としては、サップやカヌー、トライアスロン、クリケット、カーリング、セパタクロー、トライアスロン、セパタクロー、ボッチャなどが見られた。

図表 79 行っている（行ってみたい）スポーツ

種目	件数
ウォーキング（散歩などを含む）	57
エアロビクス・ダンス・ヨガ・バレエ・ピラティス	55
ゴルフ・パークゴルフ	48
ランニング（ジョギング、マラソンなどを含む）	45
水泳・プール	42
テニス・ソフトテニス	35
野球、ソフトボール	31
トレーニング・ジム	29
登山・トレッキング・トレイルランニング・ロッククライミング	23
卓球	21
バレーボール	21
体操・ストレッチなど	18
自転車・サイクリング	16
バスケットボール	16
バドミントン	16
武術・格闘技（ボクシング、柔剣道・空手・合気道他）	16
サッカー・フットサル	15
スキー、スケート、スノーボード、スケートボード	14
サーフィン	12
弓道、アーチェリー、射撃	10
その他	35

## (5) 関心のある芸術文化

【問 35】運動のほか、例えば芸術文化（趣味可）などの分野で関心のあるものは何ですか。（自由記載）

芸術文化などの分野で関心のあるものを自由記述形式（回答件数 372 件）でたずねたところ、「音楽鑑賞（54 件）」、「絵画鑑賞（28 件）」、「音楽演奏（22 件）」、「絵画（21 件）」、「書道（19 件）」などが上位となっているほか、多様な分野があげられた。

その他では、サンドアートやチョークアート、ぬり絵、囲碁、将棋、お笑い・落語などが見られた。

図表 80 芸術文化などの分野で関心のあるもの

種目	件数
音楽鑑賞	54
絵画鑑賞	28
音楽演奏	22
絵画	21
書道	19
手芸・ハンドメイド・小物制作	16
園芸・ガーデニング・家庭菜園	15
映画鑑賞	15
コンサート・音楽ライブ	15
陶芸	14
メディア芸術（漫画、アニメ）	12
読書	12
観劇	12
ミュージカル・オペラ	12
日本の伝統芸能	10
漫画・イラスト作成	6
日曜大工・DIY	5
歴史探訪	5
カラオケ	4
写真	4
ダンス・バレエ	4
旅行	4
英会話・外国語	4
神事・祭事	4
ゲーム	3
博物館	3
茶道・華道	3
料理	3
寺社仏閣・御朱印集め	3
その他	57
特になし	47

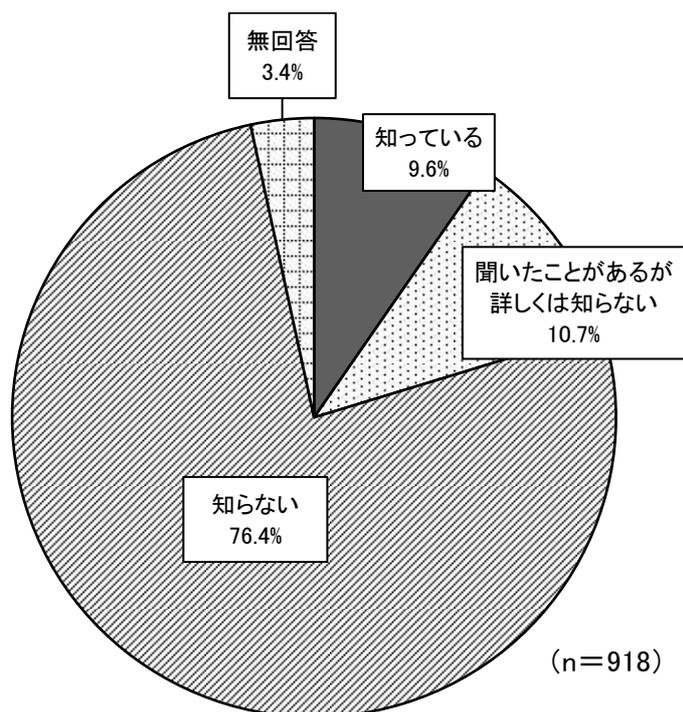
## (6) 旭市CCDプロジェクト

【問 36】糖尿病対策事業「旭市CCDプロジェクト」をご存じですか。(○は1つ)

旭市CCDプロジェクトの認知度は、「知っている」は9.6%に留まり、「知らない」が76.4%となっています。

属性別にみると、「知らない」における「10歳代(93.9%)」が高くなっています。

図表 81 旭市 CCD プロジェクトの認知度



図表 82 旭市 CCD プロジェクトの認知度（クロス集計）

（単位：％）

		件数	知っている	聞いたことがあるが 詳しくは知らない	知らない
全体		918	9.6	10.7	76.4
性別	男性	444	11.3	12.2	74.5
	女性	440	8.4	9.1	78.2
年代	10歳代	33	0.0	6.1	93.9
	20歳代	74	5.4	13.5	81.1
	30歳代	150	9.3	7.3	82.0
	40歳代	216	15.7	10.6	72.2
	50歳代	152	13.2	10.5	73.7
	60歳代	116	6.9	7.8	81.0
	70歳代	147	4.1	17.0	70.7
	80歳以上	26	3.8	7.7	73.1
居住地域	旭地域	545	10.3	11.2	75.2
	海上地域	156	7.1	7.1	81.4
	飯岡地域	106	12.3	15.1	68.9
	干潟地域	94	6.4	8.5	83.0
居住年数	5年未満	116	5.2	11.2	80.2
	5年以上10年未満	87	4.6	13.8	81.6
	10年以上20年未満	200	8.0	7.5	83.0
	20年以上30年未満	119	10.9	6.7	79.0
	30年以上	388	12.1	12.9	70.4

（注）網掛けは、「全体」の水準を10%ポイント以上上回った項目

## 9. デジタル活用について

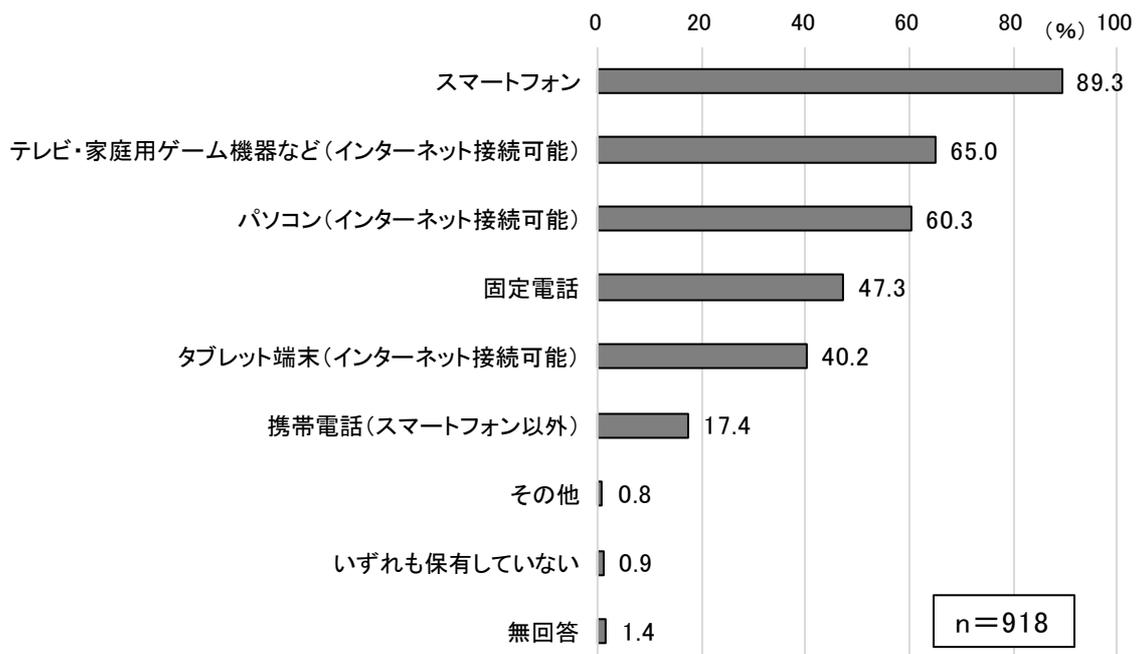
### (1) 世帯で利用している情報通信機器

【問 37】 あなたの世帯で利用している情報通信機器をすべてお答えください。(○はいくつでも)

世帯で利用している情報通信機器では、「スマートフォン」が 89.3%で最も高く、次いで「テレビ・家庭用ゲーム機器など(インターネット接続可能)」が 65.0%、「パソコン(インターネット接続可能)」が 60.3%、「固定電話」が 47.3%の順となっています。

属性別にみると、「テレビ・家庭用ゲーム機器など」における「10 歳代(78.8%)」、「20 歳代(75.3%)」、「パソコン」における「10 歳代(78.8%)」、「40 歳代(74.1%)」、「タブレット端末」における「10 歳代(69.7%)」、「固定電話」における「80 歳以上(65.4%)」などで高くなっています。

図表 83 世帯で利用している情報通信機器



図表 84 世帯で利用している情報通信機器（クロス集計）

（単位：％）

		件数	スマートフォン	家庭用ゲーム機・テレビ・機器など	パソコン	固定電話	タブレット端末	携帯電話	いずれも保有していない
全体		918	89.3	65.0	60.3	47.3	40.2	17.4	0.9
性別	男性	444	91.2	66.2	65.8	47.3	43.5	18.5	0.5
	女性	440	88.6	65.2	56.1	46.8	37.5	16.4	0.9
年代	10歳代	33	90.9	78.8	78.8	60.6	69.7	9.1	0.0
	20歳代	74	95.9	73.0	62.2	32.4	43.2	10.8	0.0
	30歳代	150	95.3	75.3	61.3	20.7	49.3	8.7	0.0
	40歳代	216	98.6	74.5	74.1	42.1	51.9	14.4	0.0
	50歳代	152	95.4	69.1	71.1	62.5	43.4	15.8	1.3
	60歳代	116	90.5	50.0	47.4	56.9	23.3	14.7	0.0
	70歳代	147	65.3	46.3	40.1	59.9	20.4	36.1	2.0
	80歳以上	26	61.5	46.2	26.9	65.4	15.4	38.5	3.8
居住地域	旭地域	545	88.4	65.9	58.2	39.4	40.6	17.4	1.1
	海上地域	156	94.2	65.4	65.4	64.1	42.9	17.3	0.0
	飯岡地域	106	86.8	61.3	57.5	59.4	32.1	20.8	0.0
	干潟地域	94	91.5	63.8	68.1	51.1	42.6	14.9	1.1
居住年数	5年未満	116	94.8	70.7	58.6	11.2	31.0	6.9	0.0
	5年以上10年未満	87	90.8	66.7	55.2	18.4	50.6	10.3	2.3
	10年以上20年未満	200	92.0	67.0	67.5	49.5	45.0	18.0	0.5
	20年以上30年未満	119	91.6	75.6	63.9	58.0	50.4	14.3	0.0
	30年以上	388	86.1	59.8	58.0	60.1	35.3	22.7	0.5

（注）網掛けは、「全体」の水準を10%ポイント以上上回った項目

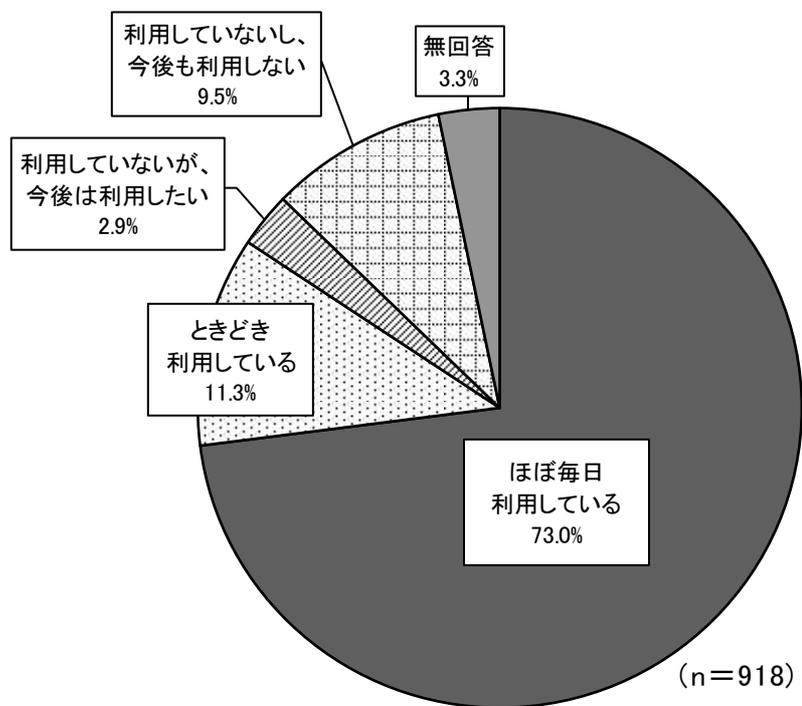
## (2) インターネットの利用状況

【問 38】 あなたのインターネットの利用状況を教えてください。(○は1つ)

インターネットの利用状況では、「ほぼ毎日利用している」が 73.0%で最も高くなっています。「利用していないが、今後は利用したい」は 2.9%、「利用していないし、今後も利用しない」は 9.5%となっています。

属性別にみると、「ほぼ毎日利用している」は 50 歳代以下で高く、「利用していないし、今後も利用しない」は「70 歳代 (39.5%)」、「80 歳以上 (23.1%)」などで高くなっています。

図表 85 インターネットの利用状況



図表 86 インターネットの利用状況（クロス集計）

（単位：％）

		件数	ほぼ毎日 利用している	ときどき 利用している	利用していないが、 今後は利用したい	利用していないし、 今後利用しない
全体		918	73.0	11.3	2.9	9.5
性別	男性	444	77.0	10.6	2.9	6.5
	女性	440	71.6	11.8	2.7	10.7
年代	10歳代	33	97.0	3.0	0.0	0.0
	20歳代	74	95.9	2.7	1.4	0.0
	30歳代	150	96.0	2.0	0.7	0.7
	40歳代	216	94.4	4.2	0.5	0.9
	50歳代	152	83.6	8.6	3.9	2.6
	60歳代	116	47.4	28.4	8.6	12.1
	70歳代	147	19.7	24.5	5.4	39.5
	80歳以上	26	26.9	26.9	0.0	23.1
居住地域	旭地域	545	76.3	7.7	2.4	9.9
	海上地域	156	72.4	15.4	3.8	6.4
	飯岡地域	106	61.3	18.9	5.7	10.4
	干潟地域	94	71.3	16.0	1.1	8.5
居住年数	5年未満	116	89.7	4.3	0.0	3.4
	5年以上10年未満	87	80.5	9.2	3.4	5.7
	10年以上20年未満	200	82.0	8.5	1.5	6.5
	20年以上30年未満	119	78.2	10.1	0.8	6.7
	30年以上	388	61.1	16.0	5.2	13.1

（注）網掛けは、「全体」の水準を10%ポイント以上上回った項目

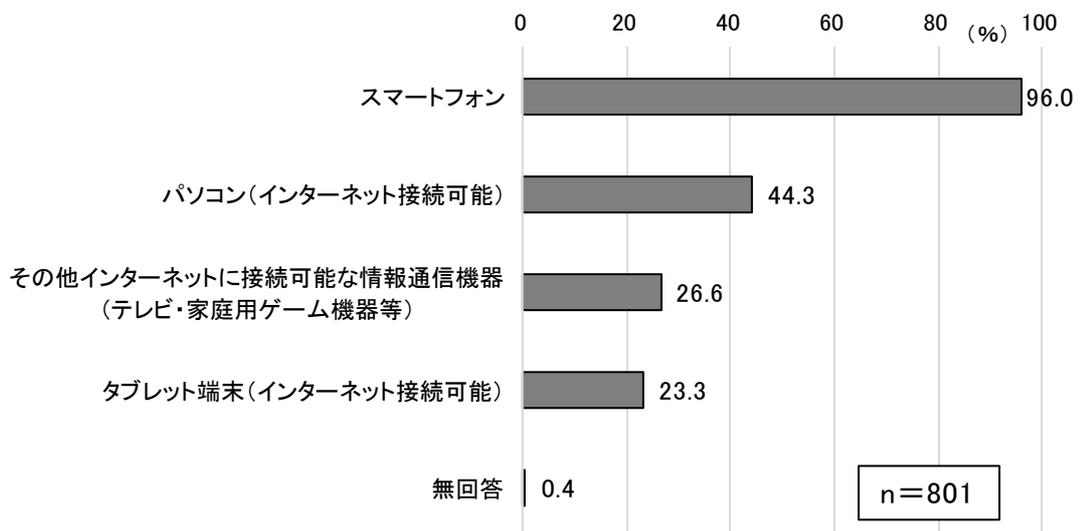
### (3) あなたが利用している情報通信機器

【問 39】 あなた自身が利用している情報通信機器を教えてください。 (〇はいくつでも)

インターネットを利用している、もしくは利用意向のある方 (n=801) の利用している情報通信機器は、「スマートフォン」が 96.0%で最も高く、次いで「パソコン (インターネット接続可能)」が 44.3%、「その他インターネットに接続可能な情報通信機器 (テレビ・家庭用ゲーム機器等)」が 26.6%、「タブレット端末 (インターネット接続可能)」が 23.3%の順となっています。

属性別にみると、「タブレット端末」における「10 歳代」などで高くなっています。

図表 87 あなた自身が利用している情報通信機器



図表 88 あなた自身が利用している情報通信機器（クロス集計）

（単位：％）

		件数	パソコン	タブレット端末	スマートフォン	その他インターネット に接続可能な情報 通信機器等
全体		801	44.3	23.3	96.0	26.6
性別	男性	402	51.7	26.9	94.8	30.3
	女性	379	37.2	20.6	97.4	23.7
年代	10歳代	33	45.5	39.4	90.9	36.4
	20歳代	74	32.4	21.6	98.6	35.1
	30歳代	148	43.2	31.1	98.6	37.8
	40歳代	214	48.6	26.6	99.1	29.0
	50歳代	146	52.1	21.2	96.6	24.7
	60歳代	98	38.8	11.2	96.9	13.3
	70歳代	73	38.4	15.1	79.5	8.2
	80歳以上	14	42.9	14.3	92.9	14.3
居住地域	旭地域	471	44.2	23.6	96.4	28.2
	海上地域	143	44.8	26.6	96.5	25.2
	飯岡地域	91	44.0	15.4	94.5	25.3
	干潟地域	83	45.8	28.9	94.0	21.7
居住年数	5年未満	109	38.5	18.3	98.2	34.9
	5年以上10年未満	81	40.7	33.3	95.1	30.9
	10年以上20年未満	184	44.6	21.7	96.7	27.2
	20年以上30年未満	106	48.1	30.2	96.2	37.7
	30年以上	319	46.1	21.3	95.0	18.8

（注）網掛けは、「全体」の水準を10%ポイント以上上回った項目

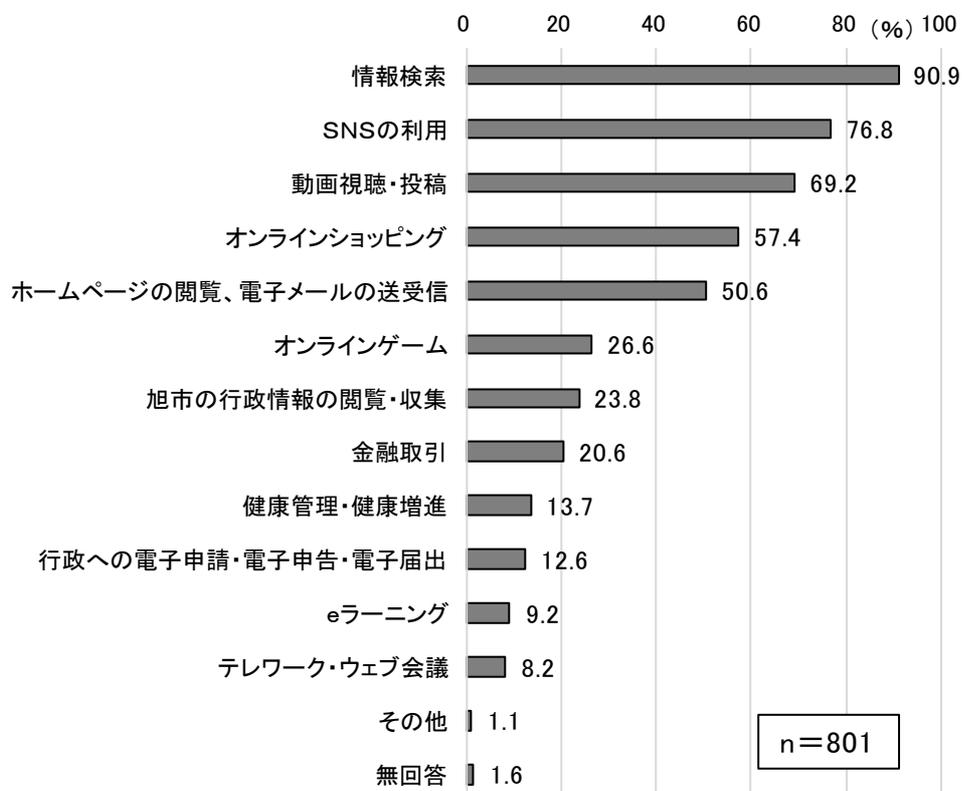
#### (4) インターネットの利用目的

【問 40】 普段どのような目的でインターネットを利用しているかお答えください。  
(○はいくつでも)

インターネットを利用している、もしくは利用意向のある方(n=801)の利用目的では、「情報検索」が90.9%で最も高く、次いで「SNSの利用(76.8%)」、「動画視聴・投稿(69.2%)」、「オンラインショッピング(57.4%)」の順となっています。

属性別にみると、30歳代以下の層における「SNSの利用」、「動画視聴・投稿」、「オンラインショッピング」、「オンラインゲーム」の割合などが高くなっています。

図表 89 インターネットの利用目的



図表 90 インターネットの利用目的（クロス集計）

（単位：％）

		件数	情報検索	SNSの利用	動画視聴・投稿	オンラインショッピング	ホームページの閲覧、 電子メールの送受信	オンラインゲーム	旭市の行政情報の 閲覧・収集	金融取引	健康管理・健康増進	行政への電子申請・ 電子申告・電子届出	eラーニング	テレワーク・ウェブ会議
全体		801	90.9	76.8	69.2	57.4	50.6	26.6	23.8	20.6	13.7	12.6	9.2	8.2
性別	男性	402	91.5	72.6	73.1	56.7	53.5	32.1	22.1	25.4	10.7	12.9	7.5	8.2
	女性	379	91.0	82.1	66.2	59.1	48.8	20.8	26.4	15.8	17.2	12.7	11.1	8.2
年代	10歳代	33	84.8	93.9	87.9	42.4	33.3	45.5	9.1	3.0	12.1	6.1	24.2	3.0
	20歳代	74	87.8	94.6	87.8	75.7	47.3	45.9	18.9	28.4	13.5	20.3	9.5	5.4
	30歳代	148	92.6	90.5	83.8	76.4	56.8	37.2	29.1	29.7	15.5	15.5	10.1	11.5
	40歳代	214	93.5	81.8	79.0	65.4	57.0	28.5	25.7	26.6	13.1	11.2	8.4	10.7
	50歳代	146	93.8	72.6	68.5	54.8	55.5	24.0	25.3	17.1	13.0	8.9	11.6	8.2
	60歳代	98	89.8	62.2	43.9	36.7	40.8	9.2	19.4	13.3	11.2	14.3	4.1	7.1
	70歳代	73	84.9	41.1	28.8	21.9	34.2	5.5	24.7	4.1	19.2	11.0	5.5	1.4
	80歳以上	14	71.4	50.0	14.3	28.6	42.9	0.0	14.3	7.1	7.1	14.3	7.1	7.1
居住地域	旭地域	471	90.0	78.8	71.3	58.8	49.3	28.2	25.3	22.5	15.5	11.5	10.4	9.1
	海上地域	143	92.3	76.9	69.9	58.7	57.3	25.9	19.6	21.7	14.7	17.5	11.2	9.8
	飯岡地域	91	90.1	67.0	63.7	49.5	47.3	19.8	27.5	14.3	7.7	11.0	5.5	3.3
	干潟地域	83	92.8	77.1	61.4	53.0	51.8	24.1	20.5	14.5	9.6	12.0	4.8	7.2
居住年数	5年未満	109	91.7	90.8	80.7	67.9	42.2	34.9	28.4	33.0	17.4	14.7	11.0	9.2
	5年以上10年未満	81	90.1	77.8	71.6	59.3	48.1	38.3	33.3	29.6	21.0	12.3	12.3	16.0
	10年以上20年未満	184	94.0	77.7	73.9	58.7	51.6	27.7	19.0	14.7	11.4	10.3	10.9	6.0
	20年以上30年未満	106	94.3	78.3	78.3	71.7	59.4	31.1	26.4	28.3	19.8	18.9	12.3	11.3
	30年以上	319	87.8	70.5	58.9	48.0	50.5	18.8	21.9	15.0	10.0	11.3	6.0	6.3

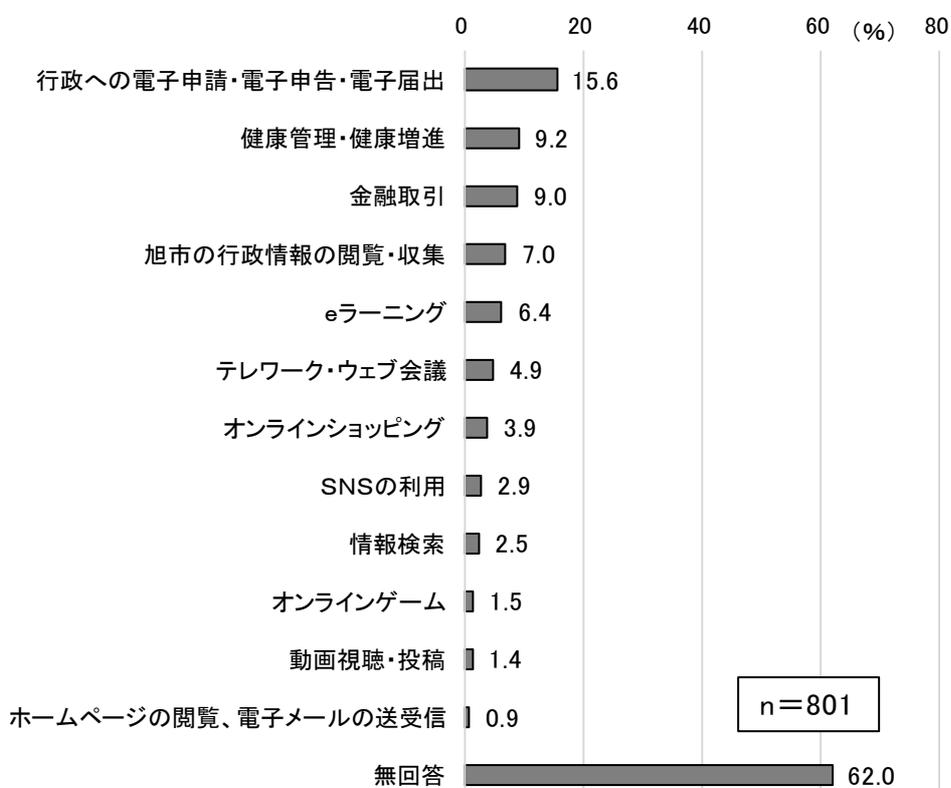
（注）網掛けは、「全体」の水準を10%ポイント以上上回った項目

## (5) 今後利用したいデジタル活用

【問 40】現在は利用していない（あまり利用していない）が、今後、利用したいもの（利用を増やしたいもの）をお答えください。（○はいくつでも）

インターネットを利用している、もしくは利用意向のある方（n=801）の今後利用したいインターネット利用目的では、「行政への電子申請・電子申告・電子届出」が 15.6% で最も高く、次いで「健康管理・健康増進（9.2%）」、「金融取引（9.0%）」、「旭市の行政情報の閲覧・収集（7.0%）」の順となっています。

図表 91 今後利用したいインターネット利用目的



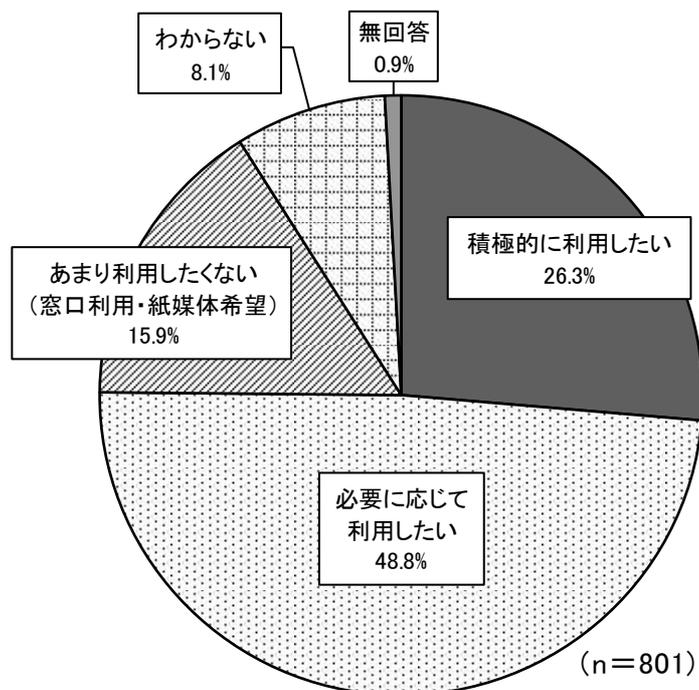
## (6) インターネットを利用した行政手続き

【問 42】あなたはインターネットを利用して行政情報の収集や行政手続きを行いたいと思いますか。(○は1つ)

インターネットを利用している、もしくは利用意向のある方 (n=192) のインターネットを利用した行政手続き意向では、「積極的に利用したい」が26.3%、「必要に応じて利用したい」が48.8%となっています。一方、「あまり利用したくない(窓口利用・紙媒体希望)」は15.9%となっています。

属性別にみると、「積極的に利用したい」は「20歳代(41.9%)」で高く、「あまり利用したくない(窓口利用・紙媒体希望)」は「60歳代(28.6%)」、「70歳代(27.4%)」などで高くなっています。

図表 92 インターネットを利用した行政手続き



図表 93 インターネットを利用した行政手続き（クロス集計）

（単位：％）

		件数	積極的に 利用したい	必要に応じて 利用したい	あまり利用したくない （窓口利用・ 紙媒体希望）	わからない
全体		801	26.3	48.8	15.9	8.1
性別	男性	402	31.6	46.5	13.2	7.5
	女性	379	21.6	51.2	18.2	8.4
年代	10歳代	33	12.1	63.6	6.1	18.2
	20歳代	74	41.9	44.6	2.7	9.5
	30歳代	148	34.5	45.3	11.5	8.1
	40歳代	214	34.6	45.3	15.9	4.2
	50歳代	146	20.5	59.6	14.4	4.1
	60歳代	98	13.3	46.9	28.6	10.2
	70歳代	73	4.1	47.9	27.4	17.8
	80歳以上	14	28.6	35.7	21.4	14.3
居住地域	旭地域	471	28.7	48.4	13.4	8.7
	海上地域	143	24.5	47.6	21.7	4.2
	飯岡地域	91	17.6	51.6	19.8	11.0
	干潟地域	83	26.5	48.2	15.7	9.6
居住年数	5年未満	109	39.4	40.4	8.3	10.1
	5年以上10年未満	81	25.9	55.6	13.6	4.9
	10年以上20年未満	184	25.5	56.5	9.8	7.6
	20年以上30年未満	106	28.3	50.0	16.0	5.7
	30年以上	319	21.6	45.5	22.3	9.4
ネット 利用状況	ほぼ毎日利用している	670	30.0	50.7	12.4	6.3
	ときどき利用している	104	7.7	40.4	36.5	13.5
	今後は利用したい	27	7.4	33.3	22.2	33.3

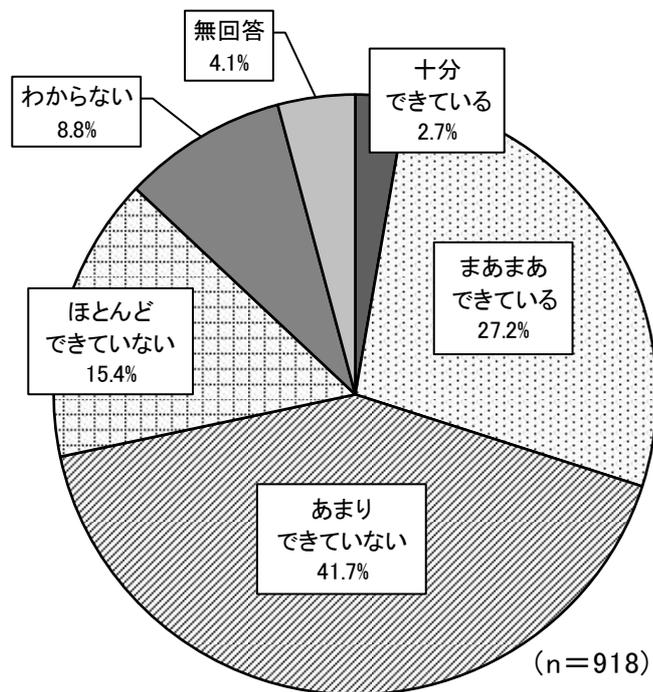
（注）網掛けは、「全体」の水準を10%ポイント以上上回った項目

## (7) 行政情報

【問 43】 あなたは市の情報を収集できていますか。(○は1つ)

市の情報を収集できているかでは、「あまりできていない」が 41.7%で最も多くなっています。『できている（「十分できている」+「まあまあできている」）』の 29.9%に対し、『できていない（「あまりできていない」+「ほとんどできていない」）』は 57.1%となっています。

図表 94 市の情報を収集できているか



図表 95 市の情報を収集できているか（クロス集計）

（単位：％）

		件数	十分 できている	まあまあ できている	あまり できていない	ほとんど できていない
全体		918	2.7	27.2	41.7	15.4
性別	男性	444	3.6	27.9	41.2	15.5
	女性	440	2.0	27.5	42.7	14.5
年代	10歳代	33	0.0	30.3	30.3	12.1
	20歳代	74	4.1	21.6	48.6	14.9
	30歳代	150	4.7	31.3	41.3	12.7
	40歳代	216	2.8	30.6	38.0	16.2
	50歳代	152	2.0	27.6	47.4	15.1
	60歳代	116	0.9	23.3	40.5	19.8
	70歳代	147	3.4	21.8	42.9	16.3
	80歳以上	26	0.0	34.6	38.5	7.7
居住地域	旭地域	545	3.1	28.8	39.8	14.1
	海上地域	156	0.6	23.1	42.9	19.9
	飯岡地域	106	2.8	29.2	45.3	14.2
	干潟地域	94	4.3	25.5	43.6	18.1
居住年数	5年未満	116	3.4	25.0	42.2	15.5
	5年以上10年未満	87	2.3	24.1	48.3	18.4
	10年以上20年未満	200	2.0	29.0	40.5	16.5
	20年以上30年未満	119	2.5	27.7	42.0	12.6
	30年以上	388	3.1	27.8	40.7	14.9
ネット 利用状況	ほぼ毎日利用している	670	3.4	30.1	41.6	14.0
	ときどき利用している	104	0.0	20.2	48.1	18.3
	今後は利用したい	27	3.7	18.5	37.0	29.6
	今後も利用しない	87	1.1	23.0	36.8	21.8

（注）網掛けは、「全体」の水準を10%ポイント以上上回った項目

## 10. 自由意見

旭市のまちづくりについて、ご意見、ご要望がございましたら、ご自由にご記入ください。

### (1) 基本目標別件数

まちづくりについて、ご意見、ご要望を自由記述形式（回答者数 259 人）でたずねたところ、現行計画の基本目標 1 の「魅力ある雇用を創出し、安心して働けるまちづくり」に関するご意見が 41 件、基本目標 2 の「結婚・出産・子育ての希望がかない、誰もが生きがいを持てるまちづくり」に関するご意見が 81 件、基本目標 3 の「ひとの定着・還流・移住の流れをつくり、人々が集うまちづくり」に関連するご意見が 94 件、基本目標 4 の「将来にわたって元気な地域をつくり、安全・安心で暮らしやすいまちづくり」に関するご意見が 70 件となっています。

図表 96 まちづくりについてのご意見

基本目標	件数
1. 魅力ある雇用を創出し、安心して働けるまちづくり	41
2. 結婚・出産・子育ての希望がかない、誰もが生きがいを持てるまちづくり	81
3. ひとの定着・還流・移住の流れをつくり、人々が集うまちづくり	94
4. 将来にわたって元気な地域をつくり、安全・安心で暮らしやすいまちづくり	70

## (2) 主な意見（要旨）・キーワード

まちづくりに関するご意見(自由記入)の主な意見(要旨)・キーワードを、基本目標別・施策別に整理しました。

### ① 基本目標1

基本目標1「魅力ある雇用を創出し、安心して働けるまちづく」に関する主な意見(要旨)・キーワードは次のとおりです。

#### <主な意見（要旨）・キーワード>

##### ○ 農水産業の振興

- ・米・肉・野菜・魚等の恵まれた食材と観光資源、及びこれらがすべて揃う旭市自体の市外・県外に向けた強力なPR。
- ・農業従事者と後継者の育成・確保及び農業経営の安定化。

##### ○ 商業の振興

- ・若者向けの店が少ないことや魅力ある店舗の誘致・増設（イオンタウン旭・同周辺エリア）。
- ・個店の団結による総合的な商業エリアの構築やアミューズメント施設の整備。

##### ○ 観光の振興

- ・お勧めできる宿泊施設や気軽に利用できる温泉施設、道の駅等の観光資源の充実。
- ・七夕市民まつりの土日開催とシャトルバスの運行。

##### ○ 雇用の確保

- ・若者の移住・定住促進に向けた雇用創出とそのため企業の誘致。
- ・高齢者や障がい者、子育て世代、要介護者のいる方の雇用の場の確保。
- ・旭市に根を張る人の増加とそのため地場産業の強化及び人材育成。

## ② 基本目標 2

基本目標 2「結婚・出産・子育ての希望がかない、誰もが生きがいを持てるまちづくり」に関する主な意見（要旨）・キーワードは次のとおりです。

<主な意見（要旨）・キーワード>

- 保健・医療の充実
  - ・ 旭中央病院の充実と同院を活かした医療・福祉のまちづくり。
  - ・ 小児科・整形外科の誘致・増設など。
- スポーツの振興
  - ・ 通年利用可能な市民プールやスケボー練習場の整備、スポーツ競技大会の開催など。
- 子育て支援の充実
  - ・ 移住・定住促進と人口増加には子育て支援の充実が重要。
  - ・ 高校・大学進学まで切れ目ない支援ほか経済的支援の充実。
  - ・ 一時預かり保育の拡充やハニカムの増設、保育士の労働環境改善。
  - ・ 駅周辺への若者が遊べる施設の整備、おひさまテラスの充実など。
- 地域福祉の充実
  - ・ 生活保護手当てのあり方や支援対象など。
- 障がい者福祉の充実
  - ・ 障がい者（児）とその家族も含めた統一かつ一貫した支援・相談体制の構築、及び障がい者雇用の充実。
  - ・ みらいあさひを障がい者の行きやすい場にするなど。
- 学校教育の充実
  - ・ 地域活性化の一番の柱は教育、普通科高校の新設、海外留学機会など。
- 生涯学習の充実
  - ・ I Tリテラシーの向上やリカレント教育の必要性、まちづくり先進事例の視察など。
- 文化芸術の振興
  - ・ 芸術・文化の推進、干潟地区を文化芸術のまちになど。

### ③ 基本目標3

基本目標3「ひとの定着・還流・移住の流れをつくり、人々が集うまちづくり」に関する主な意見（要旨）・キーワードは次のとおりです。

<主な意見（要旨）・キーワード>

- 定住の促進
  - ・空き屋問題への対応や古い建物のリノベーション。
  - ・みらいあさひを活用した移住者・子どもが増えるまちづくりなど。
- 交流の促進
  - ・小中高校生と高齢者の多世代交流の促進、及び市主催のイベント情報の発信と参加の促進。
  - ・旭中央病院周辺以外の各地域をもっと賑やかになど。
- 安全で快適な道路の整備
  - ・日常生活道路の舗装、高齢者が安全に安心して歩行できる道路整備。
  - ・銚子連絡道路の早期開通とICの設置など。
- 安全・安心な水の供給
  - ・上下水道の完備など。
- 居住環境の整備
  - ・空き屋問題（空き屋の管理、雑草や木の枝が通行妨害対策等）。
  - ・家畜・肥料等の悪臭対策、ごみの不法焼却や他所からの持ち込みの取り締まりなど。
- 廃棄物の減量化と資源の有効活用
  - ・ごみの不法投棄の根絶やゴミステーションの設置、資源ごみの無料化。
  - ・ボランティアによる河川沿いのごみ清掃など。
- 自然環境の保全
  - ・整った自然環境を生かしたまちのPR、太陽光発電補助金増額。
  - ・動物を愛せるまち、殺処分ゼロのまちなど。
- 協働の促進
  - ・子どもから高齢者までが相互に助け合えるまちづくり、定年退職後のボランティア参加促進。
  - ・自治会未加入者に関するゴミステーション利用等の問題など。
- 広報・広聴・情報公開の充実
  - ・市民が気軽に意見・要望・質問ができる環境・仕組み（システム）づくり。
  - ・広報の更なる充実、市民アンケートの継続と回答内容の実現など。

#### ④ 基本目標4

基本目標4「将来にわたって元気な地域をつくり、安全・安心して暮らしやすいまちづくり」に関する主な意見（要旨）・キーワードは次のとおりです。

<主な意見（要旨）・キーワード>

- 高齢者福祉の充実
  - ・ 高齢者が安心して生涯現役で暮らせるまちづくり。
  - ・ 老々介護対策や施設入居への助成、介護職員の労働環境の改善など。
- 消防・防災力の強化
  - ・ 障がい者や高齢者のための身近な避難場所や同伴可能な避難場所の指定・設置。
  - ・ 消防団の仕組みや活動内容等の見直しなど。
- 防犯対策・交通安全の強化
  - ・ 信号機や外灯、ガードレール、歩道の増設、及び路面の整備（ひび・穴ぼこ・センターライン等）。
  - ・ 道路わきの雑草や道路にかぶさる樹木の枝葉の除去など。
- 公共交通網の整備
  - ・ 子どもや高齢者が利用しやすい公共交通、コミュニティバスの利便性向上。
  - ・ 高齢者の運転免許返納と返納後の移動手段の確保など。
- 人と組織の育成戦略
  - ・ 市役所（含：支所）の窓口対応曜日・時間の弾力化（土日の開庁等）。
  - ・ 市民・当事者の声を活かした市政、教育現場の労働環境の改善など。
- 自立のための財政戦略
  - ・ 税負担の軽減、市民税の完納・納税義務の啓発。
  - ・ 大切な税金を有効に活用したまちづくりなど。
- 資産マネジメント戦略
  - ・ 保健所・小中学校の統合・再編（一部地域の子どもの不利益排除）。
  - ・ JR旭駅前整備、飯岡・海上・干潟地区を含めた市全体の活気創出など。

# 旭市の未来のために！ 「市民アンケート」へのご協力をお願いします

市民のみなさまには、日ごろから市政に対して深いご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

旭市は、令和2年度に「第2期旭市総合戦略」を策定し、「ず〜っと大好きなまち旭」の実現に向け、人口減少対策、地域経済の活性化に取り組んでいます。この計画が令和6年度に最終年度となることから、地方創生の更なる充実・強化に向け、切れ目なく取り組みを進めるため、「第3期旭市総合戦略」（令和7年度～令和11年度）を策定します。

策定にあたっては、市民のみなさまと行政との「協働」、「共創」（パートナーとして理想のまちを共に創ること）がとても重要になってきます。

そこで、「第3期旭市総合戦略」の策定に向けての基礎資料とするため、

『あなたの理想とする、“ず〜っと大好きなまち旭”を実現するための

「まちづくり」「ひとづくり」「しごとづくり」

についてご意見をお聞かせください』

アンケート調査の実施にあたり、市内にお住まいの平成17年4月1日以前に生まれた方3,000人を無作為にお選びしたところ、あなたを対象とさせていただくことになりました。このアンケートは無記名であり、個別の調査結果も公表いたしませんので、みなさまにご迷惑をおかけすることは一切ございません。

さらに、平成17年4月2日から平成20年4月1日までの間に生まれた方がいるご家庭には、「旭市の未来を担う若者世代」へのアンケートも同封している場合があります。市の未来を担う若者に暮らしやすいまちとして選ばれるために、若い方のご意見もお伺いし、今後のまちづくりに活かしていきたいと考えています。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨・目的をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和5年8月

旭市長 米本 弥一郎

## 【アンケートのご記入にあたってのお願い】

1. 宛名のご本人がお答えください。
2. お答えは、設問ごとに「○は1つ」、「○は3つまで」、「○はいくつでも」などそれぞれ指定されていますので、お間違えのないようお願いいたします。  
○印は、番号を囲むように濃くつけてください。(例 ①)
3. ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、  
**8月21日(月)**までに、投函してください。(切手は不要です。)
4. 本アンケートはWEB上でもご回答いただけます。  
WEBでの回答をご希望の方は、右記のQRコードから、  
または下記URLよりアクセスしてご回答ください。  
**<https://questant.jp/q/L1A444RS>**
5. 調査票についてのお問い合わせは、下記にお願いします。

旭市役所 企画政策課（担当者：高木）

電話：0479-62-5307



# 旭市総合戦略策定 市民アンケート調査票

## あなた自身のことについて

【問1】 あなた自身のことについて、次の(1)～(8)の各項目にお答えください。  
(○は各項目1つ)

(1) 性別	1. 男性	2. 女性	3. 答えたくない(無回答)
(2) 年代	1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代	5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳代 8. 80歳以上	
(3) 居住地域	1. 旭地域 2. 海上地域	3. 飯岡地域 4. 干潟地域	
(4) 職業(職種)	1. 農業・漁業 2. 製造業・建設業 3. 商業・サービス業等 4. 公務員・団体職員 5. 医療・福祉	6. パート・アルバイト 7. 専業主婦(主夫) 8. 学生 9. 無職(定年退職者含む) 10. その他( )	
(5) 雇用形態 ※(4)で1～5を選択した方のみお答えください	1. 正社員・正職員 2. 自営業・個人事業主 3. 契約社員・非常勤職員	4. 派遣社員 5. その他 ( )	
(6) 通勤・通学先	1. 旭市内 2. 銚子市 3. 匝瑳市 4. 香取市	5. 成田市 6. その他の県内 7. 県外 8. 通勤・通学していない	
(7) 世帯人員数 (あなたを含む人数)	1. 1人 2. 2人 3. 3人	4. 4人 5. 5人以上	
(8) 居住年数	1. 5年未満 2. 5年以上10年未満 3. 10年以上20年未満	4. 20年以上30年未満 5. 30年以上	



【問6】 あなたは、将来の暮らしについて、どのようなことに悩みや不安を感じますか。  
(○は3つまで)

1. 自分の健康に関すること	7. 子育てや子どもの将来に関すること
2. 家族の健康に関すること	8. 家族や配偶者に先立たれた後のこと
3. 収入・家計に関すること	9. 災害に関すること
4. 就職に関すること	10. 日常の買い物や移動手段に関すること
5. 住まいに関すること	11. その他 ( )
6. 介護や医療に関すること	12. 特にない

## 旭市の取り組みについて

【問7】 これまで進めてきたまちづくりの「満足度」を、回答例にならって項目ごとに○印をつけてください。(○は各項目1つ) ※満足度と重要度の両方に○印をお願いします。

※ 以下のすべての項目について、「満足度」と「重要度」のそれぞれ1~4の中から1つ選んで○印をつけてください。 下記の<回答例>をご参照ください。		満足度				重要度			
		満 足	やや 満足	やや 不満	不 満	重 要	やや 重要	であ はま り重 要	な重 要で は
<回答例>		1	2	③	4	①	2	3	4
1. 魅力ある雇用を創出し、安心して働けるまちづくり	① 農水産業の振興	1	2	3	4	1	2	3	4
	② 商工業の振興	1	2	3	4	1	2	3	4
	③ 観光の振興	1	2	3	4	1	2	3	4
	④ 雇用の確保	1	2	3	4	1	2	3	4
2. 結婚・出産・子育ての希望がかない、誰もが生きがいを持てるまちづくり	① 保健・医療の充実	1	2	3	4	1	2	3	4
	② スポーツの振興	1	2	3	4	1	2	3	4
	③ 子育て支援の充実	1	2	3	4	1	2	3	4
	④ 地域福祉の充実	1	2	3	4	1	2	3	4
	⑤ 障がい者福祉の充実	1	2	3	4	1	2	3	4
	⑥ 学校教育の充実	1	2	3	4	1	2	3	4
	⑦ 生涯学習の充実	1	2	3	4	1	2	3	4
	⑧ 芸術文化の振興・伝統文化の保存	1	2	3	4	1	2	3	4
	⑨ 青少年の健全育成	1	2	3	4	1	2	3	4
	⑩ 互いに認め合う社会の形成	1	2	3	4	1	2	3	4
3. ひとの定着・還流・移住の流れをつくり、人々が集うまちづくり	① 定住の促進	1	2	3	4	1	2	3	4
	② 交流の促進	1	2	3	4	1	2	3	4
	③ 安全で快適な道路の整備	1	2	3	4	1	2	3	4
	④ 安全・安心な水の供給	1	2	3	4	1	2	3	4
	⑤ 公園の充実	1	2	3	4	1	2	3	4
	⑥ 居住環境の充実	1	2	3	4	1	2	3	4
	⑦ 廃棄物の減量化と資源の有効活用	1	2	3	4	1	2	3	4
	⑧ 自然環境の保全	1	2	3	4	1	2	3	4
	⑨ 協働の促進	1	2	3	4	1	2	3	4
	⑩ 広報・広聴・情報公開の充実	1	2	3	4	1	2	3	4

※ 以下のすべての項目について、「満足度」と「重要度」のそれぞれ1～4の中から1つ選んで○印をつけてください。  <回答例>をご参照ください。	満足度				重要度(続き)				
	満 足	や や 満 足	や や 不 満	不 満	重 要	や や 重 要	であ はま ない 重要	な重 要で は	
4. 将来にわたって 元気な地域をつくり、安全・安心で暮 らしやすいまちづくり	① 地域包括ケアシステム <sup>(注1)</sup> の充実	1	2	3	4	1	2	3	4
	② 高齢者福祉の充実	1	2	3	4	1	2	3	4
	③ 消防・防災力の強化	1	2	3	4	1	2	3	4
	④ 防犯対策・交通安全の強化	1	2	3	4	1	2	3	4
	⑤ 公共交通網の整備	1	2	3	4	1	2	3	4
	⑥ 消費者の保護	1	2	3	4	1	2	3	4

(注1) 地域包括ケアシステム：介護予防をはじめ身近な地域の相談窓口等

【問8】 優先的に実施してほしいと思うことは何ですか。(○は5つまで)

1. 農業基盤の整備	21. 移住定住の促進
2. 畜産環境の整備(臭気対策等)	22. シティセールス <sup>(注2)</sup> の推進
3. 農林水産業後継者の育成	23. 道路の整備
4. 商工業等後継者の育成	24. 上水道の安定供給(管の更新など)
5. 起業・創業支援	25. 排水施設の整備
6. 商店街の活性化	26. 公園の適正な管理
7. 観光・レジャー施設の整備	27. ごみの減量化・資源化の推進
8. 交流イベントの充実・観光客の誘致	28. 不法投棄の監視体制の強化
9. 企業誘致の推進	29. ボランティア・NPO <sup>(注3)</sup> への支援
10. 魅力的な雇用の創出	30. 市民に分かりやすい情報提供
11. 医療・福祉の働き手確保	31. 介護予防の推進
12. 健康づくりの推進	32. 防災・防犯体制の充実
13. 旭中央病院の充実	33. 交通安全の強化
14. 子育て支援の充実	34. 地域公共交通の充実
15. 保育所の再編	35. バリアフリー、ユニバーサルデザインの推進
16. 障がい者の支援	36. 公共サービスのデジタル化の推進
17. 学校教育の充実	37. 行政組織の効率的な運営
18. 小・中学校の再編	38. 職員数の適正化・職員の能力向上
19. 生涯学習の充実	39. その他( )
20. 男女共同参画社会の促進	

(注2)シティセールス：「まち」としての魅力地域内外へ効果的にアピールすることで、人・モノ・お金・情報を呼び込み、都市を活性化し持続的に発展させようとする方策。

(注3)NPO：市民が主体となって継続的、自発的に社会貢献活動を行う営利を目的としない団体。

## 生涯活躍のまち・みらいあさひについて

- 生涯活躍のまち・みらいあさひは、イオンタウン旭エリアと旭中央病院を核に、元気な高齢者を中心とする都市住民の誘致と若年世代の流出抑制・流入促進、及び仕事づくりを実現させ、市全体の活性化につなげるための「新しいまちづくり」です。
- 詳細はホームページ「生涯活躍のまち みらいあさひ」でご確認ください。  
(URL) <https://www.miraiasahi.jp>

【問9】 あなたは上記の「生涯活躍のまち・みらいあさひ」をご存知ですか。(○は1つ)

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 1. 行ったことがある(1回)   | 3. 知っているが行ったことはない |
| 2. 行ったことがある(2回以上) | 4. 知らない           |

※ 1または2を選択した方は問10へ、3または4を選択した方は問14へお進みください。

【問10】 問9で「行ったことがある」(1または2)とお答えの方にお聞きします。みらいあさひに行った目的(主な目的)は何ですか。(○はいくつでも)

- |                |                            |           |
|----------------|----------------------------|-----------|
| 1. 買い物(主に食料品)  | 4. 催事・イベント                 | 7. フィットネス |
| 2. 買い物(日用品・雑貨) | 5. おひさまテラス <sup>(注4)</sup> | 8. 調剤薬局   |
| 3. 飲食          | 6. デイサービス                  | 9. その他( ) |

(注4) おひさまテラス:2022年4月に生涯活躍のまち・みらいあさひ内にオープンした多世代交流施設で、まちの人々が笑顔でつながり、支え合い、共に育み、育まれる場です。約6千冊の本がならぶ本棚や、子どもたちが遊ぶことができる屋内公園のほか、音楽スタジオやキッチンスタジオ、ものづくりスペースやコワーキングスペース、子どもの一時預かり施設などがあります。

※ 「5.おひさまテラス」を選択した方は問11へ、選択しなかった方は問14へお進みください。

【問11】 「おひさまテラス」に行ったことがある方(問10で「5.おひさまテラス」を選択した方)にお聞きします。おひさまテラスには何回行きましたか。(○は1つ)

- |         |                |          |
|---------|----------------|----------|
| 1. 1~2回 | 2. 3回以上(10回未満) | 3. 10回以上 |
|---------|----------------|----------|

【問12】 「おひさまテラス」に行ったことがある方(同上)にお聞きします。おひさまテラスに行った(利用した)目的は何ですか。(○はいくつでも)

- |             |             |                 |
|-------------|-------------|-----------------|
| 1. 子どもを遊ばせる | 5. 料理づくり    | 9. 仕事・会議・ミーティング |
| 2. 勉強、読書    | 6. 工作・ものづくり | 10. その他         |
| 3. 楽器演奏     | 7. パーティー    | 〔 )             |
| 4. ダンス・踊り   | 8. 飲食       |                 |

【問13】 「おひさまテラス」に行ったことがある方(同上)にお聞きします。おひさまテラスに行った(利用した)満足度をお聞かせください。(○は1つ)

- |       |         |         |       |            |
|-------|---------|---------|-------|------------|
| 1. 満足 | 2. やや満足 | 3. やや不満 | 4. 不満 | 5. どちらでもない |
|-------|---------|---------|-------|------------|



【問17】 ヤングケアラー<sup>(注6)</sup>についておたずねします。あなたは「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがありますか。(○は1つ)

- |                        |             |
|------------------------|-------------|
| 1. 聞いたことがあります、内容も知っている | 3. 聞いたことがない |
| 2. 聞いたことはあるが、よく知らない    |             |

(注6) ヤングケアラー：本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている18歳未満の子どものこと。家族のケアや手伝い自体は素晴らしい行為だが、責任や負担の重さから学業や友人関係等に影響が出るなど、子どもらしく過ごせていないことが課題となっている。

【問18】 あなた自身、または周りに「ヤングケアラー」と思われる子(若者)はいますか(いましたか)。(○は1つ)

- |       |        |          |
|-------|--------|----------|
| 1. はい | 2. いいえ | 3. わからない |
|-------|--------|----------|

【問19】 ヤングケアラーにはどのような支援が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

- |   |
|---|
| 1. 学校・地域・家庭で「子ども自身」や「ヤングケアラー」についてよく知ること     |
| 2. 実態の把握と関係者間の情報共有                          |
| 3. ヤングケアラーが困った時に相談できる体制(専門職・学校・オンライン等)があること |
| 4. ヤングケアラーが進学・就職等の将来について相談できる体制(同上)があること    |
| 5. 信頼して親身に見守ってくれる大人がいること                    |
| 6. ヤングケアラーの自由な時間が増えるようなサポート(ケアや家事の代行、学習支援等) |
| 7. 家庭への経済的な支援                               |
| 8. その他( )                                   |
| 9. 特にない                                     |

【問20】 「学校教育」を充実させるために期待することは何ですか。(○は3つまで)

- |  |
|--|
| 1. 適正な児童・生徒数と学級数の確保                    |
| 2. 生きる力を育てる総合的な学習の充実                   |
| 3. 社会生活のルールや命の大切さを理解させる心の教育の充実         |
| 4. 性別にとらわれない個性や才能を伸ばす教育の充実             |
| 5. 小中一貫教育、2学期制などの新しい教育システムの導入          |
| 6. ボランティアなどの体験的、実践的な学習の機会を増やす          |
| 7. コンピューターやインターネットなど、情報化社会に適合した教育内容の充実 |
| 8. 国際化に対応できる語学等のコミュニケーション能力の養成         |
| 9. 生徒の学力向上及びキャリア教育 <sup>(注7)</sup> の推進 |
| 10. その他( )                             |

(注7) キャリア教育：一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てること。

【問 21】 「環境を守る」ために期待することは何ですか。（〇は3つまで）

1. 騒音・振動・悪臭などの防止対策の強化
2. ごみの不法投棄などの防止対策の強化
3. ごみの減量やリサイクル意識の啓発活動
4. 学校教育や生涯学習の場での環境教育や環境問題※に関する情報提供  
※SDGs<sup>(注8)</sup>や脱炭素・カーボンニュートラル<sup>(注9)</sup>など
5. 再生品の利用促進
6. 広報やホームページなどでの環境問題に関する情報提供
7. 公共施設での省エネルギー対策や低公害車導入など
8. 地域の清掃・美化活動の促進
9. 資源ごみの回収制度の促進
10. 太陽光などの自然エネルギーの活用
11. 家庭や職場、学校等におけるごみの削減や再利用、省電力への取組の実践
12. その他（ )

(注 8) SDGs (Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標) : 2015 年に国連で採択された全ての国が 2030 年までに達成すべき世界共通の目標であり、17 のゴールを設定し、持続可能な社会を構築することを目標としている。

(注 9) 脱炭素 : 二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量の“実質”ゼロを目指すこと。  
カーボンニュートラル : 二酸化炭素等の温室効果ガスの排出量から、森林等に吸収される量を差し引いた合計がゼロ=ニュートラルの状態。

【問 22】 市政やまちづくりに市民が参加しやすくなるために、市にしてほしいことは何ですか。  
(〇は3つまで)

1. 情報発信ツールの充実
2. 活動のリーダーや団体が組織されていること
3. 活動の場となる施設
4. 活動するための資金的な支援
5. 市役所に参加受付窓口があること
6. 自分たちのアイデアを市に提案できる機会
7. 夜間や休日など勤務時間以外の時間に活動が行われる
8. 活動中の事故などについての補償制度
9. 行政から会社に対する理解促進の働きかけなど
10. 市民活動等へのインセンティブ (報酬等)
11. その他 ( )

【問 23】 地域コミュニティの中心的存在となる、区 (自治会) への加入が減っている原因は何だと思いませんか。（〇は1つ）

1. 加入方法や活動内容が不明確
2. 役員をやりたくない
3. 加入メリットがない
4. 仕事等で忙しく活動に参加できない
5. 区費 (会費) が高い
6. その他 ( )

【問24】 「高齢者の福祉対策」、「生きがい対策」として期待することは何ですか。（〇は3つまで）

- |                               |                            |
|-------------------------------|----------------------------|
| 1. 道路・公共施設でのバリアフリーの推進         | 8. ホームヘルパー等のスタッフの養成・増員     |
| 2. 公共交通など移動手段の充実              | 9. レクリエーションの場や学習・趣味活動の場の提供 |
| 3. 健康づくりや健診など保健対策の充実          | 10. 高齢者の働く場の創出と仕事情報の提供     |
| 4. 身近な医療機関の整備                 | 11. 高齢者同士の交流の場・機会の充実       |
| 5. 老人ホームなど介護施設の整備             | 12. 子どもや若者とのふれあいの場の充実      |
| 6. 緊急通報システムの充実                | 13. ボランティア活動の推進と養成         |
| 7. 寝たきり、ひとり暮らし世帯などへの在宅サービスの充実 | 14. その他（ ）                 |

【問25】 「防災対策」として期待することは何ですか。次の中から選んで〇印をつけてください。（〇は3つまで）

- |                    |                     |
|--------------------|---------------------|
| 1. 防災マニュアル・マップの充実  | 6. 避難場所など防災拠点の整備    |
| 2. 防災対策講習会・防災訓練の開催 | 7. 災害時要援護者避難支援計画の充実 |
| 3. 食料・水・日常生活用品の備蓄  | 8. 家族間での対策や情報の共有    |
| 4. 災害時の情報伝達手段の充実   | 9. その他（ ）           |
| 5. 自主防災組織の育成       |                     |

【問26】 「防犯対策」として期待することは何ですか。（〇は3つまで）

- |                    |                           |
|--------------------|---------------------------|
| 1. 防犯灯や防犯カメラの増設    | 5. 地域ぐるみの防犯組織の育成          |
| 2. 警察のパトロールを増やす    | 6. 市民自らパトロール等の防犯活動を積極的に行う |
| 3. 防犯対策講習会・防犯訓練の実施 | 7. その他（ ）                 |
| 4. 学校や保育所等での防犯教育   |                           |

## 人口増加・定住促進対策について

【問27】 「人口を増やす（出生数増加・移住促進）」ため、また「人口の流出を防ぐ（定住促進）」ため、旭市が今後力を入れるべき支援はどのようなことだと思いますか。（〇は3つまで）

- |                                    |                         |
|------------------------------------|-------------------------|
| 1. 産業の振興                           | 10. 公共交通の充実             |
| 2. 雇用の拡大                           | 11. 出会いの場の創出            |
| 3. 移住・定住の支援制度の充実                   | 12. 多世代交流の機会の提供         |
| 4. 移住相談窓口の設置                       | 13. 生涯活躍のまちづくりのPR       |
| 5. 三世同居などへの支援                      | 14. 街並みなど住環境の整備         |
| 6. 子育て支援                           | 15. 買い物など日常生活の利便性向上     |
| 7. 教育環境の充実                         | 16. 農業体験等が簡単にできる仕組み     |
| 8. ワークライフバランス <sup>(注10)</sup> の充実 | 17. 何でも相談できる人やコミュニティの充実 |
| 9. 医療・福祉の充実                        | 18. その他（ ）              |

（注10）ワークライフバランス：働くすべての人々が、「仕事」と育児や介護、趣味や学習、休養、地域活動といった「仕事以外の生活」との調和をとり、その両方を充実させる働き方・生き方。

## 結婚（晩婚化・未婚化）について

【問 28】 現在、結婚していますか。（○は1つ）

- |       |        |           |
|-------|--------|-----------|
| 1. はい | 2. いいえ | 3. 答えたくない |
|-------|--------|-----------|

【問 29】 「晩婚化・未婚化」が進む「理由」は何だと思えますか。（○は3つまで）

- |                                      |                     |
|--------------------------------------|---------------------|
| 1. 結婚に向けた行動をする時間的余裕がない               | 5. 親離れや親の子離れができていない |
| 2. 良い相手にめぐりあう機会がない                   | 6. 独身の方が自由で気楽だから    |
| 3. 相手との人間関係を築くことが面倒<br>または難しい        | 7. 家事への負担感          |
| 4. 結婚すること、結婚しないことに世間<br>のこだわりが少なくなった | 8. 子育ての経済的負担感       |
|                                      | 9. 子育ての精神的、肉体的負担感   |
|                                      | 10. その他（ ）          |

【問 30】 「晩婚化・未婚化」が進むのを「抑制」するために、今後どのようなことに力を入れるべきだと思えますか。（○は3つまで）

- |                                 |  |
|---------------------------------|--|
| 1. 社会全体で若者の自立や子育てを<br>支援する意識づくり | 6. 子育てにかかる経済的負担の軽減                     |
| 2. 出会いの場の提供等の結婚支援               | 7. 子育てにかかる精神的、肉体的負担の軽減                 |
| 3. 結婚の意義やメリットについての啓発            | 8. 大学や専門学校等の教育費用の負担軽減                  |
| 4. 仕事と家庭生活の両立支援                 | 9. 若者に将来の人生設計を考える機会の提供<br>(ライフデザイン講座等) |
| 5. 若者の就業への支援                    | 10. その他（ ）                             |

## 健康・運動についておたずねします

【問 31】 あなたが食事の際に気を付けているポイントは何ですか。（○はいくつでも）

- |                |           |
|----------------|-----------|
| 1. 減塩          | 5. 間食を控える |
| 2. 意識して野菜をとる   | 6. よく噛む   |
| 3. 一口目から野菜を食べる | 7. その他（ ） |
| 4. 朝食をとる       | 8. 特にない   |

【問 32】 あなたは定期的に運動を行っていますか。（○は1つ）

- |            |          |           |
|------------|----------|-----------|
| 1. 週5日以上   | 3. 週1日   | 5. 行っていない |
| 2. 週2～3日以上 | 4. 月1～3日 | 6. その他（ ） |

【問 33】 あなたが運動を継続して行うために重要と思うことは何ですか。（○はいくつでも）

- |              |                    |
|--------------|--------------------|
| 1. スポーツ施設がある | 5. 家族で参加できるイベントの開催 |
| 2. 職場等での運動機会 | 6. 有名選手への憧れ        |
| 3. 家族のサポート   | 7. その他（ ）          |
| 4. 運動に関する知識  | 8. 運動はしない          |







第3期旭市総合戦略策定のための  
市民アンケート調査  
調査結果報告書

令和5年10月  
旭市